

カル考へマス、此ノ點ニ對シテ私共ハ
地方ニ居リマスノデ、幾ツモ事例ヲ持
ツテ居リマスケレドモ、時間ガアリマ
セヌカズ申シマセヌ、賢明ナル島田農
相ハ能ク御分リデアリマスカラ申シマ
セヌガ、何方此ノ點ニ對シテ打ツ手ガ
ナイモノデセウカ、私ハ此ノ儘デ行ツ
タノデハ、幸ヒ地方長官ニ良イ人ガアリ、
農業ニ熱心ナ人ガアリ、經濟部長ニ非
セヌガ、何方此ノ點ニ對シテ打ツ手ガ
績ガ舉リマスケレドモ、サウデナイ人
ガ局ニ當ルト旨ク行カヌ、斯ウ云フノ
ガ實情デアリマス、又農業會ノ關係ニ
於キマシテモ同ジコトデアリマシテ、
隱然ト言ツテハラカシノデアリマス
ガ、今日デハ地方ノ道府縣ノ農業會ト
縣廳トノシツクリ行ツテ居ルト云フ縣
ハ、割合ニ少イノデアリマス、農商省
ノ意圖ヲ體シテ農業會ガ活動シ始メル
ト、縣廳ノ方ハ機嫌ガ惡い、縣廳ノ言
フコトダケヲハイ／＼ト聽熹て居ツタ
ノデハ旨ク行カナイ、オ互ヒニ牽制シ
合フヤウナ、遠慮ヲスルヤウナ、妙ナ
空氣ガソニアルノデアリマス、私ハ
決シテ議論ヲ言フノデハアリマセヌ、
是ハ事實ナノデアリマス、之ヲ何トカ
シテ解消シナケレバ、今日デハモウ農
村ト農商省デ戰ラスルヤウナ時代ニナ
ツテ來タノデハナイカ、此ノ點ニ對シ
テ大臣ノ率直ナ御所見ヲ承リタイト存
ジマス

リマス、憂ヒヲ共ニシテ居ルノデアリ
一例ニ御話ニナリマシタヤウニ、人事
ノ點ニ付テ農商省ガ地方廳ノ人事ニ關
與シ、之ヲ動カスコトノ出來ルヤウニ
シタナラバ、或ハ救ハレハセヌカト云
フ考ヘ方、是モ豫テ屢々聞ク所デアリマ
ス、ケレドモ又地方廳ト云フモノノ綜
合官廳デアルト云フ性質カラ之ヲ考ヘ
マスト、是レ亦サウ簡単ニ左様ニ行ク
譯ニハイカナイ、縣ノ當局ト縣ノ農業
會、縣ノ系統ノ農業團體、是ハ農業團
體バカリデハナイ、水產ニシマシテモ
森林ニシマシテモ、サウ云フ農商省ノ
系統ノ團體ト縣ノ當局ノ間ノ連絡融
和、斯ウ云フ點ニ付テハ、其處ニ今ノ
御話ノヤウナコトガ起ルノデアリマス
ガ、之ヲ善クシテ行クノ途ト云フコト
ハ、ドウモ簡單ニ人事ノ行政ヲ一元シ
タラバト云フヤウナ點ダケデハ、解決
ノ出來ナイモノデハナカラウカト思フ
ノデアリマス、然ラバドウスルカト云
トニナツタモノニ付テハ、切々指揮ト云
ヒマスカ、監督ト云ヒマスカ、世話ヲ
能ク焼クト云フコト、サウシテ其ノ命
令ナリ指令ナリガ何處マデ行ツテ居ル
カト云フコトヲ突止メテ行クト云フ仕
事ヲ、丹念ニヤツテ行クト云フコトガ、
一つノ途デアラウト思フ、尙ホ今一ツ
ハ行政廳自身ニ對シテ、内務省ノ人事
團體、此ノ農業團體自體ノ動キ方ニ付
テ、此ノ趣意ヲ徹底セシムルヤウニ努
力ヲスル、又一殖ニ於キマシテハ農業
ヲ掌ツテ居ル方面カラモ協力ヲシマシ
テモ、大イニ注意ヲシニ見ナケレバナ
ラヌ點ガアルノデアリマス、是ハ中央

ラウト思フノデアリマス、人事ノ問題ハ、地方長官ノ更迭ニ付テハ閣議ニ於テ決定スルヨトデアリマスカラ、農商大臣トシテ之ニ關與スルハ機會ガアリマス、又ソレ以下ノ人事ニ付キマシテモヤハリ農商省トシテハ、經濟部其ノ他ノモニ付テハ、ソレゝ意見ヲ述べ、連絡ヲ取ル方法ガアリマス、現在ハ少數ナガラ人事ノ交流ト云フコトモヤツテ居リマシテ、地方廳内務省部内ノコトモ農商省ニ分るヤウニナリ、農商省ノヤツテ居ルコトモ、内務系統ニハ徹底スルヤウニ組織ガ出來テ居ルノデアリマス、出來テ居ルノデアルガ、事實ニトノ聲害ト云ヒマスカ、弱點ト云フモノガドウモアルヤウニ考ヘラレルノデアリマス、其ノ點ニ付テハ權力ノ改革ト云フヨリモ、現在ノヤリ方ヲモット充實強化シテ行クト云フ方法ニ依ルコトガ適當ハナイカト思フノデアリマス、現ニ農商省ト致シマシテハソレ等ノ點ヲ考ヘテ民情委員、ソレカラ壇産推進ノコトニ付テハ推進本部ト云フモノヲ作ツテ、部外ノ有力ナ人達ヲコニ嘱託シテ、農商省ノ民情調察、又壇産推進ト云フコトデ、地方ニソレ等ノ人ヲ派遣シテ報告ヲ求メ、事柄ニ依レバ現地ニ於テ解決ノ付クモノハシテ貰ハウト云フコトデ、之ヲ一兩年此ノ方ヤツテ居リ、私ノ就任後ニ於テモ一度之ヲヤツテ一應ノ報告ヲ得テ居ルノデアリマスガ、ソレ等ノ報告ニ徵シ、其ノ

活動ノ跡ニ付テ見マスト、是ハ非常ニ
效果ガアル、中央地方ノ意思ノ疏通ニ
付テ大キナル效果ガアルコトヲ私ハ現ニ
認メテ居ルノデアリマス、此ノ考ヘ方
ヲ更ニ抑進ヌテ參レバ、中央ノ意思ガ
地方ニ徹底シ、又地方ノ考ヘ方ガ中央
ニ直結シテ來ルト云フ方ニ向ツテ行ク
コトヲ期待出來ルト私共ハ考ヘテ居ル
ノデアリマス、ソコデ機構イギリト云
フコトニ直グモノヲ持ツテ行クト云フ
コトハ、ヤハリ此ノ戰爭中、斯ウ云フ
逼迫シタ時期ニ於テハ、其ノ點ハ餘程
考ヘテヤラナイト、ソレヲヤル間ニ、
陣立テヨ直ス間ニ手數ガ掛ツテ戰力ニ
落チ、生產力ガ落チル、ヨリ不徹底ガ
ナル、斯ウ云フヤウナ憂ヒガナイト云
フコトヲ斷言出來ナイモノデアリマス
カラ、ソレヲ一面カラ見レバ、儻柔不
斷ト云フヤウニ見エルカモ知レマセヌ
ガ、私ハ必ズシモサウハ思ハナイノデ
アリマス、努力シ努力シテ尙ホ及バザ
ル所ガアツテ、初メテソコニ一部ノ機
構ノ改革モセネバナラズ、斯ウ云フヤ
ウナ考ヘ方デ進ムコトガ遅イヤウデア
ツテ、實ハ現時ノ逼迫セル事情ニ寧ロ
合ツテ居ルノデハナイカト云フヤウニ
考ヘテ居ルノデアリマス、必ズシモ今
ノ御話ニ對シテ否定スル意味ヲ持ツテ
居ル譯デハナイガ、憂ヒハ共ニシテ居
ルケレドモ、其ノヤリ方ニ付テハ、或
ハ黒澤君ノ御意見トハ少シ離レテ居ル
ヤウナコトヲ言ツテ居ルカモ知レマセ
ヌガ、營務者トシテ事實ニ當ツテ考ヘ
マスト、ドウモ今私が申スヤウニ、雙
方ノヤリ方ヲ段々現在ノ機構ノ上ニ於
テ緊張サセ、強化シテ行クコトニ努メ
ルコトガ先づ第一デ、ソレヲ努メシテ
次ノ段ニ直ゲ移ツテ行クト云フ考ヘ方
如何ナモノニアラウカト云フ風ニ考

(テ居リマス、併シ此ノ人事ノコトモ
簡單明朗ニ直グ出来、直グ行ハレルト
云フヤウナコトデアレバ、是ハ又考ヘ
モノデアリマスガ、其ノコト自體モ之
ヲ容易ニ實現スルコトニ付テハ、他ノ
省トノ關係等モアリマシテ、中々難力
シイ點ガアリマスカラ、農商省自體ト
シテモ御承知ノヤウニ食糧ノコトニ付
テモ、増産ニ付テハ農政局ガ之ヲヤリ、
配給集荷ノコトニ付テハ食糧管理局ガ
需給ノコトヲ掌リ、或ハ日用品、副食
物ト云フヤウナモノニ付テハソレレム、
各局課ニ分レテ居リマスカラ、斯ワ云
フヤウナモノニ付テモ農商省内部自體
トシテモ、現ニ食糧關係ニ付テハ綜合
委員會ヲ作ツテ、部内ニ連絡ヲ取
シタ機構イデリト云フコトニナルノデ、其
ツテ居リマスガ、是等ノヤリ方ヲ今一
段強化シテ行クト云フヤウナ考ヘ方モ
亦アリマスガ、是トモヤハリ一部ハ
ノヤウナコトガアルノハ認メテ居ルノ
ノ點ニ付テハ慎重ナル態度ヲ持シテ居
ルヤウナ次第アリマシテ、其ノ點ハ
中々難カシイ點デアリマス、併シ御指摘
ノヤウナコトガアルノハ認メテ居ルノ
デアリマシテ、ソレヲ成ベク少クシテ
一元的ニ行クト云フ所ニ持ツテ行キタ
イ、斯ウ云フコトニ努力シテ居ルト云
フコトヲ申上ゲテ置キマス

縣農業會ヨリハ寧ロ郡支部ノヤウナ所
ヲウント強化シテ、ソコヲ生產指導ノ
基地トスルト云フ方法ニスルノガ最モ
適切デヤナイカ、ソレニハ上ノ方ハズ
ツト簡素ニシテ、町村或ハ郡支部程度
ノ所ヲ十分ニ強化スル爲ニ、本省ヤ縣
廳ナドノ者ハ五分ノ一、甚ダシキハ十
分ノ一位ニ減ラシテ宜イ、サウシテ地方
ヲウント敢闘サセルヤウナ態勢ニシテ
強化シタ方ガ宜イデヤナイカト思ヒマ
スガ、ソレニ對シテハドウ云フ風ナ御
考ヘデアリマスカ

○島田國務大臣 御氣持ハ能ク分リマス、隨てサウ云フ風ニ持ツテ行クコトガ

出來レバソレモ結構ダト思ヒマスガ、サウ云フコトヲスル場合ニ、本省ノ人

ヲ減ラシ、地方廳ノ人ヲ減ラシテ一線

ステ現地ヲ見テ來ル、斯ウ云フヤウナ

考ヘ方、サウ云フヤウナヤリ方ニ付テ

相當ナ處置ヲ執レバ、極メテ地方ノ強

化ト云フコトニモ「マッチ」シテ行ク、地

方モソレデ強化サレテ、ソユデ人間ヲ

殖ヤセバ、殖エタ人間ガ活キテ勵クト云

フコトニ相成ルデアラウ、斯ウ云フヤ

ウナ考ヘ方シテ居ル次第アリマス

○黒澤委員 次ハ他ノ問題ニ付テ、疎開者ト云フヤ

依ツテ起ル被害者ヲ處置ナドニ對シテ

ハ、前金ノ處置ハ執ツテ居ルノデスガ、

是等ノ疎開者ノ農村部落ノヤウナモノ

ヲ設定シテ行ク、斯ウ云フ點ニ付テ御

尋ね致シタイノデアリマスガ、是ハ申

上ゲマセヌデモ能ク御分リト思ヒマス、

今ノ都市疎開者ガ農村ニ如何ナル影響

ヲ及ボシテ居ルカト云フコトハ御承知

ノ通リデアリマス、ソユデ關東地方ノ

ヤウナ氣候ノ好イ所ニ於テモ隣分平地

カ、地方ノ本部タル地方廳トカニハ相

當ナ人材ト云フカ、働キ手ガ充實シテ

ル人間ガ少イコトガ非常ニ憂ヒトセラ

レテ居ル所デアリマス、ヤハリ中央ト

ハズト云フコトニナツテ、ヤハリ同ジヤ

ウナ弊害ガ起ツテ來ルノデアリマス、

居リマセヌト、地方ソレカラ下部ヲ有

力ナルモノニスレバ、俗ニ言フ尾大振

カ、地方ノ人材ト云フカ、働キ手ガ充實シテ

スガ、同時ニ其ノ事ニ付テ指圖ヲス

考ヘデアリマスカ

○島田國務大臣 御氣持ハ能ク分リマス、隨てサウ云フ風ニ持ツテ行クコトガ

出來レバソレモ結構ダト思ヒマスガ、サウ云フコトヲスル場合ニ、本省ノ人

ヲ減ラシ、地方廳ノ人ヲ減ラシテ一線

ステ現地ヲ見テ來ル、斯ウ云フヤウナ

考ヘ方、サウ云フヤウナヤリ方ニ付テ

相當ナ處置ヲ執レバ、極メテ地方ノ強

化ト云フコトニモ「マッチ」シテ行ク、地

方モソレデ強化サレテ、ソユデ人間ヲ

殖ヤセバ、殖エタ人間ガ活キテ勵クト云

フコトニ相成ルデアラウ、斯ウ云フヤ

ウナ考ヘ方シテ居ル次第アリマス

○黒澤委員 次ハ他ノ問題ニ付テ、疎開者ト云フヤ

依ツテ起ル被害者ヲ處置ナドニ對シテ

ハ、前金ノ處置ハ執ツテ居ルノデスガ、

是等ノ疎開者ノ農村部落ノヤウナモノ

ヲ設定シテ行ク、斯ウ云フ點ニ付テ御

尋ね致シタイノデアリマスガ、是ハ申

上ゲマセヌデモ能ク御分リト思ヒマス、

今ノ都市疎開者ガ農村ニ如何ナル影響

ヲ及ボシテ居ルカト云フコトハ御承知

ノ通リデアリマス、ソユデ關東地方ノ

ヤウナ氣候ノ好イ所ニ於テモ隣分平地

カ、地方ノ本部タル地方廳トカニハ相

當ナ人材ト云フカ、働キ手ガ充實シテ

スガ、同時ニ其ノ事ニ付テ指圖ヲス

考ヘデアリマスカ

○島田國務大臣 御氣持ハ能ク分リマス、隨てサウ云フ風ニ持ツテ行クコトガ

出來レバソレモ結構ダト思ヒマスガ、サウ云フコトヲスル場合ニ、本省ノ人

ヲ減ラシ、地方廳ノ人ヲ減ラシテ一線

ステ現地ヲ見テ來ル、斯ウ云フヤウナ

考ヘ方、サウ云フヤウナヤリ方ニ付テ

相當ナ處置ヲ執レバ、極メテ地方ノ強

化ト云フコトニモ「マッチ」シテ行ク、地

方モソレデ強化サレテ、ソユデ人間ヲ

殖ヤセバ、殖エタ人間ガ活キテ勵クト云

フコトニ相成ルデアラウ、斯ウ云フヤ

ウナ考ヘ方シテ居ル次第アリマス

○黒澤委員 次ハ他ノ問題ニ付テ、疎開者ト云フヤ

依ツテ起ル被害者ヲ處置ナドニ對シテ

ハ、前金ノ處置ハ執ツテ居ルノデスガ、

是等ノ疎開者ノ農村部落ノヤウナモノ

ヲ設定シテ行ク、斯ウ云フ點ニ付テ御

尋ね致シタイノデアリマスガ、是ハ申

上ゲマセヌデモ能ク御分リト思ヒマス、

今ノ都市疎開者ガ農村ニ如何ナル影響

ヲ及ボシテ居ルカト云フコトハ御承知

ノ通リデアリマス、ソユデ關東地方ノ

ヤウナ氣候ノ好イ所ニ於テモ隣分平地

カ、地方ノ本部タル地方廳トカニハ相

當ナ人材ト云フカ、働キ手ガ充實シテ

スガ、同時ニ其ノ事ニ付テ指圖ヲス

考ヘデアリマスカ

○島田國務大臣 御氣持ハ能ク分リマス、隨てサウ云フ風ニ持ツテ行クコトガ

出來レバソレモ結構ダト思ヒマスガ、サウ云フコトヲスル場合ニ、本省ノ人

ヲ減ラシ、地方廳ノ人ヲ減ラシテ一線

ステ現地ヲ見テ來ル、斯ウ云フヤウナ

考ヘ方、サウ云フヤウナヤリ方ニ付テ

相當ナ處置ヲ執レバ、極メテ地方ノ強

化ト云フコトニモ「マッチ」シテ行ク、地

方モソレデ強化サレテ、ソユデ人間ヲ

殖ヤセバ、殖エタ人間ガ活キテ勵クト云

フコトニ相成ルデアラウ、斯ウ云フヤ

ウナ考ヘ方シテ居ル次第アリマス

○黒澤委員 次ハ他ノ問題ニ付テ、疎開者ト云フヤ

依ツテ起ル被害者ヲ處置ナドニ對シテ

ハ、前金ノ處置ハ執ツテ居ルノデスガ、

是等ノ疎開者ノ農村部落ノヤウナモノ

ヲ設定シテ行ク、斯ウ云フ點ニ付テ御

尋ね致シタイノデアリマスガ、是ハ申

上ゲマセヌデモ能ク御分リト思ヒマス、

今ノ都市疎開者ガ農村ニ如何ナル影響

ヲ及ボシテ居ルカト云フコトハ御承知

ノ通リデアリマス、ソユデ關東地方ノ

ヤウナ氣候ノ好イ所ニ於テモ隣分平地

カ、地方ノ本部タル地方廳トカニハ相

當ナ人材ト云フカ、働キ手ガ充實シテ

スガ、同時ニ其ノ事ニ付テ指圖ヲス

考ヘデアリマスカ

○島田國務大臣 御氣持ハ能ク分リマス、隨てサウ云フ風ニ持ツテ行クコトガ

出來レバソレモ結構ダト思ヒマスガ、サウ云フコトヲスル場合ニ、本省ノ人

ヲ減ラシ、地方廳ノ人ヲ減ラシテ一線

ステ現地ヲ見テ來ル、斯ウ云フヤウナ

考ヘ方、サウ云フヤウナヤリ方ニ付テ

相當ナ處置ヲ執レバ、極メテ地方ノ強

化ト云フコトニモ「マッチ」シテ行ク、地

方モソレデ強化サレテ、ソユデ人間ヲ

殖ヤセバ、殖エタ人間ガ活キテ勵クト云

フコトニ相成ルデアラウ、斯ウ云フヤ

ウナ考ヘ方シテ居ル次第アリマス

○黒澤委員 次ハ他ノ問題ニ付テ、疎開者ト云フヤ

依ツテ起ル被害者ヲ處置ナドニ對シテ

ハ、前金ノ處置ハ執ツテ居ルノデスガ、

是等ノ疎開者ノ農村部落ノヤウナモノ

ヲ設定シテ行ク、斯ウ云フ點ニ付テ御

尋ね致シタイノデアリマスガ、是ハ申

上ゲマセヌデモ能ク御分リト思ヒマス、

今ノ都市疎開者ガ農村ニ如何ナル影響

ヲ及ボシテ居ルカト云フコトハ御承知

ノ通リデアリマス、ソユデ關東地方ノ

ヤウナ氣候ノ好イ所ニ於テモ隣分平地

カ、地方ノ本部タル地方廳トカニハ相

當ナ人材ト云フカ、働キ手ガ充實シテ

スガ、同時ニ其ノ事ニ付テ指圖ヲス

考ヘデアリマスカ

○島田國務大臣 御氣持ハ能ク分リマス、隨てサウ云フ風ニ持ツテ行クコトガ

出來レバソレモ結構ダト思ヒマスガ、サウ云フコトヲスル場合ニ、本省ノ人

ヲ減ラシ、地方廳ノ人ヲ減ラシテ一線

ステ現地ヲ見テ來ル、斯ウ云フヤウナ

考ヘ方、サウ云フヤウナヤリ方ニ付テ

相當ナ處置ヲ執レバ、極メテ地方ノ強

化ト云フコトニモ「マッチ」シテ行ク、地

方モソレデ強化サレテ、ソユデ人間ヲ

殖ヤセバ、殖エタ人間ガ活キテ勵クト云

フコトニ相成ルデアラウ、斯ウ云フヤ

ウナ考ヘ方シテ居ル次第アリマス

○黒澤委員 次ハ他ノ問題ニ付テ、疎開者ト云フヤ

依ツテ起ル被害者ヲ處置ナドニ對シテ

ハ、前金ノ處置ハ執ツテ居ルノデスガ、

是等ノ疎開者ノ農村部落ノヤウナモノ

ヲ設定シテ行ク、斯ウ云フ點ニ付テ御

尋ね致シタイノデアリマスガ、是ハ申

上ゲマセヌデモ能ク御分リト思ヒマス、

今ノ都市疎開者ガ農村ニ如何ナル影響

ヲ及ボシテ居ルカト云フコトハ御承知

ノ通リデアリマス、ソユデ關東地方ノ

ヤウナ氣候ノ好イ所ニ於テモ隣分平地

カ、地方ノ本部タル地方廳トカニハ相

當ナ人材ト云フカ、働キ手ガ充實シテ

スガ、同時ニ其ノ事ニ付テ指圖ヲス

考ヘデアリマスカ

○島田國務大臣 御氣持ハ能ク分リマス、隨てサウ云フ風ニ持ツテ行クコトガ

出來レバソレモ結構ダト思ヒマスガ、サウ云フコトヲスル場合ニ、本省ノ人

ヲ減ラシ、地方廳ノ人ヲ減ラシテ一線

ステ現地ヲ見テ來ル、斯ウ云フヤウナ

考ヘ方、サウ云フヤウナヤリ方ニ付テ

相當ナ處置ヲ執レバ、極メテ地方ノ強

化ト云フコトニモ「マッチ」シテ行ク、地

方モソレデ強化サレテ、ソユデ人間ヲ

殖ヤセバ、殖エタ人間ガ活キテ勵クト云

フコトニ相成ルデアラウ、斯ウ云フヤ

ウナ考ヘ方シテ居ル次第アリマス

○黒澤委員 次ハ他ノ問題ニ付テ、疎開者ト云フヤ

依ツテ起ル被害者ヲ處置ナドニ對シテ

ハ、前金ノ處置ハ執ツテ居ルノデスガ、

是等ノ疎開者ノ農村部落ノヤウナモノ

ヲ設定シテ行ク、斯ウ云フ點ニ付テ御

尋ね致シタイノデアリマスガ、是ハ申

上ゲマセヌデモ能ク御分リト思ヒマス、

今ノ都市疎開者ガ農村ニ如何ナル影響

ヲ及ボシテ居ルカト云フコトハ御承知

ノ通リデアリマス、ソユデ關東地方ノ

ヤウナ氣候ノ好イ所ニ於テモ隣分平地

カ、地方ノ本部タル地方廳トカニハ相

當ナ人材ト云フカ、働キ手ガ充實シテ

スガ、同時ニ其ノ事ニ付テ指圖ヲス

考ヘデアリマスカ

○島田國務大臣 御氣持ハ能ク分リマス、隨てサウ云フ風ニ持ツテ行クコトガ

出來レバソレモ結構ダト思ヒマスガ、サウ云フコトヲスル場合ニ、本省ノ人

ヲ減ラシ、地方廳ノ人ヲ減ラシテ一線

ステ現地ヲ見テ來ル、斯ウ云フヤウナ

考ヘ方、サウ云フヤウナヤリ方ニ付テ

相當ナ處置ヲ執レバ、極メテ地方ノ強

化ト云フコトニモ「マッチ」シテ行ク、地

方モソレデ強化サレテ、ソユデ人間ヲ

殖ヤセバ、殖エタ人間ガ活キテ勵クト云

フコトニ相成ルデアラウ、斯ウ云フヤ

ウナ考ヘ方シテ居ル次第アリマス

○黒澤委員 次ハ他ノ問題ニ付テ、疎開者ト云フヤ

依ツテ起ル被害者ヲ處置ナドニ對シテ

ハ、前金ノ處置ハ執ツテ居ルノデスガ、

是等ノ疎開者ノ農村部落ノヤウナモノ

ヲ設定シテ行ク、斯ウ云フ點ニ付テ御

尋ね致シタイノデアリマスガ、是ハ申

上ゲマセヌデモ能ク御分リト思ヒマス、

今ノ都市疎開者ガ農村ニ如何ナル影響

ヲ及ボシテ居ルカト云フコトハ御承知

ノ通リデアリマス、ソユデ關東地方ノ

ヤウナ氣候ノ好イ所ニ於テモ隣分平地

カ、地方ノ本部タル地方廳トカニハ相

當ナ人材ト云フカ、働キ手ガ充實シテ

スガ、同時ニ其ノ事ニ付テ指圖ヲス

考ヘデアリ

シクハ道義ノ觀念ヲ頽廢セシメテ居ルト云フヤウナ問題モナイデハナイノデアリマス、然ルニ戰局ハ農民ヲサウ云フヤウナ儻デハ許サナイノデアリマシテ、先日大臣モ言ハレマシタヤウニ、食糧ハ兵器サノデス、本當ノ戰争ノ最後ノ決戦取リモノハ食糧ノ問題ニアルト思フ、斯ウ云フ場合ニ於キマシテノ農民ノ置カレテ居ル地位ハ、完全ナル食糧ヲ作ル戰士デアリマシテ、陛下ノ爲ノ武器、陛下ノ爲ノ食糧ヲ作ツテ居ル農民トシテノ考へ方ハ、一段ト變ツタ考へ方ニナラナケレバナラナイト思ヒマス、勿論其ノ狙ヒガ皇國農村ノ建設デアリ、標榜農村ノ建設ハゴザイマセウケレドモ、私ハ今日ノ段階ニ於キマシテハ、モウ一段ノ飛躍ガ必要トサレテ居ルノデハナイカト思フノデアリマス、又別ナ面カラ見マスルト、農業ノ行キ方ハ、曾テハ物ヲ作ル爲ノ農業、物、農業デアツタト思フ、ソレガ漸次移行ヲ致シマシテ、金ノ農業、金ヲ目標トスル農業ニナツタト思フ、併シ今日ノ段階ハ祈リノ農業、是ガ非デモ戰爭ニ勝タネバナラナイ農業デアル、物ノ農業カラ金ノ農業、更ニ祈リノ農業ヘト云ツタヤウニ、變化ヲ來シテ居ルト思フ、ソレニ對應スル農民ノ精神ヲ一段ト振起セシタルコトガ、食糧増産ノ意欲ヲ昂揚セシムル最モ大キナル要素デアルト思フ、然ルニ農民ガ色々田舎デ闇ヲヤツテ居リマシテモ、一度御闇ヲスル農民モ、同ジ血ガ流シテ居ル、唯一ツノ違ヒハ、軍人ニハ軍人勅諭ガアリ、魂ノ據リ所ガアル、訓練ガアリ鍊成ガアル、サウシテア、云フ神ノ姿

ニマデナリ得ルト思フノデアリマスガ、
田舎ニ居ル間ニ於テハ、サウデナイ面
ガ残シテ居ル人達が居ルノデアリマス、
今日ノ比ノ段階ノ要請ト致シマシテ、
農民ノ精神ヲモウ一段昂タルツノ
方法ト致シマシテ、皇國農民道ノ基幹ト
言ヒマセウカ、中心ト言ヒマセウカ、
指道精神ト言ヒマセウカ、サウ云フモ
ノヲ此ノ際明確ニサレル必要ガアル
デハナイカト思フ、明確ニナツテ居ル
ト言ハレルカモ知レヌト思フノデアリ
マスガ、幸ヒニ日本ニハ天孫降臨ノ際
ノ御神勅ノ一ツニ齋庭ノ神勅ガアル
ノデアリマス、是ハ農民ニ賜ハツタル
神勅デアリマス、我々ハ詔ヲ承ケテハ必
ズ謹シムノデアリマス、「吾ガ高天ノ原
ニ御ス齋庭ノ穗ワ以テ、亦吾ガ兒ニ御セ
マツル」、農民ガ物ヲ作ルノハ陛下ニ
御供ヘ申上ゲル爲ニ作ツテ居ル、而
モ農民ガ作ツテ居リマス五穀ハ、天祖
ヨリ御手ヅカラ戴イタモノデ、其ノ生
命ハ脈々ト續イテ來テ居リマス、此ノ
誇りト大キナル意義トヲ持ツテ居リナ
ガラ、而モソレガ今日實現サレテ居ラ
ナイト云フ情ナイ状態ニアルト思フ、
勿論之ヲ誤ラシメタモノハ色々ゴザイ
マセウ、農林行政ガ其ノ裏付ケヨシナ
カツタ所モアルト思ヒマスガ、私ハ此
ノ際先づ精神ノ昂揚ト致シマシテ此ノ
齋庭ノ御神勅ヲ農民ノ最後ノ一人ニマ
デ徹底セシムラヤウナ方途ヲ、政府ニ
於テ御執リニナルコトガ、是ガ眞ノ農
民道ノ振起デアリ、皇國農村建設ノ本
當ノ精神的中核ヲ成スモノデハナイカ
ト思フ、軍人ニ對スル軍人勅諭、生産農
業作リ、武器ヲ造ル、農民トシテノ精神
ナ高邁ナル建前カラノ農村ノ生産意欲
増強、決戦農民トシテ 陛下ノ食糧ヲ

的基礎ヲ置カレルコトガ、何ヨリモ此ノ決戦段階、土壟場ニ來テ居リマス時ニ、最モ重要ナルモノデハナイカト考ヘルノデアリマスガ、是等ニ對シマシテノ大臣ノ御所見ヲ承リタトイ思ヒマス○島田國務大臣 御述ベニナリマシタ御意見ニ付テハ、全然同感デアリマス、而シテ此ノ農民ノ精神、實際土ヲ耕シ、種子ヲ植エテ、農作物ヲ作ツテ居ル其ノ農民ノ氣持ト言ヒマスカ、心持ハ、是ハ自ラ鋤鎌ヲ取ツテヤラナイ我我ガ、到底了解スルコトノ出來ナイ深イ考へガアルト私ハ考ヘテ居リマス、ソレハ他カラ昂揚スルトカ、側カラ激勵スルトカ云フコトヲ俟ダズシテ、三千年來土ト取組ンデ農ヲ營ンデ居ル眞ノ農民、農業者ト云フモノノ共通シタ大精神デアルト思フノデアリマス、無論ソコニハ經濟上ノ關係デ損得ト云フコトモ、人間デアリマスカラナイコトハナイ、併シサウ云フモノヲ離レタ深イ高イ超越シタ所ニ、我が國ノ傳統ノ農民精神ト云フモノガアツテ、ソレハ動カスコトノ出來ナイ我が國體ヲ遺キ、國體ト共ニアル大イナル精神ダト思フノデアリマス、ソレハ土ヲ耕シ、鎌ヲ擔イデ自ラヤツテ居ル所ノ農民自體ノミガ、腹ノ底カラ知ツテ居ルモノデアツテ、他カラ動カスコトノ出來ナイ不動ノ大精神ガアリ、ソレガ皇國ノ基礎ニナツテ居ル、農ハ國本ナリト云フ所ニ、ソニアルト自分ハ考ヘテ居ルノデアリマス、左様ナコトハ、地方ノ各地ニアル篤農或ハ精農、サウ云フヤウナ人々ノ言行事績ニ付テ之ヲ見マスルト云フト、到ル處ニ之ヲ見ルコトガ出來ル、先日私ハ大阪府下ニ於ケル篤農ノ人々言行錄ヲ、大阪府知事カラ見セラレマシテ、短イモノデアリマシタ

カラ、之ヲ全部讀ンデ見タ、ソレヲ讀ンダ時ニモ、今申上ゲルヤウナ非常ニ大キナ強イ意思ヲ感ジタノデアリマス、父祖傳來ノモノ、或ハ自分ノ代ニナツテヤツタモノ或ハ他ノ事業ヲシテ居ツテ、中途カラ農ニ歸シテサウシテ自ラ農ヲ營ンデ居ルモノモアリマス、色々アリマス、併シナガラ農業者トシテ、百姓トシテ、斯ウシテ土ト取組ンデ居ル其ノ氣持ハ、只今前川君ノ御話ニナル齋庭ノ御詔ノ其ノ儘ノ精神ヲ自然ニ體得シテヤツテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ之ヲ精神作興ノ方面カラ激勵シタリ、言ツタリスルコトノ必要デナシト云フノデハナイ、ソレ等ノ作興、或ハ激勵ノ色々ナ勵キ掛けガアリ、是等ヲシテ尙ホソニ自覺ヲ呼び起サスト云フ所ノ勵キガ加ヘラレ、バ、一層其ノ精神ヲ昂揚スルノデアルコト勿論デアリマスガ、現在デモ日本ノ農民ハ戦争が苛烈ニナルニ從ツテ、總ノ重荷ハ俺等ノ上ニ來ルノダト云フコトヲ皆言ハズ語ラズ自覺ヲシテ、黙々トシテヤツテ居ルト、斯ワ思ツテ居ルノデアリマス、ソレハ蔽フベカラザル強イ志ヲ持ツテ居ルノデス、強イ根ノ深イ所カラ來テ居ルト自分ハ考ヘテ居ルノデアリマス、隨テ只今御話ニナル何等カノ形ニ於テ、五箇條ノ御誓文ヲ我我ガ讀ンデ、立憲政治ノ基礎トシテ國憲ニ格循シテ行クヤウニ、齋庭ノ穂ノ詔ヲ農家ノ御題目トシテ之ヲ唱ヘルヤウニ導イテ民ニ知ラシメテ行クト云フコトハ、洵ニ結構ナコトデアルト思フノデアリマシテ、是等ノコトハ政府トシアルガ、自分ハ實ハ百姓ヲシテ居ラナ

イノデアリマス百姓ヲシテ居ナライ百姓ノ子ハ、百姓ノ氣持ガ或ル程度分ツテ居ルト云フコトヲ默タシテヤツテ居ルトハ言ヒ得ナイト思フノデアリマス、併シナガラ傍ニ居ル者ガ、ヤハ實際ヤタル農業精神ヲ表ハスベキ題目ヲ共ニ唱ヘルヤウニ致スト云フコトハ、非常ニ結構ナコト考へマスノデ、前川君ノ御話ノ御趣意ニハ全然同感デアリマス○前川委員大臣ニ農民ニ對スル絶大信賴ニ對シテハ敬意ヲ表スルノデアリマス、篤農家ハ勿論今申シマシタヤウ一段ソレガ掘下ゲラレ、高メラレテ行カナケレバナラヌヤウナ節ガ多少アルノデナイカト私ハ感じテ居ルノデアリマス、政府ハ戰時農業要員ノ指定ヲサレテ居ルノデアリマスガ、勞務者ニハ一ツノ手帳ノヤウナモノガアリマシテ、其ノ中ニハ自分ノ魂ノ據リドコロガ既ニ明記サレテ居ルノデアリマス、若シ出来マスナラバ戰時農業要員ニ勞務手帳ノヤウナモノ、或ハモット崇高ナモノ方ガ宜イノデアリマスガ、サウ云フモノヲ何時デモ肌身離サズ持ツテ居ツテ、集會ノアル毎ニ朗誦シテ共三行クト云フヤウナ機會ヲ興ヘルコトモ一ツノ方法デハナイカ、若シクハ農業會ノガ、私ハ此ノ際サウ云フモノヲ今ノ齋庭ノ神勅ノヤウナ、實ニ農民ノ道トシテ守ラナケレバナラナイ額トカ、軸トカ云フヤウナモノガアルノデアリマスガ、私ソレニ取替ヘラレテ宜イ時ガ來テ居ル、而モソレニ對スル解説ヲ適當ナ人ニ依

ツテ行フ、農村ノ國民學校、青年學校、サウ云ツタ集團ニモ、其ノ教育ハ普段カラ行ハレテ置カナケレバナラナイデハナイカ、色々具體的ナ澤山ノ方法ガ考ヘラレルノデアリマスガ、今大臣ガソレ等ニ付テ考ヘテ見ヨウト云フ御話デアリマスガ、尙ホ一層之ヲ具體化サレマシテ、實現ヲ見ルヤウニ色々ナ點ヲ御願ヒシタイノデアリマス。

○高橋委員長 皆様ニ御注意申上げルノデアリマスガ、大臣ノ時間ハ非常ニ少ノイデス、ソレデ何レソ大臣ニ對スル御質疑ハ御尤モデ重大ナル質疑ト存ジマスケレドモ、時間ノ關係上皆様ノ質疑ヲ制限シナケレバナラヌ必要ガアルノデアリマス、ソレデ詳細ノコトハ他ノ政府委員ニ對シテ御質疑ヲシマス——加藤知正君

○加藤(知)委員 私ハ農商大臣ニ對シマシテ色々御質問申上げタウゴイ

今後ノ御質疑ヲ御許シ致シマス——加

ルノデアリマス、ソレデ何レソ大臣ニ對スル御質疑ハ御尤モデ重大ナル質疑ト存

ジマスケレドモ、時間ノ關係上皆様ノ

ノデアリマスガ、大臣ノ時間ハ非常ニ少ノイデス、ソレデ何レソ大臣ニ對ス

ル御質疑ハ御尤モデ重大ナル質疑ト存

シテ、ドウカ簡単二期讀的ニ、再質問ヲサレザルヤウニ限定致シテ、皆様ノ

希望デアリ、要望デアルコトヲ私ガ代

シテ御尋ね申上ゲタイト存ジマス、左様

御考ヘ下サイマシテ、御答辯ヲ戴キマ

ク、蠶絲業者全體ノ輿論デアリ、又

希朢テアリ、要望テアルコトヲ私ガ代

表シテ茲ニ之ヲ御尋ね申上ゲルモノト

御考ヘ下サイマシテ、御答辯ヲ戴キマ

スレバ洵ニ結構ト存ジマス、ソコデ大

臣ハ既ニ建議書ニ依リ、又陳情書ニ依

リマシテ十分御承知ノコトデアリマス

カラ、私ハ時間ノ省略上各項目ヲ朗讀

致シマシテ、別ニ之ニ説明ヲ加ヘマセ

ヌカラ、ドウダ大臣ハ其ノ積リ得各項

目ニ付テ、ソレトド寧懇切ニ御答辯

ヲ御與ヘ下サルヤウニ御願ヒ致シマス

マスケレドモ只今委員長ノ御言葉モア

リ時間ノ關係上、遺憾ナガラ大臣ニ對

スル質問ハ蠶絲業問題ダケニ止メテ

置キタイト存ジマス、ソニデ先づ第一

ニ御尋ね申上ゲタイト存ジマスコトハ、

繭ノ増産問題デアリマスガ、此ノ問題

本中央蠶絲會議會副會長ノ名義ヲ以テ、繭增產非常對策ニ關スル

建議書ヲ内閣總理大臣初々農商大臣、

軍需大臣陸續軍大臣、大藏大臣ノ各大

臣ニ對シテ建議書ヲ提出シ、次デ十二月

二十六日同ジ委員會ノ決議ニ依リマシ

テ、繭增產非常方策實施方ニ付テ以上

ノ各省大臣ニ對シテ再陳情書ヲ提出シ

存ジマス

第三ガ、一定數量以上ノ繭供出者ニ

對シテハ、綿製品ヲ特配セラレタイ、

若シソレガ出來ナイト云フコトデアリ

○島田國務大臣 只今加藤君ノ御述ベ

ニナリマシタ各項目ハ、既ニ御話ノヤ

農商大臣ノ御意見ノ存スル所ヲ御伺ヒ

致シタイト存ズル次第アリマス

レゾ研究ヲ致シテ居リマス、中ニハ、

桑園確保等ノコトニ關シマシテハ、豫

算ノ措置モ少額ナガラ講ジテ居ルヤウ

ニ御考慮シテ戴キタイ、只今デハ平均

ニ引上ゲルニ付テ、更ニ追加ノ御主張

ニ付キマシテハ研究ヲシテ居リマスガ、

八百匁位ヲ自家用ト認メルヤウデアリ

日本蠶絲製造會社社長、小山全國共榮組合理事長、長野日本真綿製造販賣組合理事長等ノ各團體代表者ノ連名ヲ以

テ再陳情ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、

私ハ其ノ建議書、其ノ陳情書ニ現ハレタル事項ヲ取締メマシテ、農商大臣ニ對

シ御尋ね申上ゲタイト存ジマス、左様

致シマスベは私一個ノ私見デハナ

ク、蠶絲業者全體ノ輿論デアリ、又

希望デアリ、要望デアルコトヲ私ガ代

ト共ニ、蠶蛹ノ三分ノ二ヲ養蠶家ニ還

元セラレタイ

第四ガ、蠶蛹價格ノ大幅引上ヲ行フ

ト共ニ、蠶蛹ノ大幅引上ヲ行フ

マスナラバ、自家用繭ノ認容ニ付テ特

ニ御考慮シテ戴キタイ、只今デハ平均

ニ付キマシテハ研究ヲシテ居リマスガ、

マスガ、少クトモ生産繭ノ半分位ハ自

家用繭ニ御認メ下サルヤウニ御願ヒシ

タイト考ヘマスルガ、如何デゴザイマ

セウカ

ト共ニ、蠶蛹ノ大幅引上ヲ行フ

マスナラバ、自家用繭ノ認容ニ付テ特

ニ御考慮シテ戴キタイ、只今デハ平均

此米價ガ上レバ土地モ地主ハ賣ラナ
イ、賣ラナケレバ自作農ニナラナイ、
カレルノデアリマセウカ、之ニ付テ大
臣ノ明確ナル米價改正ノ當時ニ於キマ
スル考へ方ヲ一ツ御言明願ツテ置キタ
イノデアリマス、其ノ一ツノ問題トシ
テハ、昨日農政局長カラ小作制度ニ關
スル御答辯モアリマシタガ、併セテ
大臣カラモソレ等ノ諸點ニ付テ御考へ
ガアリマスナラバ、此ノ際御言明ヲ得
テ置キタイト思ヒマス、是ガ第一點デ
アリマス

第二點ハ、現在行ハレテ居リマス生産
獎勵金及ビ供出獎勵金、此ノ二ツノ制
度ハ、米價ヲ改正セラル、ト共ニ、ヤハ
リ制度トシテハ存續セラレルノデアラ
カドウカ、其ノ率テアルトカ、色々ナ
問題ニ付テハ別デアリマスガ、此ノ制
度其ノモノハ、存續セラレルノデアラ
ウト考ヘルノデアリマスガ、之ニ對スル
大臣ノ御考ヘドウデアリマスルカ、
御言明ヲ得テ置キタイト思ヒマス、是
ガ第二點デアリマス

第三點ハ、今日問題ニナツテ居ル配
給機構、其ノ内食糧營團ガ扱ツテ居リ
マス所ノ米ノ問題ニ付テ、農家ノ手許
ヲ百五十「キロ」建テ四十六圓デ離シテ
參リマシタ米價ガ、食糧營團カラ消費
者ニ移リマス時ニハ百四十一「キロ」建ニ
ナリマシテ、値段ハ四十九圓九十八錢、
而モ營團ハ此ノ米ヲ二分搗キスルト云
フヤウナ複雜ナ關係カラ、細カイ議論
ハ省略シマスガ、一石ニ付テ五圓二
十五錢ノ利益ガアル、是ハ屢々、食糧營
團局長官ノ言明ニ依ツテ明瞭デアリマ
ス、ソレニ「プラス」儀、「プラス」糠、合
計致シマスト六圓ヲ突破致シマス、尙ホ
其ノ間政府ハ還貸トシテ一圓二十錢ト

云フモノヲ食糧營團ニ渡ス前ニ取ツテ
居ルノデアリマシテ、農家カラ消費者
ニ渡リマス所ノ米一石ニ對スル手數料
ト云フモノハ、私ノ計算ニ依リマスト
七圓近クニナリマス、一體斯ウ云フ澤
山ノ費用ガ途中デ取フレテ居ルト云フ
コト自體、配給機構トシテ正シイノカ
ドウカ、私ハ大臣ニ細カイ數字ニ付テ
承ラウト云フノデハアリマセヌ、併シ
本當ニ戰時下ニ於ケル所ノ農業統制ト
云フモノニハ横流レ等ヲ防ギ、徹底的
ナ是等ノ配給機構ノ完備ト云フモノガ
ナクテハナラナイト思フノデアリマス
ガ、都市ニ於ケル生鮮食料品ノ價格ノ
撤廢等ノ大臣ノ農業政策ニ現ハレテ居
リマス思想ニハ、或程度ノ自由主義
的ナル問題ヲ採用スルコトニ依ツテモ
ノガ旨ク流レル、自由主義的ナル採用
ト云フモノガ農相ノ頭ニ相當ゴビリ付
イテ居ル結果、斯ウ云フ配給機構ト云
フヤウナモノニ付テモ、相當弛シニ居ル
ノデハナイカト云フヤウナ心配ガアルノ
デアリマス、此ノ點ハ洵ニ大臣ニ失禮ナ
是等ノ重要ナル農産物ヲ扱フ、機構ニ
付テハ、十分ナル監督ト國家性ノ完璧
ヲ期セラレナケレバナラナイト思フノ
デアリマスガ、之ニ對スル大臣ノ御所
見ハ如何デアリマスカ、以上三點ニ付テ
明確ナル御管轄ヲ得タ如意ミマス

ヲヌコトモ當然デアリマスカラ、ソレ等ノ點ニ付テハ十分研究ヲ致シテ居リボスヤウナ突飛ナ改訂ヲ政府ハ目論ンマス、併シナガラ米價ノ改訂ト申シマシテモ、是等ノ方面ニ非常ナ影響ヲ及ベキモノデモナイト思ツテ居リマス、唯現在ノ米價ニ付テ、是ガ他ノ諸物價トノ關係、ソレカラ今ノ米價ノ決メ方デ居リマセヌ、左様ナコトハ又考ヘルベキモノデモナイト思ツテ居リマス、シテ見ルト相當ナ高ニナルノニ、ソレヲハ獎勵金ト云ヒ、或ハ報奨金ト云ヒ、種々ナル名目ノ下ニソレガ別々ナ形デ渡ツテ居ル爲ニ、ソヨニ複雜ナ關係ガ起ツテ利弊ト云アモノが出て來マスカラ、是等ノ點ヲ一般ノ事情等ト考ヘ合セテ改訂ヲ加ヘルノ必要ガアル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、併シナガラ左様ニ致シマシテモ、改訂ノ場合ニハ是が自農創設ノ上ニドノ程度ニ影響ツ及ボスカ、又小作ト地主トノ關係ニ付テドウ云フヤウナ考ヘ方ヲシナケレバナラスカト云フコトニ付テハ、慎重ニ研究ヲ致シマシテ、遺憾ノナイヤウニ措置シタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

ソレカラ食糧配給ノコトニ付テ、營園ノ運營ノ仕方、ヤリ方、ソレカラ其ノ間ニ於ケル種々ナ營園ノ手數料ト云ヒマスク、取リ分ノヤウナ事柄ニ付キマシテハ、是ハ更ニ數字ニ付キマシテ能ク研究ヲシテ見ルコトニ致シマセウト考ヘテ居リマス、居リマスガ、一ツ此處デ御述ベニナリマシタ中ニ、或ル主義ヲ以テヤツテ居リハセヌカト云フヤウナ御疑問デ——質問デハアリマセヌガ、サウ云フヤウナ御批評ノ御言葉ガアリマシタガ、之ニ付テハ私ハ一言辯

明ヲシタイト思フノデアリマス、私ハ農商省所管ノモノニハ限ラズ、大體主義ト云ヒマスカ、「イズム」ト云ヒマスカ、「イデオロギー」ト云フカ、サウ云「アモノニ依ツテ政治ヲスペキモノデハナイト考ヘテ居リマス、政治ハ國民ノ生活ヲ安定ニスル、平和ニ導ク、サウ云フコトヲ目途シテ、其ノ目途ノ爲ニ必要ナル事柄ニ付テ適當ナ處置ヲシテ行クト云フ考ヘデヤラケレバナラヌ、「イズム」トカ、主義ト云フコトニナリマスト、私ノ經驗カラ申シマスト、ソレヲヤルト行過ギガ何時デモ起ル、斯ウ思ツテ居リマス、ソレ故ニ私ハ敢テ「イズム」ヲ——學者ガ「イズム」ヲヤリ、主義ヲ唱ヘルコトニ付テ別段ニ批評ハ致シマセヌガ、政治ヲ執ル者トシテハ傾カナイヤウニシテ行カネバナラヌ、現實ノ事實ニ即シテ事ヲ行フ、就任當時ノ大都會ノ食糧事情ヲ考ヘテ見マシテ、日本國ノ戰時ニ於テ勤ク場合合ノ眼目ガ何處ニアルカト云フ、ナル消費地、斯ウ云フ所ノ人心ガ動搖スルト云フヤウナ虞ガアル場合ニハ、動搖シテハ居ラナカツタケレドモ、動搖ノ虞ガアルト云フヤウナ場合ニハ、ソレニ對シテ應急ノ手ヲ打タナケレバナラナイ、火事ニハ水ヲ持ツテ行ク、斯ウ云フ考ヘ方デ、急ヲ救フモノガアレバ、其ノ時ニハ急ヲ救フダケノ處置ヲシナケレバナラヌ、斯様ナ考ヘ方ヲノデアリマス、ソレ故ニ他ノ事柄ニ以テ其ノ時ニ處シタノデアツテ、其ノ付キマシテモ、殊ニ農商省關係ノ農家ヲ相手ニシテヤル色々ナ仕事ニ付キマシテハ、ドウモ或ル方針、主義ト云フコトノヤウナ意味デ、斯ウ云フ理窟デ

アルカラスウダト云フコトノミヨ以テ
推シテ行クコトハ、農家相手ノ仕事ト
シテハドウモ適當デナイカノ如ク考ヘ
マス、ソレナラバ出鱈目ニヤルト云フ
コトハ、又非常ナ弊害ノアルコトハ固
ヨリデアリマス、今自由主義的ナ傾向
ト云フヤウナ御話ガアリマシタガ、自
由主義デ行カネバナラヌ時ニハ、自由
主義ニ依ラホバナラヌカモ知レナイ、
又統制デ行カネバナラヌ時ニハ統制モ
用ヒナケレバナラヌ、事實ニ即シテ事
ヲ處シテ行クト云フニトガ一番腎脛ナ
ノデハナカラウカ、遠キ所ヲ見透シテ
居ツテ、サウシテ事實ヲ見テ足ヲ地ニ
着ケテ歩ンデ行クト云フヤリ方デナケ
レバナラヌノデハナカラウカ、斯様ニ
考ヘテ居リマスカラ、ドウゾ平野君ニ
於テモ農商大臣ガ主義ニ依ツテナドト
云フ若シ誤解ガアリマシタナラバ、是
ハ御取除キヨリ願ヒタイト思フノデアリ
マス、自作農創設、小作トノ關係、ソ
レカラ食糧ノ配給機構ニ關シテ、食糧營
團ノ問題等ニ付テハ、是ハ現在ノ食糧
營團ニ關ヘル中央ノ營團、地方ノ營團
色マダ研究ヲ要スル點ガアルヤウニ考
ヘマシテ、是ハ折角考慮致シテ居ル
所デアリマスカラ、只今御質問中ニ御
指摘ニナツタヤウナ事項ニ付テハ十分
注意ラシマシテ、有力ナル參考トシテ、
此ノ問題ノ解決ヲ考ヘル場合ニ酌ミ入
レテ處置ヲ致シタイ、斯様ニ考ヘテ居
リマス

ウ云フ風ナ戰局ニナリマシタノデ、特ニ此ノ點ハ飛躍的ニ考へナケレバナラヌト私ハ考へテ居ルノデアリマス、現實ニ於テ需給推算ヲスルマデモナク、又本土ダケデヤツテ行クト云フ態勢マデ行カナイ今日ノ實情ニ於キマシテケル、斯ウ云フ感じガスルノデアリマス、テ居ル、大都市ノミデナク最近ハ農村ニ於キマシテモ、非常ニ深刻ナ状態ニモ、闇ト云フモノハ非常ニ深刻ニナツモツ旨ク行ケナイカ、生活必需物資ノ適量ガ適時ニ適切ニ、ナゼモツト旨クナツテ居ルノデアリマス、ソレデナゼモツト旨ク行ケナイカト云フ感じ云フ不安ガ募ツテ參リマスト云フコトヲ今日デサヘモ持ツテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ内地ガモツト苛烈ナ戰場ニ入リマシタ時分ニハドウナルカトモウ少シアルノデハナイカト云フ感じ行カナイノダラウ、闇テ動ク品ガアルノデアリマスカラ、品物ハ全體トシテモウ少シアルノデハナイカト云フ感じヲ心構ヘトシマシテハ、ドンナコトニ安定期ト云フコトニ付テノ御所信ヲ承ツテ置キタイト思フノデアリマス、國民ノ心構ヘトシマシテハ、ドンナコトニナツテモ、木ノ根、草ノ葉ヲ嗜ツテモ頑張ル、斯ウ云フ考へデ參ラナケレバナラヌコトハ勿論デアリマスガ、政治ノアリ方トシマシテハ、ドンナ事態ニ入シテモ心配ハナイカラシツカリヤレ、斯ウ云フ強イ安定感ヲ與ヘルダケノ御方針ヲ明カニ承ツテ置キタイト思フノデアリマス、之ニ關聯シマシテモウ一言御尋ネ致シテ置キマスガ、最近農村ニ於キマシテ闇ノ急激ナ機運ヲ感成致シテ居ルモノノ一ツト致シマシテ、軍需會社ノヤリ方ニ付テ非常ナ非難迷惑

○島田國務大臣　生活ノ安定、闇ニ關係シテ、ト云フヤウナ色々御意見ガアリマシタ、私ハ本議場デモサウ云フコトヲ申シタカト考ヘテ居リマスガ、人間ハ生キテ行クモノデアリマス、サウシテ何時カハ死ヌモノデアル、ダカラ之ニ付テ安定感ト云フモノヲ根本的ニ興ヘルト云フコトハ、是ハ農林行政ノ區域デハナクテ、寧口精神方面ノ宗教トカ云ツタヤウナ問題ニ究極ハナルノデアリマス、米ガアルカ、麥ガアルカ、諸ガアルカト云ツテモ、是ハ皆是カラ出來ルモノニアリマス、サウシテ其ノ出来ルノニハ、天候ト云フモノガ最セ大キナ働キヲナスコトハ今更申上ゲルマデモナイコトデアリマス、塞中ニ寒が強ケレバ、雪ガ多ケレバ今年ハ豊作デアラウ、斯ウ云フコトヲ普通ニ古來言ツテ居ル、マア多クハ當ル、ケレドモ本年ノ東北地方ノ青森邊リノ交通ガ杜絶スル程ノ量ノ降雪ガアリマスト云フト、必シモドウモ古來ノ言ヒ傳ヘ通りニ行クカドウカ分ラヌト云フコトモアル、ソレヲ心配シテ、ドウダラウカ、ドウダラウカト云フコトニナルト、是ハドウモ際限ノナイコトニ私ハナリハセヌカト思フ、ソコデ統計ト云フモノガアル、何年間ノ統計ヲ見テ、私ノ知ツテ居ル限リニ於キマシテモ、私ノ知ツテ居ル最近十數年間ニ於テ、米ニ付テ申シマスレバ、一番米ノ出來ノ惡カツタ云フ時ハ五千五、六百萬石デアツタト思フ、一番好カツタ時ハ七千萬石、是ガ十幾年ノ間ノ最高最低デアリマスカラ、是等ノコトヲ考ヘテ見ルト、大體天候、色々言ケレドモ、農民モ相當努力ヲシ、相當ニヤツテ、人

事ヲ盡セバ先ヅ其ノ程度ノモノハ穫ズシモ穫ラヌ狸ノ皮算用デナシニ、ソレハ勘定ニ入レテ宣イノデハナカラウカト思フ、麥デモ其ノ通りデアリマス、十八年度ヨリハ十九年產ノ麥ハ五百萬石以上多ク穫レタ、ソレナラバ今年モ穫シルカ、斯ウ言ハレルト、諸合フコトハ出來ナイ、併シナガラ本年ハ作付ノ面積モ昨年ヨリ劣ツテハ居ラヌ、総合作付トシテ割當テタモノハ殆ド植付ラシテ居ル、廣幅薄播ノ宣傳モ可ナリ、徹底シテ居ル、今後ノ手入レガ宜ケレバ相算ナ收量ハアルベキ算デアルケレドモ、天候ノ關係ニ依ツテハ、是が減ルカモ知レヌト云フコトガアル、併シサウ云フヤウナ點ヲ種々綜合シテ考ヘテ見ルト、ソヨニ凡ソ麥ノ產額、米ノ產額、雜穀ノ產額、甘藷ニ付テ云ヘバ、本年ハ十一億ト云ヒ、十二億ト云ヒ、十三億ト云ヒ、分量ノ多イモノデアリマスカラシテ、精密的確ナ數字ハ舉ゲラレナイニ致シマシテモ、先ヅ十二億内外ノ收用量ガ甘藷ニ付テハアツタ、サウスルト之ニ對シテ反別ヲ多クシ、努力ヲ拂ヒ、非常ナ勉強ラシテ行ケバ、諸ハ天候ニ支配サレル所ガ比較的少イ強イ作物デアリマスカラ、是ハ相當ナ量ガ得ラレル、二十七億貰ト云フノガ三十億貫ニナルカ、二十五億貫ニナルカト云フコトハ言ヘナイケレドモ、相當ナ量ガ得ラレルモノト見ナケレバナラナイ、滿洲或ハ臺灣、朝鮮等ノ外地カラ來ル所ノモノモ、是セ今ノマスガ、ソレハ輸送ノ關係デアルカラシテ、戰局ノ模様ニ依ツテハ輸送ノ關係

係ハ善クナルヨトモアリ得ルノデアリ
マス、物ガアルノデアリマス、サウ云
フ風ニ考ヘテ見ルト、之ヲ樂觀スルト
云フコトハ出來ナイケレドモ、悲觀ヲ
任者ヲ初メ關係者ガ皆ヤラウ、斯ウ云
フ氣分ニナツテ、作ル者ハ作り、配給
スル者ハ配給シ、世話ヲスル者ハ世話
ヲシテ、眞剣ノ努力ヲシテヤル氣ニナ
ツテヤレバ、敢テ不安アリト云フコト
ヲ申ス必要ハナイ、安心ダト云ツテ樂
觀ヲスルト云フコトハ許サレナニヨコ
テアルケレドモ、殊ニ戰爭中ハ安心ハ
禁物デアリマスケレドモ、併シ不安デ
アルカラト云ツテ、不安ダ／＼ト言ツ
テ騷グヤウナ程ノ危險ハナイ、斯ウ云
デアルケレドモ、殊ニ戰爭中ハ安心ハ
ソレハ農商大臣トシテノ島田ト云フ考
ガ一人サウ云フ風ニ思ツテ居ツテモ、
全國民ガ皆不安ダ／＼ト言へバ、是ハ
ドウモ不安ニナラザルヲ得ナイノデア
リマスガ、先づ大體ノ數字ヲ常識的ニ
腰、ダメニ考ヘテ、米ハ六千一二、三百萬
石、良々出來レバ、六千五百萬石「レコ
ド」カラ言ヘバ、七千萬石も出來タコ
トガアルカラト云ツテ、サウドウモ樂
觀ノヤウナコトバカリモ言ヘナイガ、
併シ米ノ増産ニ付テハ品種ノ改良其ノ
他ニ付テ相當政府モ力ヲ入レテ居ルカ
ラシテ、天候ノ工合が好ケレバ、七千萬
石ヲ突破スルカモ知レナイ、突破ラシ
テモ決シテ不思議ハナイ、ケレドモセ
クハ少シ内輪ニ見ルヤウナ見方ヲシテモ、
私ハ内地ノ主要食糧、雜穀ト云フ事
モノニハサウドウモ本年ニ限ツテ特別
サウ云フヤウナ見方ヲシテ、中位若シ
レヲゾンナンニ見ナイデ、六千三、四百
萬石トカ云フヤウナ程度ニ之ヲ見テモ

ナ不作ガ、ドノモノニ對シテモアルト
ハ考ヘラレナイト見ルコトガ適當ノ見
方デハナカラウカ、斯ウ思フノデアリ
マス

ソレカラ現在供出ヲシテ居ルモノニ
付テ、私ハ闇ヲ適當ダトハ決シテ思ヒ
モシナケレバ、サウ云フコトヲ是認ス
ルヤウナ意味ノ言葉ヲ申スノデハアリ
マセヌケレドモ、闇ニ流シ、横ニ流シ、
大口買出シヲスル、ソレデアルカラシ
テヤリ方ニ依ルト、マダ物ハアルンダ、
斯ウ云フコトヲ言ヘバ、ソレハ確カニ
サウ云フコトガ言ヘルト思フ、言ヘル
ト思フケレドモ、ソレヲヤルカラ、ソ
レヲ取押ヘテ禁ジテ、サウシテ一般ノ
者ニ配給ヲ良クスルヤウニスレバト云
フヤウナ考ヘ方ヲスルコトモ、亦是ハ
簡單ニハ行カナイト思フノデアリマス、
ヤハリ現在政府ガヤツテ居ルコトガ、
ソレガ總ニ於テ萬全トハ固ヨリ申シ
マセヌ、ソレハ色々ナルヤリ方ニマダ
及ハザル所ガアルケレドモ、現在ヤツ
モ生活上ノ不安ト云フヤウナコトハナ
イモノト考ヘマシテ、其ノ點ニ於テサ
盤ヲ固ク握リナガラ大勢ヲ見テ動イテ
行ケバ、食糧ニ關スル限りハ、少クト
テ居ルヤウナ方針ヲ以テ需給推算ノ算
盤ヲ固ク握リナガラ大勢ヲ見テ動イテ
行ケバ、食糧ニ關スル限りハ、少クト
モ生活上ノ不安ト云フコトデ、安定
ヲスルト云フコトガ得ラレルナラバ、
是ガ私ハ國家ノ幸ヒ、ソレデ戰爭モ出
來ル、斯ウ思フノデアリマスガ、アレモ
不安はモ不安ト云ツテ心配シテ手ヲ空
シウシテ居ルト云フヤウナ氣分ニナレ
バ、ソユニ戰爭ヲ續ケテ行クト云フコ
トノ上ニ、職力ノ増強ト云フ上ニ色々
ナコダハリガ生ジテ來ルヤウニ考ヘマ
スノデ、私ハ國民ニ對シテ食糧方面ノ
責任ノアル大臣トシマシテ、不安ナシ

トハ樂觀的ニ二ハ言ハナイケレドモ、不
安アリト云フコトハ大ナル考へ間違
ヒデアル、斯ウ云フコトヲ言ツテ居ル
ノデス、瞬昧ダト云フコトニヨク批評
サレマスケレドモ、天候相手ノ仕事等
是レ以上確實ナコトヲ申上ゲルコトハ
出来ナイ、私ハソコデ統計學ノ上ニ
大量觀察ノ原理ト云フモノガ大キニ勵
イテ居ルコトヲ國民ニ告ゲタイノデス、
十年、五年、何年ノ間に其ノ物ノ生産
ヲサレ、又人口ノ増減ニ致シマシテモ、
是ガ多ク殖エル年ト少い年トアル、併
シナガラ何年カロ平均シテ見ルト、ソ
ニ「ペーセンテージ」ト云フモノガア
ツテ、人口ノドレダケノモノガ生レテ
ドレダケノモノガ死ンデ、差引七十萬
ナリ八十萬ナリト云フモノガ增加ヲス
ル、ソレダカラ昭和十二年ノ人口ヘ其
ノ率ヲ掛ケテ行クト、昭和十九年ニハ
七千六百萬、ケレドモ外地ニ出テ行ク
者ヤ何カアルカラ、二月二十日ノ現
在デヤツテ見タナラバ七千三百萬ニア
ル、斯ウ云フコトガアル、人口ノ増加
率ト雖モ、戰爭ガアツテ戰死者ガアル
カラ大變減ルヤウニ八ハ思ウテ居リマ
スガ、サウデハナイ、戰時下ニ於ケル
人口統計ヲ取ツテモ、平時ニ於ケル人
口統計ヲ取ツテモ、戰死者ヲ含メタ死
亡者ト生レタ者トヲ比べテ見ルト、大
シテ統計ノ原則ニハ外レテ居ラヌノデ
アリマス、隨テ天候相手ニシテ居ル仕
事デアルトハ言ヒナガラ、米麥其ノ他
ノ農產物ニ付キマシテモ、私ハ統計ノ
教ヘル大數ト云アモノハ動カナイモノ
デアル、斯様ニ考ヘル、隨テ米ニモ平
年作アリ、麥ニモ平年作ガアル、平年
五分二割ト云フモノガ增産出來ル、
現時ノ我國ノ國內事情カラ言ツテ大増

ニ於テ可能ナ餘地、自給態勢ヲ確立スル上
諸ニ持ツテ外ク、ソコデ政府ノ自給態
勢確立ニ付テノ國策トシテ諸ノ大増產
麥ニモ米以上ニアルケレドモ餘地ハ
少イ、何處へ持ツテ行クカト云フト、
諸ニ持ツテ外ク、ソコデ政府ノ自給態
勢確立ニ付テノ國策トシテ諸ノ大増產
ヲヤル、是ハ「アルヨール」其ノ他ノ關
係ガアリマスケレドモ、ヤル、是モ二倍モ
三倍モ急ニヤルト云ツテモ、中々ソレハ出
難イカラ、先づ現在ノ二倍程度、ソコ
カラ二十七億トカ云フモノガ出テ、是
ガ天候其ノ他ニ工合ニ依ツテ多ク出來
ルカモ知レヌ、或ハ少シハ減ルカモ知
レヌト云フコトガアリマスケレドモ、
ソレ等ノモノヲ目ヲ瞑ツテ考ヘテ見ル
ト、ソコデ樂觀ト云フコトニナル、ド
コニ不安ガアルカト云フコトヲコツ
チカラ、聽キタインヂス、ドウ云フ所
ガ不安デサウビク／＼スルノカト云フ
コトヲ聽キタイ、人口ハ七千六百萬、
殖エタトコロデ七千八百萬ニハナリマ
スマイ、七千六、七百萬ノ人口ヲ抱ヘ
テ、サウシテ未ダ是レ位、麥ガ是レ位、
諸ガ是レ位、「アルヨール」ヲ造リ色々
ヤルケレドモ、大數ニ算盤ヲ寄セテ見
タラ大シタコトハナイデヤナイカト云
フコトニ結論ガナル、ドコラ攔マヘテ
不安ト言フノカト云フコトヲ言ヒタイ、
ヤルコトハヤル、ソコデ戦爭ヲヤルニ
付テハ、ヤラウト云フ氣持ガナケレバ
戰ニハ勝テナイ、諸ニ付テモ其ノ通り
デアリマスカラ、皆ガヤル氣ニナツテ
起チ上レバ食糧ニハ不安ナシ、斯ウ云
フコトヲ私ハ申上ゲテ居ル譯デアリマ

○森川委員 極く簡単二要點ノミヲ質問致シマス、水産關係ニ對スル質問デアリマスガ、先づ本年度ノ水產物ヲド、ノ程度ニ御考ヘニナツテ居ラレルカト云フ點、是ハ勿論色々ナ資材、勞務其ノ他ノ關係モアリマスノデ、是モ今ノ大臣ノ御話ノ通リニナルカモ知レマセヌガ、ドンナ程度ニ考ヘテ居ラレルカト云フコトヲ御伺ヒシタイ、ソレカラ水產關係ハ天候ヨリモ特ニ資材關係ニサレルト思ヒマス、此ノ資材ノ流シ方重要ナ點ガアラウト思ヒマスガ、其ノ資材ノ點デアリマス、水產物ハ農產物ト違ヒマシテ、天候ヨリモ資材ニ左右ニサレルト思ヒマス、此ノ資材ノ後程水產局長ニ伺ヒタイト思ツテ居リマスガ、端的ニ申シマスト、水產局ガ漁獲ノ點及び配給其ノ他ヲ受持ツテ居ルノデアリマスガ、此ノ資材ノ流レルノハ農商省ノ總務局ガ持ツテ居ルト云フ所ニ非常ナ矛盾ガアルノデハナイカ、之ヲ思ヒ切ツテ水產局ノ方へ資材ノ面ヲ持ツテ行ツテ、本當ニ機動的ニ重點のニ流スト云フコトガ、今ニナツテハ必要デハナイカト考ヘマスノデ、此ノ點ダケヲ伺ヒタイト思ヒマス

アリマセウガ、ソコデ問題トナルノハ
資材ノ關係デアリマス、是ハ又油ト云
ヒ、其ノ他關係ノ資材ハ、網デアリマ
ストカ、總テ非常ニ窮屈ニモツテ居ル、
是ニ付テモ先般競動員法ノ運用ニ依ツ
テ、漁業ニ付テハ要員ノ制度ヲ布クヨ
トニナリマシテ、勞力ノ確保ハドウシ
テ現状ノモノヲ維持スルヤウニヤ
ラネバイカヌト云フコトデ、其ノ點ニ
付テハ一ツ粹ヲ作ルコトニナツタノデ
アリマスガ、其ノ以外ノ資材ニ付テハ
相當困難デアリマス、唯今ノ漁業者ハ
非常ニ勇敢ナ氣魄ヲ持ツテ、南方等ニ
遷送油ノ爲ニ危險ヲ冒シテ行クト云
コトガ各府縣ソレヽアリマシテ、是
ハ相當ナモノガ得ラレルシ、又既ニ多
少ノモノハ得テ居リマス、又魚海其ノ
他ノモノヲ利用シテヤルト云フ種々ナ
工夫ヲ凝ラシテ居リマスケレドモ、尙
ホ及バナイト云フノガ現在ノ狀態デア
リマス、而モ獲ツタモノニ付テ、値段
ノ他ノ關係デ又其處ニ隘路ガアルト云
フヤウナ色々々ナコトデアリマシテ、ソ
レ等ノ點ヲ手直シラシテ、サウシテ統
一的ニ圓滑ナヤリ方ニスルコトニ付テ
ハ、只今水産局ト總務局トノ關係ニ付
テ御話ニナリマシタヤウナ點モ自然ア
ルノデアリマス、是モ御話ノヤウニ實
行ノ上ニ於テ、場合ニ依ツテハ圓滑デ
ナカツタヤウナ嫌ヒノアツタ事實モナ
イトハ言ヘナイト思ツテ居リマスガ、
是等ノ點ニ付テハ農商省内部ノ機構
關係等ニ於テ障碍ニナツテ居ル部面ニ
付キマシテハ、是ハ一ツ十分研究ヲシ
マシテ、圓滑ニ行キ、當業者ノ不便利
ヲ除クヤウニ努力ヲシタイト思フノデ
アリマス、全體ノ資材ニ付キマシテハ、
軍需物資等トノ關係ガアリマシテ相當
困難デアリマスガ、先づ労力ニ付テ要

員確保ヲ致シタ其ノ方針ヲ堅持シマシテ、資材ノ部面ニ於キマシテモ、今日ハ陸ノ產物ト云フコトヨリモ海ノ產物ニ重キラ置カネバナラヌト云フコトガ一般ニ言ハレルヤウニナツテ、輿論傾向ガソコニ向ツテ居ルヤウデアリマスカラシテ、此ノ方面カラ致シマシテ十分努力ヲシテ、現在ノ漁獲高ヲ上廻ルヤウナ風ニヤリタイト云フコトヲ目標トシテ、折角努力シテ行キタイト考ヘテ居ル次第アリマス

ヲ、或ハ内務省ハ内務省トシテノ個々
ノ計畫ヲサレテ居ル嫌ヒガナシトセナ
イノデアリマシテ、詰リ豫算ノ上ニモ
統一スベキモノガアルノデアリマス、
是ハドウシテモ效果ヲ十全ニスル爲ニ
バ此ノ機構ヲ綜合一元化スルコトガ先
づ喫緊ナコトデハナイカト思ビマス、昨
年第八十四議會ニ於テ建議案トシテ是
ガ現ハレ、而モ滿場一致ヲ以テ決定サレ
タ、然ルニ之ニ對シテ今日マテ何等ノ
手ヲ著ケテ居ラレナイ、是ハ洵ニ我々
遺憾ト存ジテ居ルノデアリマシテ、此
ノ場合一刻モ早ク此ノ院議ヲ尊重サ
レ、實現方に邁進サレンコトヲ希望ス
ル者デアリマスガ、之ニ對スル大臣ノ
所見ヲ伺ヒタイ

○土屋(源)委員 先づ私ハ極く簡明ニ
山林局長ニ御尋ねシタインデスガ、戰
局ノ推移ニ伴ヒマシテ、空襲ノ激化ス
ルコトハ申スマデモナイノデアリマス、
只今デハ主トシテ航空機ノ方面ヲ襲ウ
テ居リマスケレドモ、行クノ都市ノ破
壊、或ハ資源ノ破壊ト云フヤウナコト
コトモ、或ハ豫想セナケレバナラヌ事
ガ起ルノデハナイカト思フノデアリマ
ス、サウシタコトヲ考へマスル時ニ、
我ガ國ノ山林ニ對スル所ノ空襲ト云フ
ル森林保護ニ對シテ、何等カノ御考へ
ガオアリニナルダラウト思ヒマスガ、
之ニ對スル御所見ヲ承リタイト思ヒマ
ス、山林局トシテハ此ノ空襲ニ對ス
ル森林保護ニ對シテ、何等カノ御考へ
ガオアリニナルダラウト思ヒマスガ、
之ニ對スル御所見ヲ承リタイト思ヒマ
ス

○鈴木(一)政府委員 只今御尋ねガ
ザイマシタ戰局ノ推移ニ伴ヒマシテ、
山林資源ガ壞滅ニ歸スルヤウナ場面ガ
起りハシナイカ、之ニ對スル方策ガ
ルカト云フ御話デゴザイマスガ、我々
ノ方モ豫テヨリ此ノ事ヲ豫期致シテ居
ニ依リマシテ、山林火災ヲ生ジテ居リ
マス例モ相當ゴザイマス、林野面積ニ
致シマシテ大シタ焼失面積ニナツチ居
マシタ結果、林野警防要點ト云フ林野
火災ノ警防ニ對シマシテノ措置ヲ一つ、
ニ對シマシテ昨年ノ二月以來デゴザイ
マシタカ、内務省トモ能ク研究致シ
マシタ結果、林野警防要點ト云フ林野
火災ノ警防ニ對シマシテ、林野火災ニ對
シマシテ豫防竝ニソレノ消火、是等ニ
對シマシテ責任ヲ以テ警防ニ當ルト云
フ態勢ヲ確立致シテ居リマス、何ニ致
はス

○土屋(源)委員 大體サウシタ態勢ノ
執ラレテ居ルコトハ結構デアリマスル
ガ、山林火災ハ都市ノ火災ナドトハ大
分ノ性質ヲ異ニ致シマシテ、殊ニ此
ノ山林火災ノ防止ノ上デ大切ニ問題ハ、
主要な林地ニ對シテ豫メ防火線ノ設定
ノ如キハ、最モ效果ガアルト思ヒマス、
貴重ナル林分ニ對シマシテハ、豫メ斯
ウシタ施設ヲ國有林ナドニ於テハ執ラ
レ居ルコトヲ見ルノデアリマスガ、
私有林ニ於テ豫メ斯ウシタコトヲヤ
リマス、尙ほ現ニ數度ノ敵空襲ニ依
リマシテ、是ハ燒夷「カード」ヲ撒イタ
譯デハゴザイマセヌガ、燒夷彈其ノ他
ノ方モ豫テヨリ此ノ事ヲ豫期致シテ居
ニ依リマシテ、山林火災ヲ生ジテ居リ
マス例モ相當ゴザイマス、林野面積ニ
致シマシテ大シタ焼失面積ニナツチ居
マシタ結果、林野警防要點ト云フ林野
火災ノ警防ニ對シマシテノ措置ヲ一つ、
ニ對シマシテ昨年ノ二月以來デゴザイ
マシタカ、内務省トモ能ク研究致シ
マシタ結果、林野警防要點ト云フ林野
火災ノ警防ニ對シマシテ、林野火災ニ對
シマシテ豫防竝ニソレノ消火、是等ニ
對シマシテ責任ヲ以テ警防ニ當ルト云
フ態勢ヲ確立致シテ居リマス、何ニ致
はス

○鈴木(一)政府委員 只今御尋ね
ガオアリニナルダラウト思ヒマスガ、
之ニ對スル御所見ヲ承リタイト思ヒマ
ス

○土屋(源)委員 大體サウシタ態勢ノ
執ラレテ居ルコトハ結構デアリマスル
ガ、山林火災ハ都市ノ火災ナドトハ大
分ノ性質ヲ異ニ致シマシテ、殊ニ此
ノ山林火災ノ防止ノ上デ大切ニ問題ハ、
主要な林地ニ對シテ豫メ防火線ノ設定
ノ如キハ、最モ效果ガアルト思ヒマス、
貴重ナル林分ニ對シマシテハ、豫メ斯
ウシタ施設ヲ國有林ナドニ於テハ執ラ
レ居ルコトヲ見ルノデアリマスガ、
私有林ニ於テ豫メ斯ウシタコトヲヤ
リマス、尙ほ現ニ數度ノ敵空襲ニ依
リマシテ、是ハ燒夷「カード」ヲ撒イタ
譯デハゴザイマセヌガ、燒夷彈其ノ他
ノ方モ豫テヨリ此ノ事ヲ豫期致シテ居
ニ依リマシテ、山林火災ヲ生ジテ居リ
マス例モ相當ゴザイマス、林野面積ニ
致シマシテ大シタ焼失面積ニナツチ居
マシタ結果、林野警防要點ト云フ林野
火災ノ警防ニ對シマシテノ措置ヲ一つ、
ニ對シマシテ昨年ノ二月以來デゴザイ
マシタカ、内務省トモ能ク研究致シ
マシタ結果、林野警防要點ト云フ林野
火災ノ警防ニ對シマシテ、林野火災ニ對
シマシテ豫防竝ニソレノ消火、是等ニ
對シマシテ責任ヲ以テ警防ニ當ルト云
フ態勢ヲ確立致シテ居リマス、何ニ致
はス

○土屋(源)委員 先づ私ハ極く簡明ニ
山林局長ニ御尋ねシタインデスガ、戰
局ノ推移ニ伴ヒマシテ、空襲ノ激化ス
ルコトハ申スマデモナイノデアリマス、
只今デハ主トシテ航空機ノ方面ヲ襲ウ
テ居リマスケレドモ、行クノ都市ノ破
壊、或ハ資源ノ破壊ト云フヤウナコト
コトモ、或ハ豫想セナケレバナラヌ事
ガ起ルノデハナイカト思フノデアリマ
ス、サウシタコトヲ考へマスル時ニ、
我ガ國ノ山林ニ對スル所ノ空襲ト云フ
ル森林保護ニ對シテ、何等カノ御考へ
ガオアリニナルダラウト思ヒマスガ、
之ニ對スル御所見ヲ承リタイト思ヒマ
ス、山林局トシテハ此ノ空襲ニ對ス
ル森林保護ニ對シテ、何等カノ御考へ
ガオアリニナルダラウト思ヒマスガ、
之ニ對スル御所見ヲ承リタイト思ヒマ
ス

○鈴木(一)政府委員 只今御尋ね
ガオアリニナルダラウト思ヒマスガ、
之ニ對スル御所見ヲ承リタイト思ヒマ
ス

セヌ、青年學校ノ生徒ナドニ接木法ヲ
教ヘマシテ趣味的ニヤラセマスレバ、
一戸當リ十本、二十本ノ栗ノ養成ソ如
キハ易々タルコトデアリマス、道ハ近
キニアルノデアリマスカラ、ドウカ斯
ウ云フ點ニ御留意ガ願ヒタイト思ヒマ

山林局長ニ對スル質問ハ此ノ程度ニシマシテ、以下農政局長ニ御尋ネシタ殖ヲヤツテ居ラレルノデアリマスルガ、此ノ有畜農業ノ實施上一番至難ナ問題ハ、飼料ノ問題デアリマス、飼料ノ點ニ於テ其ノ目的ヲ達シ難イ現状ニアルト思フノデアリマスルガ、殊ニ又都市輓牛馬、或ハ軍需ニ急遽ナル要求ニ應ズル爲ノ「カゼイン」ノ増産、其ノ爲ニハ乳牛ノ飼料、斯様ナコトガ特ニ戰局下ニ於テ要請サレテ居ルノデゴザイマスルガ、最近ノ飼料事情竝ニ二十年度ノ見透シニ付テ大體承リタイト存ジマス

○西村政府委員 畜産ノ指導獎勵ノ根本ハ飼料ニアルノデアリマスガ、飼料ハ滿洲等ノ輸入飼料ガ非常ニ激減ヲ致シテ居リマシテ、是ハ濃厚飼料ヲ主トシテ配給スルヨトニ致シテ居ルノデアリマスガ、併シ此ノ計數上ノコトハ、餘リハツキリ申上ガルコトハ困難デアリマスケレドモ、大體所要ノ四分ノ三位ナ程度ノモノガ供給シ得ルト云ツタヤウナ狀態デアリマス、隨テ其ノ不足額ヲドウ云フ風ニスルカト云フコトハ非常ヲ惱ミデアルノデアリマス、政府が統制飼料トシテ配給致シマスル所ノモノハ、都市ニ於ケル輓牛馬又乳牛、種畜、此ノ三ツノモノニ重點ヲ注イデ飼料

○土屋(源)委員 大變抽象的で十分納得シ兼ネルノデアリマスガ、飼料事情ハ要スルニ非常ナ困難ヲ來スデアラウト私共想像スルノデアリマス、殊ニ南万里相當時額入ツテ居ル所ノ玉蜀黍ノヤウナモノハ、恐らく將來期待出來ヌデハナイカト思フ、サウ云フコトヲ考へマス時、又現在都市ノ輓牛馬ニハ、成程只今御話ノヤウニ飼料ガ配給ニナツテ居リマスケレドモ、其ノ一日量タルヤ「キロ」半程度ノモノデハナイカト思フ、ホンノ言譯ニ飼料ヲ配給シテ居ルゾト云フ形デアリマス、斯様ナ事情デアリマスルカラ、今日戦力増強上非常ナ位居リマスカ、牛馬合セテ十萬頭カ十萬頭シカナイト思フノデアリマス、其ノ十一萬バカリノ輓牛馬ガ飼料不足ノ爲ニ、實際ニ於テハ半バシカ働イテト云フヤウナ賃金ヲ貰シテ居ルノデアリマスガ、彼等ニシテ見マスレバ、飼料ガアリマセヌカラ、之ヲ毎日動カスソレハ作付反別ノ割當モアリマスケレドモ、農家ハ飼料ヲ出來ルダケ自給シテ貰フ、斯ウ云フ方針デヤツテ居ルノデアリマシテ、飼料ノ状態ハ中々困難ナ事情ニアル譯デアリマス

講二ハ行キマヤテソニテ一日働くト
一日休ム、或ハ數日休ムト云フモノモ
出来ルノデアリマス、其ノ間ニ飼料ノ
買集メヲスルトカ、或ハ其ノ飼料ハ非
常ナ高價ナル闇ニ依ソテ之ヲ得ルト云
フヤウナ實情ニアリマスカラ、折角輓
牛馬ノ數ガ十一萬アリマスケレドモ、
働クノハ其ノ半バデアル、故ニ小運送
ハ益、逼迫ノ一途ヲ辿シテ居ルノデア
リマス、是ガ都市ヲ初メ一般小運送ノ
面ニ於テ、非常ナル障碍トナツテ、戰
力ニ大ナル影響ヲ來シテ居ルコトハ御
承知ノ通りアリマス、今日飼料ヲ相
當豊富ニ配給シテ、是等ノ活用ヲ全般的
ニ行ヒマスナラバ、今日ノ小運送ノ狀
態ハ、倍或ハ倍以上ノ能力ガ發揮出來
ルト恩フノデアリス、斯ワ云フ觀點カ
テ見マシテ、ナイモノハ仕様ガナイト
云フ結論ニナリマスガ、是ハ過日豫算
總會ニ於テ、豫算委員デアリマス西川
委員カラ、飼料源トシテ米ノ搗精度ヲ
高メテ、米糠ヲ飼料ニ廻ハシタラドウ
カ、實際ニ於テ實情ヲ見ルト、馬或ハ
牛ノ飼料ノナイカト爲ニ、實ハ農家ハ麥ヲ
出シ惜シソニ居ル、サウシタ麥ヲ出シ
惜シソニ居ル一面ニ於テ、糠ハ玄米ト
シテ生産ヲシナイ、斯ウ云フ矛盾ハイ
カヌデハナイカト云フ質問ニ對シテ、
農商大臣ハ、玄米食可否ハ別トシテ、
差當リ甘諸ニ穢ガ必要ナノデ、實ハ甘
諸增産上搗精度ヲ高メテ、其ノ糠ヲ甘
諸ニ使フコトニシタ、飼料問題ニシテ
モ、其ノ必要度ニ依ソテハ斯カル處置
ヲ講ズルカモ知レナイト云フヤウナ、
産ノ爲ノ乳牛ノ飼料、斯類ナ點ヲ考ヘ
非常ニ含ミノアル答辯ガアツタノデア
リマス、私ハ此ノ都市輓牛馬、或ハ飛行
機増産上最モ大切デアル「カセイソニ増
産ノ爲ノ乳牛ノ飼料、斯類ナ點ヲ考ヘ、

事情アリハ鬱陶シ未ハ合ヤマニ時ニ正ニ古諸ト同ジヤウナ必要度ガ飼料ナ識ヲ御持チニナリマスカドウカ、面ニ於テモアルノデハナイカト考ヘルノデアリマスガ、農政局長ハ此ノ飼料問題ノ重要性カラ考ヘマシテ、左様ニ申上ゲテ甚ダ恐縮デアリマスガ、何レモ機密ノ數字ニナツテ居リマスノデ、極ク大難把ナ割合ヲ申上ゲタノデアリマス、飼料ノ問題ガ甚ダ深刻デアルト云フコトハ、既ニ十分御承知ノコトト思フノデアリマシテ、ソレニ對シマシテハ、私共モ及バズナガラ色々處置ヲ致シテ居ルノデアリマス、昨日モ他ノ委員ノ御質問ニ對シテ色々申上ガタノデアリマスガ、結局自給的ナ飼料ヲ此ノ際増産ラシテ戴クヨリ外方法ガナインデアリマシテ、昨年ノ秋冬ノ総合作付計畫ニ於キマンシテモ、從來ノ主要作物ハ三萬町歩カ四萬町歩程度デアツタモノヲ、一舉ニ十一萬三千町歩ニ増加致シマシテ、主要作物ヲソレゾレ増殖ラシテ貰フコトニ致シマシタ、而シテ之ニ對シテ蒸麥其ノ他ノ種子ノ二分ノ一ノ助成ラシテ、本格的ニ種子ノ配給ラスルト云フヤウナコトヲ致シテ居リマスシ、又「サイロ」ノ増設デアルトカ、或ハ藁ノ處理ノ方面ニモ非常ナ力ヲ注ギマシテ、東北地方ニ於テハ、冬期ノ所謂未作付ノ土地ニモ作付ラマス、ソレニ致シマシテモ、只今御述增加シテ貰フヤウニ、又牧野其ノ他ノ土地ニモ燕麥其ノ他ヲ植付ケテ貰フヤウニ、非常ニ力ヲ注イデ居ルノデアリ牛等ニ對スル飼料ハ非常ニ不足ヲ告げテ居ルノデアリマス、輓牛馬ハ近來非常

ニ埠ガシテ居ルノアリマシテ、牛馬ト乳牛ニ對シマシテハ、特ニ六・大都市等ニ於キマシテハ、消費量ノ大體八割ハ確保致シテ居ルノデアリマシテ、輓牛馬ノ方ハ、六・大都市等ニ於テハ比較的の宜ク行ツテ居ルノデアリマスガ、乳牛ニ對シマシテハ七、八割ノ所デ、飼料ガ小イ爲ニ乳ノ出方が非常ニ少イト云フノデ、東京、大阪方面ニ於テハ牛乳ノ不足ヲ告ゲテ居ルノデアリマス、是モ乳牛業者ガ都市ノ周邊ニ移リマシテ其ノ不足ノ部分ハ自給ノ飼料ニ依ルト云フヤウナコトヲヤツテ居ルノデアリマシテ、是等ニ對シマシテモ極力援助ヲ致シテ居ルノデアリマス、御述ベナリマシタ小糠ノ問題ニ付キマシテハ是ハ地方ニ於テハ農家ガソレノ、家畜ノ飼料ニモ使ツテ居ルノデアリマスガ、大都市等ニ於ケル米精臼度ノ關係ニ依リマシテ、小糠ガ相當得ラレルナラバ、都市其ノ他ノ家畜ニ對スル飼料ハ非常ニ裕リガ出來ルコトニナルノデアリマス、併シ是ハ御承知ノ通り、結局主要食糧トノ關係ニ依ルノデアリマシテ、現在精臼度ヲ非常ニ高メマスナラバ、ソレニ依ル食糧ノ不足ヲ他ノ食糧ヲ以テ又補ツテ行カナケレバナラナイト云フヤウナコトニナルノデアリマシテ、現在ニ於テハ家畜ノ食料ヲ人間ガ上剪ラニシテ、アリマス、是等ニ付テハ肥料等モ、有機肥料ニ付テハ一遍家畜ノ腹ヲ通シテ之ヲ廻厩肥トシテ用ヒルヤウニシテ、ネテ居ルヤウナ状態ニナツテ居ルノデアリマス、ソレニ依ツテ家畜ノ増産ヲ圖リ、食糧ノ増産ヲ圖ルト云フヤウナ方針モ執ツテアリマス、是ハ一般ノ食糧事情トノ居ルノデアリマスガ、小糠ノ問題ニ付テモ、ソレガ乳牛用トナツテ乳トナレバ、ヤハリ食糧ノ關係ニモ出テ來ルノデアリマス、是ハ一大都市等ニ於テハ比較的の宜ク行ツテ居ルノデアリマスガ、乳牛ニ對シマシテハ七、八割ノ所デ、飼料ガ小イ爲ニ乳ノ出方が非常ニ少イト云フノデ、東京、大阪方面ニ於テハ牛乳ノ不足ヲ告ゲテ居ルノデアリマス、是モ乳牛業者ガ都市ノ周邊ニ移リマシテ其ノ不足ノ部分ハ自給ノ飼料ニ依ルト云フヤウナコトヲヤツテ居ルノデアリマシテ、是等ニ對シマシテモ極力援助ヲ致シテ居ルノデアリマス、御述ベナリマシタ小糠ノ問題ニ付キマシテハ是ハ地方ニ於テハ農家ガソレノ、家畜ノ飼料ニモ使ツテ居ルノデアリマスガ、大都市等ニ於ケル米精臼度ノ關係ニ依リマシテ、小糠ガ相當得ラレルナラバ、都市其ノ他ノ家畜ニ對スル飼料ハ非常ニ裕リガ出來ルコトニナルノデアリマス、併シ是ハ御承知ノ通り、結局主要食糧トノ關係ニ依ルノデアリマシテ、現在精臼度ヲ非常ニ高メマスナラバ、ソレニ依ル食糧ノ不足ヲ他ノ食糧ヲ以テ又補ツテ行カナケレバナラナイト云フヤウナコトニナルノデアリマシテ、現在ニ於テハ家畜ノ食料ヲ人間ガ上剪ラニシテ、アリマス、是等ニ付テハ肥料等モ、有機肥料ニ付テハ一遍家畜ノ腹ヲ通シテ之ヲ廻厩肥トシテ用ヒルヤウニシテ、ネテ居ルヤウナ状態ニナツテ居ルノデアリマス、ソレニ依ツテ家畜ノ増産ヲ圖リ、食糧ノ増産ヲ圖ルト云フヤウナ方針モ執ツテアリマス、是ハ一般ノ食糧事情トノ

關係ニモ依ルコトデアリマスケレドモ、其ノ點ハ一般ノ食糧事情、或ハ甘藷ノ增產ノ見込等色々ナ點ヲ考ヘマシテ、テ十分善處シテ參リタ イト云フ コトデ、將來ニ付テモ十分研究ヲ致シテ居ル次第アリマス

○土屋(源)委員 次ニ一ツ御伺ヒシタ
イノハ、朝鮮牛ヲ移入シテ、日本ノ農村或ハ都市ノ輓牛トスルト云フヤウナコトガ從來行ハレ居ルノデアリマスルガ、最近船腹ノ關係其ノ他色々ナ事情デ、非常ニ移入困難ナ實情ニアルト思フノデアリマス、政府ニ於テハ斯様ナ買付ノ困難、或ハ移入ノ困難ナドヲ突破シテ、從來通り朝鮮牛ヲヤルト云フ御考ヘガアルカ、アルトスレバ、ドノ位ノ程度ノ計畫ヲ持ツテ居ラレルカ承リタイ

○西村政府委員 朝鮮牛ニ付キマシテハ、是ガ比較的飼ヒ易イノト、農家方役畜トシテ使フニハ非常ニ便利デアリマスノデ、今後モ引續キ極力朝鮮カラ移入ヲ圖リタイト思ツテ、具體的ノ折衝ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、昭和十九年度ニ於テモ約五萬頭近クノ朝鮮牛ヲ入レタノデアリマスガ、今後モ之ニ劣ラナイ數字ヲ、運送其ノ他ノ困難ヲ排シテ移入ヲスルト云フ計畫ノ下ニ、進メテ居ル次第アリマス

○土屋(源)委員 私ハ現在ノ農家勞力不足ノ上カラ考ヘテモ、又小運送ナルノ關係カラ言ウテモ、斯カル朝鮮牛ノ活用ト云フコトハ結構デアリマスルガ、併シナガラ日本ニハ朝鮮牛ト同ジヤウニ、農家ガ使ヒ、或ハ車ヲ挽カセルニハ中分ノナイ和牛ト云フモノガ二百萬頭、或ハソレ以上カモ知レマセヌ

ガ居ルノデアリマス、僅カナ朝鮮牛ヲ
萬難ヲ排シテ御入レニナルコトモ、非
常ニ御苦勞ナコトデアリマスルガ、ソ
レハ實ニ僅カナモノデアル、之ヲ以テ
本當ニ農家ノ勞力ノ緩和ヲ圖リ、或ハ
小運送ノ問題ヲ解決スルニハ足ラヌノ
デアリマス、寧ロ我國ノ二百萬頭ノ
和牛ト云フモノガ、農用役用ノ爲ニ存
在シテ居ルノデアリマスカラ、之ヲ十
分ニ活用スルコトガ、當然デハナイカ
ト思ヒマス、或ハ朝鮮牛デナイト仕事
ヲシナイトカ、使ヒニクイ、性質ガ良
クナイト云フヤウナコトヲ聞クノデア
リマスガ、是ハ飛ンデモナイコトデア
リマシテ、寧ロ朝鮮牛ノ分布狀況ヲ見
マスルト、朝鮮ニ近イ所ノ九州、中國
アタリデハ、和牛ヲ使シテ居ルノデア
リマス、比較的牛ノ產地ニ遠イ所ノ
北陸デアルトカ、關東、東北ノヤウナ
所ノ、新シイ牛ノ飼育地ニ向ツテ朝鮮
牛ガ非常ニ特離サレテ居ルノデアリマ
ス、是ハ曾テ不景氣ナ時ニ、朝鮮牛ノ
捌ケ口ヲ朝鮮牛ヲ扱フ商人ガ盛ニ宣
傳シタモノデアリマス、朝鮮牛ニアラ
ズンバ、牛ヲ使フコトガ出來ヌヤウナ
宣傳ヲ盛ニヤツタノデアリマス、此
ノ誤ツタル宣傳ガ全國へ瀰漫シマシテ、
使フナラ朝鮮牛ダト云フ觀念ヲ植付
ケ、比較的幼稚ナ畜產地ニ其ノ聲ガ高
イノデアリマス、論ヨリ證據、最モ朝
鮮牛ヲ能ク知ル所ノ九州アタリデハ、
殆ド皆地方產ノ和牛ヲ使シテ居ルノデ
アリマス、和牛ノ中ノ牡牛ナドヲ取勢
シテ使ヒマスレバ、朝鮮牛ヨリモウソ
ト力ガ出ル、又性質ノ點ニ於テモ、去
輸送ノ困難ナ時ニ、萬難ヲ排シテ是非

トモ前年位ノ數ヲ入レヨウト云フ御考
へハ、私ハ根本的ニ間違ヒデアルト思
フ、朝鮮牛ノ移入ノ現在ノ状況ハ、農
政局長モ御承知ト思ヒマスガ、非常ニ
困難デアル、產地ノ朝鮮ニ於ケル買付
ガ非常ニ困難デアル、寧ロ朝鮮ノ牛ハ、
我方國カラ滿洲開拓ニ出テ居リマスル
カラ日本ニ出ルト云フコトニナレバ、
此ノ開拓農民ニ差向ケルベキモノデア
ソテ、滿洲カラノ希望ガ非常ニ強イノ
デアリマス、而モ御承知ノ如ク、朝鮮
下關ニ於テ検疫ヲ受ケルト云フ二重ノ
検疫方要ル、相當ノ期間ヲ要シ、其ノ
間ノ飼料ガ要ル、其ノ間ニ今日ノヤウ
ナ飼料狀況カラ見ルト、牛ガ衰弱シテ
シマツテ、中ニハ相當斃レルモノモ出
來ル、私ハ確聞デハアリマセヌカラ申
上ゲニクイノデスガ、聞ク所ニ依レバ、
最近ニ於テモ朝鮮牛ノ移入ニ付テハ、
數百頭ノ牛ガ餓死シタ云フヤウナ事
情モ聞クノデアリマス、是ハ検疫ノ爲
ニ非常ナ日子ヲ要シ、或ハ輸送ノ事情
ノ爲ニ待機シテ居ルト云フヤウナ無駄
ナ日数ヲ要シテ居ル間ニ、飼料ノ不足
等カラ衰弱シテシマツト云フコトガア
ル、是ハ從來執ラレタ考ヘ方カラ、役
用ハ朝鮮牛ト云フヤウナ先入主ガアル
爲ニ、斯様ナコトニナルノデアツテ、
寧ロ二百萬頭ノ和牛ヲ、斯様ナ意味ニ
於テ活用シ、サウシテ需給ノ關係ヲ適
正ニ配慮スルナラバ、是レ程困難ナ時
代ニ於テ、朝鮮牛ノ移入ヲ圖ラナケレ
バナラヌ必要ハナイト思フ、是ハモウ
少シ御研究ニナリマシテ、速カニ此ノ
切替ヲナサルベキデアルト、私ハ存ズ
ルノデアリマス、或ハ所見ヲ異ニスル
カモ知レマセヌガ、此ノ實情ハ十分ニ

マデヤツテ居ツタカラヤルノダト云フ
ヤウナ考ヘ方ハ、此ノ決戦下ニ於テ
ハ、思ヒ切ツテ團音ヲナスベキ時デハ
ナイカ、斯様ニ考ヘマスルガ、是ハ意
見ニナリマスケレドモ、重ネテサウシ
タ事情ニ對スル農政局長ノ所見ヲ質シ
タイト思ヒマス

方ノ用ヲナス所ノ和牛ヲ、廣ク擴メルト云フコトナリ、又牡牛ヲ手勢ヲシテ、之ヲ農業用ニ使フト云フコトニ付アモ、極力力ヲ注イデ居ルノデアリマシテ、食糧ノ關係カラ、牛ハ相當役サナケレバ、増加モ困難デアリマシテ、相當肉牛トシテヤリタイ積リデアリマス、又和牛ニ付テハ之ヲ廣ク農村ニモ普及シヨウ、斯様ナ考ヘ方ヲ持ツテ居ルノデアリマス、五萬頭ヤ六萬頭ノ朝鮮牛ヲ入レタカラト云ツテ、内地ノ牛ノ增加ガ多少デモ影響ヲ來スト云フヤウナコトハ、全然ナイト思ヒマス、又朝鮮牛ヲ入レタカラト云ツテ、内地ノ和牛ニ付テ農政局ガ輕イ考ヘヲ持ツテ居ルト云フコトハ全然ナインデアリマシテ、此ノ點ハ牛ニ付テハ非常ニ力ヲ注イデ居ツテ、現在ニ於テモ内地ニ於ケル牛ノ頭數ガ二百五十萬頭位ニ上ツテ居ルノデアリマシテ、是ハ最近三、四年間ニ、百萬頭近クノ增加ヲ來シタヤウナ譯デアリマシテ、和牛竝ニ其ノ他ノ牛ニ對スル所ノ私共ノ熟意ハ相當アル儀リデアリマスノデ、其ノ點ハ一ツ誤解ノナイヤウニ御願ヒヲ致シタイ

部東北地方へ移入サレル方ガ東北人ガ
望シデ居リマスルカラ、之ニ付テ御考
慮ヲ願ヒタ一、將來サウ云フ時分ガア
リマシタナラバ、御考慮戴ケルカドウ
カト云フコトヲ此ノ場合御伺ヒシマス
○西村政府委員 御話ノヤウニ家畜ニ
對シテハ色々好ミモアリ、又地方ノ農
業事情モアルノデアリマシテ、從來北
陸トカ東北地方ニハ、比較的朝鮮牛ヲ
希望スル尙キモ多イノデアリマシテ、
是ハ地方ノ農業事情、又農民ノ希望其
ノ他ヲ勘案致シマシテ、出來ルダケ地
方ノ希望ニ副フヤウニ善處スル考ヘデ

ヌヤウナ状態ニアリ、之ヲ放任セラレ
テ居ル所ニ只今ノヤウナ不足ヲ來シ、
朝鮮カラデモ無理ヲシテ入レナケレバ
ナラヌコトニナル、朝鮮牛モ良イ所ガ
アリマセウ、併シナガラ和牛ト雖モ之
ヲ活用シマスレバ、確カニ朝鮮ノ牛ヲ
凌駕スルダケノ長所モアルノデアリマ
ス、長年日本ノ牛ヲ改良シタ所以ガソ
コニアルノデス、ダカラサウ云フ早期
屠殺ト云フコトヲ見逃サナイデ、之
ヲ成ベク全生涯ヲ通ジテ十分役立ツヤ
ウナ風ニ畜産政策ヲ持ツテ行クコトガ、
私ハ適當ダラウト思ヒマス、此ノ點私
ノ意見ヲ差加ヘテ置キマス

○土屋(源)委員 御承知ノ通りニ牛ガ
肉トシテ、國民ノ生活ノ上ニ蛋白給源
トシテ非常ニ重キヨ成シテ居ルコトハ、
申スマデモナイノデアリマスルガ、其
ノ他最近血液ナリ、或ハ脂肪トカ、或ハ
他ノ臟器等ガ軍需ノ方面ニ非常ナル役
目ヲ果シツ、アルヤニ聞クノデアリマ
ス、サウ云フ時ニ、只今ノ御答辯デ大
體密殺取締ハ或ル程度成績ヲ示シテ居
ルト云フ風ニ見テオイデニナルノデア

我々も同感デアリマス、ソレデモウ一段ト去勢牛ノ値段ヲ上ゲテ、實際ニ肉トシテハ牝牛ニ勝ルトモ劣ラナイノデアリマスカラ、此ノ闊牛ノ値段ヲ上ゲルト同時ニ、豚ニ對シテ臺灣ガヤツテ居ルヤウナ工合ニ、牡牛ハ全部去勢スルト云フ法律ヲ出サレタラ、或ハ命令ヲ出サレタラ宜カラウト私ハ思フ、サウスレバ肉ガ良クナル、皮ガ良クナル、サウ云フ所カラ致シマシテ、私ハ一層今マデ憂ヘラレテ居ルヤウナ早期屠殺ダトカ云フコトガナケナルノデヤナイカ、斯ウ考ヘマスガ、之ニ付テ御意見ヲ拜聽シテ置キタイト思ヒマス

繁殖ニ都合ガ宜カラウ、斯ウ云フコトヨ申上ゲタノデアリマス、ドウゾ御脅知ヲ願ヒマス午前中ハ此ノ程度デ休憩致シマシテ、午後ハ一時ヨリ開會致マス、尙ホ本日ヲ以テ質疑ハ終局ニ達キタイト思ヒマスカラ、各位ハ其ノ種リデ休憩闘ヲ願ヒタトイ思ヒマス、是デ休憩致シマス

午後零時九分休憩

四、本办法所称“水土保持方案”，是指在生产建设活动中对水土流失进行预防和治理的计划，包括水土流失防治责任范围、防治目标、防治措施、投资估算及进度安排等。

用

卷之二

卷之三

卷之三

廣雅

155

○土屋(源)委員 私ノ意見ニ對シテ可
ナリ委員長ガ補正サレタヤウデスガ、
私ハ朝鮮牛ヲ必ズシモ惡イト言フノデ
ハアリマセヌ、併シナガラ和牛ノ活用
ニ尙ホ済ツテ居ルモノガアルト思フノ
デス、ソレハ農政局長モ只今御説明ニ
ナリマシタガ、犢ガ大體年ニ四十萬頭
出來マスレバ、牡ガ二十萬頭、半々位
出來ル、其ノ牡ノ實情ヲ見マスルト云フ
ト、牡犢ト云フモノヲ非常ニ粗末ニ
致シテ居ル、比較的の早く屠殺シテシマ
ツテ居ル、肉量ノ充タナイ時ニ、三十
貫、四十貫ト云フヤウナ洵ニ幼稚ナ時
ニ、牡犢ト云フモノガ牛ノ役目ヲ果ス
ベキ運命ヲ以テ生レタモノヲ、此ノ牛
ノ一番大切ナ時ニ早ク潰シテシマフ、
肉量カラ言ツテモ勿體ナイコトデアル、
之ヲ相當大キクシテ潰スト云フノガ結
構デスガ、早期屠殺ガ相當多くノデス、
牡ノ大部分ハ早期屠殺ニナツテ居ル、之
ヲ相當ニ去勢シテ、今ノ農耕用トシ、
役用トシマスナラバ、是ハ非常ニ農村
方面ニ大キナ力ヲ致スノデアリマス、
ダカラ其ノ點ニ於テ、私ハ農商省ノ指
導ガ兎角牡ノ早期屠殺ヲヤラザルヲ得

近來牛ノ密殺が非常ニ多クナツタコトハ事實ナゾデス、是ハ何時カ内務省、司法省ナドノ次官浦牒ニ依ツテ、ソレゾレ嚴重ナ密殺取締ノ通牒ガアツタヤニ聞クノデアリマスルガ、其ノ實績ハドウナツテ居リマスルカ、或ハ取締當局デアリマセヌカラ、農政局長ニ八十
分御分リガナイカモ知レマセヌガ、農政局長ニ於テ其ノ後ノ情勢ノ分リマス
點ヲ一ツ御知ラセヨ頃ヒタイト思フノ
デアリマス

○西村政府委員 密殺ノ問題ハ甚ダ憂慮スベキ問題デアリマシテ、昨年來司
法當局、内務省ノ警察當局トモ打合セ
ヲ致シマンテ、又農村ニ於ケル牛ノ馬
篤縛ノヤウナモノヲ作ル譯ニハ行キマ
セヌケレドモ、牛ノ在處ヲハツキリサ
セルト云アヤウナコトモ色々考ヘテ居
ル譯デアリマスルシ、尙又牛ハヤハリ
相當食用ノ方ニ屠殺スル必要モアリ、
又屠殺場ガ各府縣マダ完備シテ居ラナ
イヤウナ所ガアルノデアリマシテ、是
等ヲ漸次擴げテ居リマスガ、食糧ノ關
係上牛ヲ殖ヤス爲ニ、或ル程度屠殺ノ

リマスガ、ソレデモ尙ホ私共ノ推測
スル所ニ依レバ、相當ナル密殺が行ハ
レテ居ル、此ノ密殺ニ依ツテ肉ハ闇カ
ラ闇ヘト活用スルデアリマセウ、ケレ
ドモ皮トカ、或ハ血液トカ、臟器其ノ
他貴重ナル部分ガ葬ラレテ居ルト云フ
コトハ、非常ニ遺憾ナコトデアリマス、
之ヲ明ルミニ出シマシテ、屠場ニ於テ
處理シ、最モ活用スルコトニ依ツテ戰
力ノ増強ニ役立ツノアリマスガ、是
ハ多少少クナツテ居ルト云フ程度デハ
甚ダ遺憾ナノデアリマシテ、斯カル時
代ニ於テ唯ノ一頭ノ牛ト雖モ、全部ヲ
十分ニ利用ノ出来ルヤウニ持ツテ行カ
ナケレバナラヌト思フノデアリマス、
ソレニハ密殺ノ如キコトハ徹底的ニ取
締ルト云フコトニ一ツ農商當局モセラ
決メテ、司法省、内務省或ハ厚生省ナ
ドト御協議ナサイマシテ、相當根絶ナ
出来ルヤウナ程度ニ取締ノ勵行ヲ望シ
テ置キタノデアリマス、私ノ質問ハ
之ヲ以テ終リマス

○西村政府委員 牛ヲ増加セシムル場合ニ於テハ、牡ノ犢ニ對シテ特別ナ考慮ヲ拂ハナケレバナラスト云フコトハ、土屋委員モ委員長御述ベニナリマシタ通りデアリマシテ、肉ノ價格ハ相當上ゲタノデアリマスルガ、犢ノ價格ヲ上ゲルコト勿論結構デアリマスケレドモ、價格ヲ上ダケデソレノ引取方ガナイヤウニナツテハ、犢ダケノ助成ニナラヌヤウナ點ガアルノデアリマシテ、此之ヲ去勢ヲサセテ、犢ガ相當ナ期間大キクナルマデ飼養サセラレルヤウナ具體的ナコト、其ノ他ノ關係ニ於テモ特別ノ考慮ヲ拂ヒタイト思ヒマシテ、此ノ點ハ尙ホ能ク研究ヲ致シタイト思ヒマス

○高橋委員長 只今ノ御答辯ハ了承致シマシタガ、私ハ犢ノ價格ヲ上ダロト云フノデハナインデアリマシテ、犢肉ノ價格、詰リ去勢シタル犢、所謂闊牛ノ肉ノ價格ヲ十分上ゲテ、サウシテ經濟ノ引合フヤウニ一段ノ力ヲ注ガレルト云フコトト、種牛ニ用ヒザル以外ノモノハ全部去勢スペシト云フ法律のノ處置ヲ執ラレタラバ、尙ホ一層是等ノ

○恒松貢 現在地方ノ農村ノ側カラ見マスト、例ノ職工農家ト云フモノガ著シク殖エテ來テ居ル サウシテ又会ニ於テ非常ニ激増スル傾向ガアリマシテ、今後ヤハリ工場等ガ疎開ニナルトカ云フヤウナ關係ニ伴ヒマシテ、一層激増スルコトデアラウト思ヒマス、其ノ點ガ食糧増産方面ニ付テ非常ニ重職工農家ト云フコトハ、賃金收入ガ非常ニ工場方面ハ宜シイ譯デアリマシテ、賃金ナドニ付テモ相當規制ガヤル筈デアリマスケレドモ、ヤハリ工場トシテハ職工ヲ得ル上ニ付テ、又徵用工ヲ得ル上付テ相當ナ待遇ヲ施シテ居ル、斯ウ云フヤウナ狀態ニナツテ居リマス是ハ賃金ニ違反シテハ居ルケレドモ、中々は合法的ニ色々ナ部面カラ待遇ヲ良クシテヤツテ居リマスカラ、勢ヒ農家トシテモ自己ノ保有米、消費米ヲ獲得スルト云フ程度デ所謂飯米ダケヲ得テ、サウシテ其ノ餘分ナ所ハ工場ニ出テ働く、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、サウシテ工場デ賃金ヲ澤山得ル、斯ウ云フ兩股ヲ掛けテ居ルノデアリマス

（二）在本行的各項工作上，請予支持與配合。

○土屋(源)委員 私ノ意見ニ對シテ可
ナリ委員長ガ補正サレタヤウデスガ、
私ハ朝鮮牛ヲ必ズシモ惡イト言フノデ
ハアリマセヌ、併シナガラ和牛ノ活用
ニ尙ホ済ツテ居ルモノガアルト思フノ
デス、ソレハ農政局長モ只今御説明ニ
ナリマシタガ、犢ガ大體年ニ四十萬頭
出來マスレバ、牡ガ二十萬頭、半々位
出來ル、其ノ牡ノ實情ヲ見マスルト云フ
ト、牡犢ト云フモノヲ非常ニ粗末ニ
致シテ居ル、比較的の早く屠殺シテシマ
ツテ居ル、肉量ノ充タナイ時ニ、三十
貫、四十貫ト云フヤウナ洵ニ幼稚ナ時
ニ、牡犢ト云フモノガ牛ノ役目ヲ果ス
ベキ運命ヲ以テ生レタモノヲ、此ノ牛
ノ一番大切ナ時ニ早ク潰シテシマフ、
肉量カラ言ツテモ勿體ナイコトデアル、
之ヲ相當大キクシテ潰スト云フノガ結
構デスガ、早期屠殺ガ相當多くノデス、
牡ノ大部分ハ早期屠殺ニナツテ居ル、之
ヲ相當ニ去勢シテ、今ノ農耕用トシ、
役用トシマスナラバ、是ハ非常ニ農村
方面ニ大キナ力ヲ致スノデアリマス、
ダカラ其ノ點ニ於テ、私ハ農商省ノ指
導ガ兎角牡ノ早期屠殺ヲヤラザルヲ得

近來牛ノ密殺が非常ニ多クナツタコトハ事實ナゾデス、是ハ何時カ内務省、司法省ナドノ次官浦牒ニ依ツテ、ソレゾレ嚴重ナ密殺取締ノ通牒ガアツタヤニ聞クノデアリマスルガ、其ノ實績ハドウナツテ居リマスルカ、或ハ取締當局デアリマセヌカラ、農政局長ニ八十
分御分リガナイカモ知レマセヌガ、農政局長ニ於テ其ノ後ノ情勢ノ分リマス
點ヲ一ツ御知ラセヨ頃ヒタイト思フノ
デアリマス

○西村政府委員 密殺ノ問題ハ甚ダ憂慮スベキ問題デアリマシテ、昨年來司
法當局、内務省ノ警察當局トモ打合セ
ヲ致シマンテ、又農村ニ於ケル牛ノ馬
篤縛ノヤウナモノヲ作ル譯ニハ行キマ
セヌケレドモ、牛ノ在處ヲハツキリサ
セルト云アヤウナコトモ色々考ヘテ居
ル譯デアリマスルシ、尙又牛ハヤハリ
相當食用ノ方ニ屠殺スル必要モアリ、
又屠殺場ガ各府縣マダ完備シテ居ラナ
イヤウナ所ガアルノデアリマシテ、是
等ヲ漸次擴げテ居リマスガ、食糧ノ關
係上牛ヲ殖ヤス爲ニ、或ル程度屠殺ノ

リマスガ、ソレデモ尙ホ私共ノ推測
スル所ニ依レバ、相當ナル密殺が行ハ
レテ居ル、此ノ密殺ニ依ツテ肉ハ闇カ
ラ闇ヘト活用スルデアリマセウ、ケレ
ドモ皮トカ、或ハ血液トカ、臟器其ノ
他貴重ナル部分ガ葬ラレテ居ルト云フ
コトハ、非常ニ遺憾ナコトデアリマス、
之ヲ明ルミニ出シマシテ、屠場ニ於テ
處理シ、最モ活用スルコトニ依ツテ戰
力ノ増強ニ役立ツノアリマスガ、是
ハ多少少クナツテ居ルト云フ程度デハ
甚ダ遺憾ナノデアリマシテ、斯カル時
代ニ於テ唯ノ一頭ノ牛ト雖モ、全部ヲ
十分ニ利用ノ出来ルヤウニ持ツテ行カ
ナケレバナラヌト思フノデアリマス、
ソレニハ密殺ノ如キコトハ徹底的ニ取
締ルト云フコトニ一ツ農商當局モセラ
決メテ、司法省、内務省或ハ厚生省ナ
ドト御協議ナサイマシテ、相當根絶ナ
出来ルヤウナ程度ニ取締ノ勵行ヲ望シ
テ置キタノデアリマス、私ノ質問ハ
之ヲ以テ終リマス

○西村政府委員 牛ヲ増加セシムル場合ニ於テハ、牡ノ犢ニ對シテ特別ナ考慮ヲ拂ハナケレバナラスト云フコトハ、土屋委員モ委員長御述ベニナリマシタ通りデアリマシテ、肉ノ價格ハ相當上ゲタノデアリマスルガ、犢ノ價格ヲ上ゲルコト勿論結構デアリマスケレドモ、價格ヲ上ダケデソレノ引取方ガナイヤウニナツテハ、犢ダケノ助成ニナラヌヤウナ點ガアルノデアリマシテ、此之ヲ去勢ヲサセテ、犢ガ相當ナ期間大キクナルマデ飼養サセラレルヤウナ具體的ナコト、其ノ他ノ關係ニ於テモ特別ノ考慮ヲ拂ヒタイト思ヒマシテ、此ノ點ハ尙ホ能ク研究ヲ致シタイト思ヒマス

○高橋委員長 只今ノ御答辯ハ了承致シマシタガ、私ハ犢ノ價格ヲ上ダロト云フノデハナインデアリマシテ、犢肉ノ價格、詰リ去勢シタル犢、所謂闊牛ノ肉ノ價格ヲ十分上ゲテ、サウシテ經濟ノ引合フヤウニ一段ノ力ヲ注ガレルト云フコトト、種牛ニ用ヒザル以外ノモノハ全部去勢スペシト云フ法律のノ處置ヲ執ラレタラバ、尙ホ一層是等ノ

○恒松貢 現在地方ノ農村ノ側カラ見マスト、例ノ職工農家ト云フモノガ著シク殖エテ來テ居ル サウシテ又会ニ於テ非常ニ激増スル傾向ガアリマシテ、今後ヤハリ工場等ガ疎開ニナルトカ云フヤウナ關係ニ伴ヒマシテ、一層激増スルコトデアラウト思ヒマス、其ノ點ガ食糧増産方面ニ付テ非常ニ重職工農家ト云フコトハ、賃金收入ガ非常ニ工場方面ハ宜シイ譯デアリマシテ、賃金ナドニ付テモ相當規制ガヤル筈デアリマスケレドモ、ヤハリ工場トシテハ職工ヲ得ル上ニ付テ、又徵用工ヲ得ル上付テ相當ナ待遇ヲ施シテ居ル、斯ウ云フヤウナ狀態ニナツテ居リマス是ハ賃金ニ違反シテハ居ルケレドモ、中々は合法的ニ色々ナ部面カラ待遇ヲ良クシテヤツテ居リマスカラ、勢ヒ農家トシテモ自己ノ保有米、消費米ヲ獲得スルト云フ程度デ所謂飯米ダケヲ得テ、サウシテ其ノ餘分ナ所ハ工場ニ出テ働く、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、サウシテ工場デ賃金ヲ澤山得ル、斯ウ云フ兩股ヲ掛けテ居ルノデアリマス

（二）在本屆大會上，我們將進一步加強對外開放，擴大對外經貿往來，擴大對外投資，擴大對外技術合作與轉讓，擴大對外文化、教育、科技、衛生、體育等各項社會事業的交流與合作。

シ、サウ云フコトニナツチ來ルト食糧
増產モ徹底シナケレバ、工場食糧モ徹
底シナイ、農繁時期ニ於テハ工場ノ方
ヲ、病缺トカ何トカ云フ色々ナ理由ニ
依ツテ缺勤スル、サウシテ其ノ間ニ食
糧ノ方ノ仕事ニ携ハルト云フコトニナ
ツテ居リマスカラ、兩股ヲ掛ケルトド
ソチモ完全ニ能率ヲ増進スルコトガ出
來得ナイ、斯ウ云フヤウナ關係ニナツ
テ居リマスノデ、是デ農村ノ方面ニ於
ケル農工ノ勞務ノ調整ト云フモノガ、
非常ニ必要ニナツテ來ル譯デアリマス、
コヽラアタリヲ一ツ調整ヲ巧ク取ツテ
貴ヒタイト思ツテ居リマス、之ニ對シ
テノ御所見ト、ソレカラ同時ニサウ云
フヤウナ關係ハ賃金收入カラ來ル譯デ
アリマスカラ、所謂農工ノ勞銀ノ均衡
化ト云フコトガ最モ必要ニナツテ來マ
ス、此ノ點ニ付テノ御所見ヲ一ツ承ツ
テ置キタイ

リマス、其ノ方法ト致シマシテハ各地
方ノ實情ニモ依リマスケレドモ、農村
ノ人々ガ外ノ方面ニ働くニ出ラレテハ
困ル場合、或ハ出テ貰ハナケレバナラ
ナイト云フ時ニ町村長ニ實情ヲ能ク知
テ貰ヒ、之ヲ把握シテ貰フト云フ形
ニ於テヤルノガ一番望マシイト云フノ
デ、サウ云フ方法テ就業統制ヲ強化シ
テ參ツテ居リマス、御話ノヤウニ二重
稼働ト云フモノハ、兩方ノ能率ニドウ
モ悪イヤウデアリマスノデ、段々サウ
云フ方面ハ是正セラルノデハナイカ、
斯様ニ考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマ
ス

○佐伯政憲議員　只今恒松委員カラ、
勤労動員署ノ行政ノ運營問題、竝ニ
之ニ伴フ職員ノ素質ノ改善其ノ他ニ付
キマシテ、剗切ナル御注意竝ニ御激励
ノ御言葉ヲ戴キマシテ、洵ニ感謝ニ堪
ヘナイ次第アリマス、御話ノヤウニ
國民勤労動員署ハ國民勤労動員ノ第一
線機關ト致シマシテ、洵ニ廣汎ナ權限
ヲ持チ、重要ナ職責ヲ持ツテ居ルモノ
デゴザイマス、是ハ國民勤労動員署バ
カリデハゴザイマセヌガ、從來此ノ戰
爭ニ入りマシテカラノ勤労行政ノヤリ
方ハ、ドチラカト言ヒマスト、丁場勞
務ト云フモノヲ主眼ニシテヤツテ來タ
憾ミガ實際アツタト私ハ思ツテ居ルノ
デゴザイマス、今日斯乎云フ情勢ニナ
リマスト、苟クモ國民勤労動員ハ全般
ノ產業ニ視野ヲ廣ク及ボンマシテ、其
ノ間ノ適正ナル配置ヲシ、管理ヲシナ
ケレバナラヌコトハ御説ノ通りデゴザ
イマス、其ノ意味ニ於キマシテ、今般
ノ制定セラレマス國民勤労動員令モ、各
產業ニ瓦リマシテ適正ナ運營ヲ致スヤ
ウナ仕組デ、我々ト致シマシテハ勅令
ソレニ付キマシテハ御説ノヤウニ、現
在ノ國民勤労動員署ノ素質ナリ待遇ハ
決シテ十全ナモノデハゴザイマセヌ、
從來此ノ國民勤労動員署長ヲ初メ動員
署ノ職員ハ、ドチラカト申シマスト、
職業紹介所時代カラノ専門家ヲ以テ形
成セラレテ居ルヤウナ形ガアツタノデ
ゴザイマシテ、是デハ私共モ全般ノ產

業ニ視野ヲ及ボスノニ邇シナイト云フコトヲ考へマシテ、昨年ノ暮、從來ノ地方職業官、地方職業官補ト云フ制度ヲ改メマシテ、地方事務官竝ニ府縣一般ト同ジヤウニ屬ヲ以テ之ニ當テルト材ヲ採用シ得ル途ヲ開イテ居ルノデゴザイマス、尙ホ御話ノヤウニ勤効貢署ノ職員ノ素質モ決シテ十全トハ思ヒマセヌノデ、現在中央ニ於キマシテ色々養成施設、講習施設モ講ジテ居リマスルガ、旁、待遇改善モ考慮シテ、素質ヲ十分ニ引上ゲマシテ、御希望ノ點ニ十分副フヤウニ、我々ト致シマシテハ全幅ノ努力ヲ拂ヒタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

ス、餘り收入ガ宜イト人間が横着ニナ
ツテ來ル、斯ウ云フ風ニ反對ニナツテ
來ル、多ク收入ヲ得ルト却テ惰弱ニ流
レテ能率ガ上ラナイト云フヤウナ傾向
ガ、凡ユル方面ニ於て見ラレ得ルノデ
アリマシテ、斯ウ云ツタヤウナ考へ方
ノ工場ノ經營者等ニ付テハ、相當厚生
省トシテハ活マ入レテ、モット精神薰
育ノ下ニ規律正シク能率ヲ増進シテ貴
ハネバナラヌト私ハ思ツテ居リマス、
サウ云フ方面ニ付テノ厚生省アタリノ
指導シテ戴キタイ、斯様ニ考ヘテ居ル
譯デアリマス

ヤウニ指導ヲ致シテ居ルノデアリマス、
唯或ハ意外ニ御感ジニナルカモ分りマ
セヌガ、今日工場ニ於キマシテハ、必
要ナ要員ハ多クハ徵用或ハ女子挺身隊、
勤報等、國ノ要請ニ依ツテ要員ガ獲得
出来マスル關係カラ致シマシテ、トモ
致シマスルト、勞務者ヲ得ル爲ニ從前
多額ノ給賃ヲ支給致シマシタ弊害ガ、
今日ハ逆ニナリマシテ、勞務者ノ日當
ノ生活ニ事缺クヤウナ程度ノ給與シカ
出シテ居ナイ、賞金統制令ニ依ツテ認
メラレテ居ル給與スラモ出サナイトイ云
フヤウナ工場ガ、相當ニアルト云フコト
ヲ一ツ御含ミ置キヲ頼ビタイト思ヒマ
ス、給與ノ能率ノ關係ニ付キマシテハ、
左様ニ考ヘテ指導致シテ居ルノデアリ
マス、隨ヒマシテ我々ノ日一番力ヲ入
レネバナラヌ、又入レテ居リマス點ハ、
工場、事業場内ニ於テ工員ガ眞ニ皇國、
ノ爲ニ、生産ヲ增强スルト云フコトガ
御國ニ盡ス所以ダト云フ心掛ヲ愈、振起
セシメルヤウニ指導致シテ居ルノデア
リマス、御承知ノヤウニ、最近軍需省
ト色々打合セラ致シマシテ、工場ノ作
業ノ統率組織ヲ確立致シマスルト共ニ、
工場内ニ於テ各統率者、及ビニ之統率
サレル工員ノソレントノ心構ヘヨ明確
ニ致シマスル爲ニ、勵勞規範ナルモノ
ヲ設ケマシテ、之ニ依ツテ能ク工員全
體ガ一家ノヤウナ氣持ニナリ、上ニ立
ツ生產責任者、生產擔當者ガ能ク部下
ノ痒イ所ニ手ノ届クヤウニシナガラ、
而モ嚴格ナル規律ヲ以テ、之ヲ統率シ
テ行クト云フヤウナ指導ヲ致シテ居ル
ノデアリマス、今後トモ此ノ精神的ノ
指導、特ニ規律訓練ト云フ點ニ付キマ
シテ、重點ヲ置イテ指導シテ參リタイ、
左様ニ考ヘテ居リマス

○高橋委員長　總務局長所管ノコトデ

ヤウデアリマスガ、何レモ最モ必要ト
スル方面ヘノ資金デアラウト考ヘルノデ
ゴザイマスルガ、大體其ノ餘裕金ノ費
途ハ、ドウ云フ方面ニ今後使ツテ行カ
ウトサレルノデアラウカ、是ハ非常ニ
問題ハ大キイト思ヒマス、ト云ヒマスノ
ハ、米價ニ付キマシテモ近イ中ニ引上
ゲガアルコトヲ豫想致シマス、サウ致
シマスト、假ニ石四十圓ト云フコトニ
デモナリマスト、推算十數億圓ノ金ガ
當然是ハ外ノ銀行へ行カズシテ、村デ
此ノ系統ノ金庫ノ餘裕金ノ方へ廻ツテ
行クベキモノデハナイカト思フノデア
リマス、サウ云フヤウナ場合ニ、是ガ
對物運動ト云ツタヤウナコトモ、警戒
スペキハ勿論デアリマスガ、種々論議
サレテ居リマス「インフレ」ノ原因ニナル
ヤウナコトニナツテモイケナイト存ジ
マスノデ、旁、非常ニ厖大ナ餘裕金ガ
生ズベキ將來ノ其ノ使途ニ付キマシテ
ハ、相當今カラ用意アツテ然ルベキデ
ナイカト思ヒマスノデ、此ノ餘裕金ノ
使途ノ大キナ方針ニ付テ、伺ツテ置キ
タイト思ヒマス

手持資金が多くなり、箇テ又餘裕金が

○ 捩見政府委員　軍需會社ニ對スル關係ハ、只今御述ベニナリマシタヤウナ企業參加トカ、サウ云フヤウナ、意味デ以テヤルコトハ毛頭考ヘテ居リマセヌ、其ノ方面ニ對スル資金需要ニ付テノ寄與デアリマスガ、其ノ寄與ノ形式ハ出來ルダケ興業銀行ナリ或ハ戰時金融金庫ト云フヤウナ、其ノ方面ノ特殊ノ金融機關ガアル譯デアリマスガ、是等ノ金融機關ヲ通ジテ寄與スル、斯ウ云フヤウナ方針デ進シテ參リタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○ 吉田(賢)委員　自作農創定ニ付テノ資金ハ色々は論議モアルカモ知レマセヌガ、長期固定ノ資金ノ誘導ニナリマスルノデ、如何カト議論ハアルカト思ヒマスガ、兎ニ角農村ノ最モ大キナ資金需要ノ面ニ付テ、中央金庫ノ餘裕金ヲ何トカ利用スルト云フヤウナ途ヲ今後立て、行クニトガ一ツノ考ヘ方デバナイカト思フガ、如何デアリマスカ

○ 濱見政府委員　自作農ノ創設維持ニ關スル資金需要ニ對スル中央金庫ノ寄與デアリマスガ、此ノ點ハ我々致シシタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス、唯從來ノ經緯ハ御承知ノヤウニ、預金部ノ資金竝ニ勸業銀行ノ資金、ソレカラ農林中央金庫ノ資金、斯ウ云フモノガ自作農創定ノ方面ニ流レテ居ルノデアリマス、ドチラカト申シマスト、農林中央金庫ノ方ハ他ノ預金部資金ナリ、或ハ勸業銀行資金ノ合計額ニ比較致マスト、ソレ程多クハナノデアリマスガ、併シナガラ一面各方面ノ資金需要面ノ情勢カラ考ヘテ參リマスト、預金部ノ資金ナリ或ハ勸業銀行ノ資金ト云フヤウナモノハ、今後從來以上三ドンドン期待出來ルカドウカト云フヤウナ

○南風政策委員會 計畫會社二對スル關

10. The following table summarizes the results of the study.

七
六

○加藤(知)委員 三團體ガ圓滿ニト云
御尋ネスル要點ハ、詰リ此ノ市町村農業會へ貯金シタモノガ、段々上ニ上ツ
テ中央金庫ノ方へ入ルノデアル、ダブシテ居ルノデアル、斯ウ云フヤウナ補
見政府委員ノ御答辯デアル、大部份ハ
詰リ農業會ノ貯金ナノデアリマスカラ、
何モ別ニ中央金庫ヲ置ク必要モナイン
デハナイカ、中央農業會ガ金融部ヲ置
イテ之ヲ管理監督シテ、サウンシテ其ノ
必要ニ應ジテ各種改良事業ノ施設ニ對
シ貸付ヲストル云フコトハ十分ナシ得
ルト考ヘルノデアリマシテ、殊更ニ農
林金庫ナント云フモノヲ別ニ捨ヘル必
要ガナイト思フノデアリマス、併シ私
ハ斯様ニ考ヘマシテモ、中央金庫ナル
モノヲ別ニ設ケテ置ケバ、此ノ點ガ農
村ノ爲ニナル、此ノ點ガ農民ノ爲ニナ
ルト云フヤウナコトガアルナラバ、私
ハハツキリト此ノ席上デ御伺ヒ致シタ
イノデアリマス、此ノ點ヲ私共ノ諒解
ノ出來ルヤウニ御説明ヲ願ヒタイノデ
アリマス

○楠見政府委員 私カラ御答へ申上ゲ
マス、農業方面ノモノダケヲ御覽ニナ
リマスト、只今加藤サンカラ御述ベニ
ナリマシタヤウナ御議論モ一應立ツ譯
デアリマスガ、實ハ御承知ノヤウニ農
林中央金庫ハ、單り農業團體ダケノ金
擴充サレテ行ク點ニ鑑ミマシテ、相當
考慮ヲ要スルノデハナイカト云フヤウ
ナ考ヘラ、現ニ政府ト致シマシテハ持
ツテ居ル次第デアリマス

○加藤(知)委員 三團體ガ圓滿ニト云
御話デアリマスガ、ソレハサウナク、
テハナラヌト思フノデアリマス、私ノ
御尋ネスル要點ハ、詰リ此ノ市町村農
業會へ貯金シタモノガ、段々上ニ上ツ
テ中央金庫ノ方へ入ルノデアル、ダブ
シテ居ルノデアル、斯ウ云フヤウナ補
見政府委員ノ御答辯デアル、大部份ハ
詰リ農業會ノ貯金ナノデアリマスカラ、
何モ別ニ中央金庫ヲ置ク必要モナイン
デハナイカ、中央農業會ガ金融部ヲ置
イテ之ヲ管理監督シテ、サウンシテ其ノ
必要ニ應ジテ各種改良事業ノ施設ニ對
シ貸付ヲストル云フコトハ十分ナシ得
ルト考ヘルノデアリマシテ、殊更ニ農
林金庫ナント云フモノヲ別ニ捨ヘル必
要ガナイト思フノデアリマス、併シ私
ハ斯様ニ考ヘマシテモ、中央金庫ナル
モノヲ別ニ設ケテ置ケバ、此ノ點ガ農
村ノ爲ニナル、此ノ點ガ農民ノ爲ニナ
ルト云フヤウナコトガアルナラバ、私
ハハツキリト此ノ席上デ御伺ヒ致シタ
イノデアリマス、此ノ點ヲ私共ノ諒解
ノ出來ルヤウニ御説明ヲ願ヒタイノデ
アリマス

○楠見政府委員 只今楠見政府委員ノ
仰シヤツタコトハ能ク承知シテ居リマ
ス、私ハ水産ハヤハリ水産ノ方ニ金融
部ヲ置キ、山林ハ山林ノ方ニ金融部ヲ
置キ、又中央農業會ハ中央農業會ノ方
ニ金融部ヲ置ク、ソレデ私ハ宜イト思
フ、ヤハリ同一ノ論旨ノ下ニ——例ヘ
バ中央農業會ト云フコトデナケレバ
ノ利益ガ農民ニアルト云フコトデナケレバ
農林中央金庫ヲ設ケテ置ケバ、是ダケ
ノ利益ガ農村ニアツテ、是レハノ利
益ガ農民ニアルト云フコトデナケレバ
ナラヌト思フノデアリマス、水産業モ
同ジコトデ、中央水産業會ノ外ニ別ニ
農林中央金庫ヲ設ケテ置ケバ、是レは
レノ利益ガ漁村ニアリ、漁師ニアルト
云フコトデナケレバナラヌト考ヘルノ
デアリマス、徒ラニ機關ノミヲ捨ヘテ
國民ノ負擔ヲ重カラシムルト云フコト
ハ、國家ノ爲ニ大イニ考ヘナケレバナ
ラヌコトデハナカラウカ、ト私ハ斯様ニ

考ヘルノデアリマス、唯此ノ農林中央金庫ナルモノハ、農業ノ方面バカリデハナク、水産ノ方面ニモ、山林ノ方面ニモ皆金融上ノ關係ヲ持ツテ居ルカラ必需要ダト云フコトダケデハ、別ニ之ヲ設ケテ置カネバナラスト云フ論旨ガ立タズト思フノデアリマシテ、ソレデハ我々ハ諒解ガ出来ナイノデアリマス、繰返シテ申シマスガ、中央農業會ノ外ニ農林中央金庫ヲ設クレバ、農村ノ爲メ、農民ノ爲メ、漁村ノ爲メ、漁民ノ爲メニ是レヽノ利益ガアルト云フクトヲ、ハツキリト私ハ伺ヒタイノデアリマス

別ニシタ方ガ宜イデ、ナナイカト云フ御議論デアリマスガ、我々ト致シマシテハ先程來申シマスヤウニ、此ノ原始産業ニ關シマス綜合金融機關トシテノ農林中央金庫ト云フモノハ、茲、今後モ擴充シテ參リタイト考ヘテ居ルノデアリマス、茲ニ其ノ一例ヲ申シマスト、水産關係ノ方ハ貯金ト致シマシテハ千三百萬圓程度デアリマスガ、之ニ對スル貸出ハ七千萬圓、森林關係ノ方ハ貯金ハ四百萬圓程度デアリマスガ、之ニ對スル貸出ハ三千百萬圓程度デアリマシテ、即ち此ノ貯金ト貸出トノ差額ト云フモノハ、農業關係ノ方カラ賄ツチ居ルノデアリマス、斯ウ云フ風ニ農林水ガ眞ニ原始産業トシテノ、又綜合金融機關トシテノ機能ヲ發揮致シマス爲ニハ、ドウシテモ現在ノヤウニ農林中央金庫ト云フ態勢デ以テ進ムノガ宜イ、斯様ニ考ヘテ居ル次第アリマス

○補見政府委員 便宜私カラ御答へ致シマス、蠶作ノ保険ノ問題ニ付キマシテハ、是モ加藤サン能ク御承知ノ通りアリマス、隨分前カラ此ノ問題ガアツタノデアリマスガ、御承知ノヤウニ、保険制度ト云フコトニナリマスト、其ノ他色々ノ基礎ガ必要ナノアリマス、隨て普通ノ保険制度ト云フ考ヘノ下ニ蠶作保険ト云フモノヲ取上げマスト、保険危険率ノ算定其ノ他ノ關係カラ致シマシテモ、中々保険トシテ取上ゲルコトハ難カシノイデハナイカ、寧ロ是ハヤルト致シマスレバ、共濟制度ト云フヤヴァナコトデ取上げナケレバナラヌ問題デアラウト思ヒマス、隨て保険組合ト云フヤウナモノガ出来、ソレガ此ノ農林中央金庫法ノ第五條ニ入ルカドウモ當然考慮シテ行カナケレバナラヌ問題デアラウト思ヒマス、隨て保険組合ト云フヤウナモノガ出来、ソレガ此ノカド云フコトハ、サウ云フヤウナ問題ガ解決致シマシタ後ニ於テ、我々トシテハ考ヘテ行キタイト考ヘテ居リマス

進シナケレバナラヌト云フヤウナ氣分
ガ、全國的ニ横溢シテ居ツタヤウデア
リマスガ、最近ニ至ツテハ、其ノ信念
ニ大分動搖ヲ來シテ居ルノデハナイカ
ト云フ感シガスルノデアリマス、私共
ハ田舎ニ始終居リマシテ、各農村等ヲ廻
ツテ、始終生産問題ニ對シテノ協議會
等ヲ催シテ居ルノデアリマスガ、最近
ニナツテ參リマスト、サウ云フ點ニ對
シテ非常ナ變化ガアルト思フノデアリ
マス、ソレハドウ云フ點カラ來テ居ル
カト申シマスト、戰爭ノ結果ガ良カラ
ウガ惡カラウガ、日本ノ兵隊ハ支那ニ
於テ、或ハ「フィリピン」ニ於テ、南洋
ニ於テ「ビルマ」ニ於テ、斯ウ云フヤウ
ナ働キラシテ居ル、斯ウ云フヤウナ戰
果ヲ擧ゲテ居ル、或ハ斯ウ云フヤウナ
拙イ點モアルト云フヤウナコトヲ常ニ
理解シテ居ツテ、惡ケレバ惡イヤウニ
新タナル激濱ノ下ニ、何處マデモ我々々
ノ努力ニ依ツテヤラナケレバナラヌト
云フヤウナ奮發モシテ參リマスシ、良
ケレバ良イヤウニ非常ニ勇氣ガ増シテ
來テ、非常ニ熱心ニ生産意欲ニ努力ス
ルト云フヤウナ傾向ニアリマシタガ、
最近ニ至ツテハ、各農村等ヲ歩イテ見
マスト、一體戰爭ハドウナルカ、或ハ
「レーテ」島ニ於テ、或ハ「フィリピン」
ニ於テ、或ハ「ビルマ」等ニ於テ日本ノ兵
隊ハ一體何ヲシテ居ルノダラウカ、サツ
ベリ此ノ頃戰況ノ發表ガナイ、是マデ過
去ノ例カラ言フト、戰況ノ發表ノナイ
地方ノ戰爭ノ結果ハ必ず惡イ、デアル
カラ必ズ惡イノデアル、例へバ「タラ
ワ」トカ、「サイパン」トカ、各地ノ報
道が薄ライデ來ルト、其ノ後ニ來ルモ
ノハ必ず惡イ、デアリマスカラ此ノ戰
争ノ様子ガハツキリ報道サレナナイコト
ハ、單り軍事上ノ問題ダケデナク、農

業方面ノ生産ニ於テモ、又各工場ノ生産ニ於テモ、非常ニ生産意欲ナルモノニ惡影響ヲ與ヘルノデハナイカト云フコトヲ私ハ非常ニ心配サレルノデアリマス、是ハ各地ノ農民達ヲ集メ懇談會ヲ開イテ見マスト、能ク其ノコトガ明カニ現ハレルヤウナ感ジガスルノデアリマス、是等ニ於キマンシテハ農商省ノ御當局トシマシテハ、如何ナル御考ヘヲ御持チニナツテ居リマセウカ、若シ私ノヤウナ御考ヘヲ持ツテ居ラレルトシマシタナラバ、之ニ對處スル爲ニハ如何ニスベキカト云フコトニ付テノ御所見ヲ承リタイト思フノデアリマス○橘見政府委員 便宜私カラ御答へ致シマス、戰爭ヲ致シテ參リマスル上ニ於ケル基盤力ト申シマスルカ、支ヘ棒ト申シマスルカハ、是ハ勿論皇國農民デアルコトハ御説ノ通りデアリマス、又我ガ農村ニハ三千年來傳統ノ農民魂ト云フモノガアルノデアリマス、此ノ農民精神ノ振起ニ依シテ、飽クマデ戰爭完遂ニ邁進シナケレバナラナイト思フノデアリマス、特ニ戰局ガ我ニ不利ニナレバナルダケ、此ノ農民ノ努力、農民ノ活動ト云フモノニ深ク期待シナケレバナラスト思フノデアリマス、最近ノ事象ヲ擧ゲテノ御尋ねデアリマスガ、私共ハ必ズシモ農民ニ付テサウ云フヤウナ不安ノ念ヲ持ツテ居ラナイノデアリマス、唯本委員會ヲ通じマシテ色々論議セラレマシタヤウニ、此ノ農民魂ヲ振起シ、又農民ガ眞ニ食糧増産ニ邁進シ得ル上ニ於テ、色々必要ナ方面ニ對スル手當ガ足リナカツタリ、或ハ又之ヲ敵フ「ヴェール」ヲ掛ケルヤウナ色々ノ支障ガアルト云フコトガ、此ノ委員會ニ於テモ論議セラレタノデアリマス、勿論我々トシマシテハ、能ク此

ノ戰局ノ情勢ト云フモノヲソレハノ
機關ヲ通ジテ農民諸君ニ徹底シ愈、以
テ農民ノ重大使命ヲ自覺シテ戴キマス
ルト同時ニ、是ガ精神ノ振起、或ハ農
業増産ノ上ニ於テ色々支障ニナツチ居
リマスル事柄、斯ウ云フモノヲ出來ル
限りノ努力ヲ以チマシテ善處シテ參り
タイト考へテ居ル次第アリマス
○山田(六一)委員 御意見ノ通リデアルト
スレバ非常ニ宜イノデアリマスケレド
モ、尙ホ斯ウ云フヤウナ問題ニ對シマ
シテハ、政府ハ特ニ御力ヲ加ヘラレ御
配慮ヲ御願ヒ致シタイト思フノデアリ
マス

次ニソレト關聯シテ居ルヤウナ問題
デアリマスガ、各官廳ニ於ケル所ノ生
產ノ獎勵指導ニ對スル御方針ニ付テ承
リタインノデアリマス、ソレガ本當ニ精
神的ニ指導サレテ居ルカドウカト云フ
コトニ付テハ、非常ニ疑ヒガアルノデ
アリマスルガ、極ク近イ例ヲ擧ゲテ言
ヒマスルト、總テニ付テ自己ノ小サナ
範圍サヘ責任ヲ果セバ宜シトイ云フ傾
向ガ到ル處ニアルノデアリマス、今政
府ガ數千萬圓ノ金ヲ投ジテ全國ニ堆肥
ノ獎勵ヲヤツテ居リマス、是ハ各地ト
モ盛ンニヤレルダケヤル積リデ皆努力
シテ居リマスガ、此ノ堆肥ニ必要ナル
所ノ堆肥杵ヲ作ラウトシテモ、木材ノ
供給ヲ受ケルコトガ出來ナイ、農政課
トカ、農務課トカ云フヤウナ方面デハ
堆肥ヲ作ルコトハ獎勵ヲシテ、堆肥ノ
杵ガ必要ナシトハ分シテ居リマスケレ
ドモ、是ハ山林課ノコトデアリマスカ
ラ山林課ニ行ツテ交渉セイト言フ、山
林課ニ行ツテ交渉スルト、ドウモ軍需
品デ間ニ合ハヌカラ、ソンナモノハ入ツ
テ居ラヌト言フ、斯ウ云フ情勢デアル、
是ハ一方ノ方デ國ノ大キナ農業政策ノ

云フノデ開拓サレマスカラ、農家ノ方デモヤハリ完全ナ仕事ハ出來マセヌ、堆肥ヲ集メテ來テ其ノ邊ニ積シテ置ケト云フヤウナ所ガ到ル處ニアル、是ハ實ニ驚クベキデアリマス、又一面カラ言フト、鎌ノヤウナ小サナ農機具デアラウガ、配給申請ヲ出サナカツタカラノ村ニハ配給ヲシナイトイコトデアル、サウ云フノヲチヨイヽ聽キマスルガ、私ハ斯ウ云フコトニナツテカムルト、配給申請ヲ出サナカツタ所ハ、農業上必要ナコトガ分リ切ツテ居ル小サナ農具デモ配給シナクテ差支ヘナインダト云フヤウナコトニナル、サウスルト其ノ町村ハ非常ナル不自由ヲシテ、古イモノヲ使ツテ居ル、或ハ策農家ハ到ル處ヲ駆ケ廻ツテ五圓トカ、十圓ト云フウナヤ途方モナイ高イ値段ヲ出しシテ、一挺ノ鎌ヲ買ヒ求メテ歩ククト云フヤウナコトヲ各地方デ見テ居ルノデアリマス、是等ニ付キマシテモ、本當ニ必要ナル農具デアルカラシテ、彼處ノ耕地ノ反別ハ幾ラアル、或ハ山林、原野ノ反別ハ幾ラアルカト云フヤウナコトハ大體分ツテ居リ、其ノ町村ハ極ク小サナ農機具、サウ云フヤウナモノハ到ル處ニ相當ナモノヲ配給スルト云ブヤウナコトニオヤリ願ツタナラバ、サウ云フヤウナコトガナクナルノデハ

イカト思フノデアリマス、例ハバ鋤先
ノ如キモ其ノ通リデアリマス、是モ到
ル處ニ鋤先ガ來ナイト云フノデ、殆ド
農耕ガ出來ナイ、偶來タト云ツテモ型
ザ合ハヌデ使ヘナイ、鎌ノ如キモ地方
ノ狀況ニ依ツテ六寸ノ鎌ヲ使ツテ居ル
所モアルシ、或ハ七寸ノ所モ、八寸ノ
所モアル、ソレヲ太小構ハズ配給サレ
テシマフカラ、使ヒニククテ困ツタト
云フ例モ到ル處ニアルノデアリマスガ、
是等ニ付テハ、今ノ增産態勢ニ必要ナ
ル所ノ堆肥拌ニシロ、或ハ小サナ必要
缺クベカラザル農機具ニシロ、其ノ必
要ナル數量ハ、現ニ其ノ地方ニ於テ分
ツテ分ル筈デアル、デアリマスカラ、
是等ハ必ず全國のニ普遍的ニ配給ラシ
ヲ御執リ願ツタナラバ非常ニ宜シント
思フノデアリマス、一方ニ於テ堆肥ノ
獎勵ヲシ、一方ノ方デハサウ云フ機具
ニ付テ係ガ違フ、或ハ地方ノ木材會社
ニ要求シテモ到底其ノ要求ニ應ズルコ
トガ出來ナイト云フヤウナコトデ、現
ニソレガ爲ニ完全ナ積ミ方ニナツテ居
ナイ町村ガ澤山アルノデアリマス、是
等ニ對シマシテモ中央ニ於テハイイザ知
ラズ、地方ニ於ケル官吏ノ間ニ、之ニ
依ツテ生産ノ増加ヲ圖ルノダ、其ノ目
的ヲ達スル爲ニハ如何ナル努力モシテ
ヤルノダト云フヤウナ觀念ガアツタナ
ラバ、コソナヤウナコトハナイ害ダト
云フ風ニモ考ヘラレルノデアリマスル
ガ、サウ云フ點ニ對シマシテ尙ホ一段
ノ御督顧ヲ御願ヒ致シタイト思ヒマス
ルガ、今後ノ御方針或ハ現在ノ各地ノ
状況等ニ付キマシテモ、御意見がオア
リニナレバ、此ノ機會ニ御聽キ致シタ

○長野府農務課長 山田委員ノ御指摘ニ
ナリマシタヤウナ事柄ガ遺憾ナガラ從
來アツタト存ジマス、就キマシテハ今
後ニ於ケル問題デアリマスガ、省内ニ
於ケル事柄ニ付キマシテハ、省ノ局課
總テヨ擧ガテ相協力シテ其ノ目的ヲ達
成スルヤウニ努力セシメタイト考ヘテ
居リマス、又假令農商省關係デアリマ
シテモ、國ノ方針トシテ決定致シマシ
タル事柄ニ付キマシテハ、國ヲ擧ガテ
之ニ協力シ得ルヤウニ努力ヲシナケレ
バナラヌ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デア
リマス

○山田(大)委員 織維局長サンニ一寸
御尋ね致シマス、先般調査ノ値段ニ付テ私
共度々要求ヲ申上ゲタノデアリマスル
ガ、其ノ要求ヲ御容レ下サイマシテ、
二百掛ト決定サレテ居ルノデアリマス、
洵ニ喜バシイコトト考ヘテ居リマス、
二百掛ト決定ハサレタノデアリマスル
ガ、此ノ二百掛ト決定シタガ爲ニ本年
度繭ノ生産ガ上ルカト言ヒマスルト、
是ニハ餘程疑問ガアラウト思ツテ居リ
マス、値段ダケデハ中々生産ヲ殖ヤス
トカ、維持スルトカ云フヤウナコトハ
困難ダラウト云フコトガ考ヘラレルノ
デアリマス、其ノ當時、値段ヲ上ゲテ
戴クト同時ニ、種々ナル施策ヲ計畫ヲ
シテ戴キタイ、兩々相俟ツテ生産ノ増
強ハ必ず出來ルト云フヤウナコトヲ申
上ゲテ鬱イタノデアリマシタガ、最近
御聞キ致シマスルト、或ル程度ノ追加
豫算も出來上リ、又第二豫備金等ヲモ
支出シ得ル御見込ガ稍、御立チニナツ
タト云フヤウナコトデアリマスルガ、
ソレ等ノ内容ニ付テ此ノ機會ニ御聽キ
ヲ致シタイト思ヒマス

ハ、現在ノ情勢カラ申シマシテ増産ヲ
直チニ望ミ得ルト云フコトハ相當困難
デアル、是ハ御言葉ノ通リデアルト考
段ヲ講ジテ、生産意欲ノ昂揚ニ努メ、
又其ノ陰路ノ除去ニ努メタイト考ヘテ
居ルノデゴザイマシテ、十分トハ申シ
兼ネルノデゴザイマスガ、豫算等ニ於
キマシシテモ、ソレハ、計上致シテ居ル
ノデゴザイマス、主トシテ現在ノ桑園
ニ於テ穫レマスル桑葉ノ全部ヲ蘭化シ
タイト云フコトヲ中心ニシテ居ルノデ
アリマス、隨テ從來ハ大體全國デ一割
程度ノ殘桑ガアツタノデゴザイマスル
ガ、此ノ殘桑ヲ全部蘭ト致シマスル爲
ニハ、養蠶ノ其ノ時ニ於ケル實際ノ
要求ニ應ジマシテ、或ル場合ニハ桑葉
ノ輸送等ヲ考ヘナケレバナラヌト存ズ
ルノデアリマス、之ニ要シマス輸送
費ノ補助ヲ計上シテ居リマス、從來
養蠶ガトモスレバ勞力ノ不足等
ニ依ツテ處頗シ勝チニナツタノ
デアリマスルガ、殊ニ稚蠶期ニ於ケル
勞力ノ關係等ガ一ツノ陰路ニナツテ居
ツタ思ハレルノデアリマス、今年度ニ
於キマシシテハ、從來ノ共同飼育ノ外ニ、
出來レバ全部ヲ蠶兒ノ配給ニ依リタイ
ト考ヘテ居リマス、大體從来六、七割
程度ガ共同飼育ヲシテ居ツタノデアリ
マスガ、三割程度マデ出來ル限りハ蠶
兒トシテ配給致シマシテ、大體二眠起
位ナ蠶兒ニマデ育テ上ゲマシシテ之ヲ配
給致シマシテ、計畫的ニ今マデノ反別
ニ對シテ割當テ居リマシタヨリハ、出
來ル限リノ大量ノ蠶兒ヲ配給シテ飼ツ
テ貰ヒタイト云フ考ヘヲ持ツテ居ルノ
デアリマス、尙ホ從來ノ蠶品種ニ付キ

マシテ、絲質ニ重キヲ置キマシタ關係
デ絲量ニ於テ劣ルト云アヤウナモノモ
アリマシタノデ、本年度ニ於キマシテ
ハ、多量ノ牛糞ニ適シタ蠶種ヲ配給致
付テモ算ヲ計上シテ居リマス、是等
ノ仕事ヲ致シマス上ニ於テ、何ト申シ
テモ地方ノ農業團體、或ハ地方廳ノ力
ヲ借りリヨレガ極メテ多イノデアリマ
ス、其ノ地方廳及ビ地方農業團體ニ對
スル活動ノ資金ニ付キマシテモ計上シ
テ居ル謂デアリマス、大體以上中上位
マシタモノガ主タル内容ニナツテ居リ
マス

居り、其ノ成果ハ非常ニ擧ツテ居ルト
私ハ見ルノデアリマス、而シテ政府ハ
之ニ鑑ミテ昭和二十年ニハ其ノ人員ヲ
倍ニ増強スルト云フコトデアリマス、
私ノ聞イテ居ル所デハ、是ハ大體九萬
人程度ニナリ、恐ラク甘譲増産ニ挺身
セシメル資圖デアラウ、斯様ニ思ヒマ
スガ、是ハ尙ホ其ノ他ノ食糧増産ニモ
挺身セシメルノデアルカ、尙ホ農政局
長ノ御話ハ、主トジテ町村ニ移動セザ
ル增産院ヨ結成シテ、其ノ組織ノ中ニ
ハ商工孝ノ遊休努力ヲ之ニ拘攏スルト
云フ意味デアラウカト思ヒマスガ、サ
ウシタ坂合機動的ナ農兵隊ト、此ノ種
ノ増産隊ト合セテ食糧増產ニ寄與セシ
メルモノト思フノデアリマス、所ガ是
ガ雇僱ニ依ツテ取扱ハレルノデ、専白
カラザル結果ヲ生ム場合ガナイデモナ
イト云フ譯デアリマスガ、之ニ
ヤハリ此農業會、町村農業會等ニヤラセ
ルノガ宜イノデハナイカト云フヤウナ
意見ガアツタヤウデアリマスガ、之ニ
對シテ局長トシテハ、縣ト農業會、此
ノ二本建て之ヲ強ク監督シテ行カウト
云フヤウナ御話デアリマス、所ガ私ノ
門及シテ居ル所デハ、昨年或ル縣ニ於
テ、此ノ農兵隊ノ殆ド過半ヲ瀘洲ノ義
勇軍ニ持ツテ行ツタト云フコトデアリ
マス、是ハ屢違エタコトデハナイカ、
大體は其ノ縣ニ勞力ヲ留保スル意味
デ組織サレテ居ルノデアリマス、ソレ
ニモ拘ラズ瀘洲ニ持ツテ行ツタ、ソレ
ガ其ノ縣ニ於テ非常ニ問題ニナツタ、
是ハ國カラ見レバ、甲カラ乙ヘ其ノ勞
力ヲ競讓スルノデアルカラ、別ニサシ
タコトハナイト思ハレルカニ知レヌガ、
其ノ地方ニ取ツテハ非常ニ問題デアリ
マスシ、又今後農兵隊ヲ募集スル上ニ
於テ、ソレガ非常ニ影響スル所ガアル

ト思ヒマスガ、是等ノ指監督ニ付テハ十分ノ注意ヲ要スルノデハナイカ、之ニ付テハドウ云フ御所見デアリマセウカ○西村政府委員農兵隊ノ問題ニ付キマシテハ、甲種乙種ヲ通ジテ大分人數ガ殖エマス爲ニ、其ノ運用ニ付テハ餘程注意ラシテ行カナケレバナラスト思私考ヘテ居ラヌノアリマシテ、甲種農業會トトテ然ルベクト云フヤウニハシテ貴ヒタイト思ヒマス、又乙種ノ増産隊ニ車ラ農業會等ガ主ニナツテ動力増産隊ハ主トシテ地方長官ノ手兵ノヤウナ工合ニシテ、機動的ニ縣内ヲ動カシテ貴ヒタイト思ヒマスノアリマシテ、甲種農業會ガ生產ノ方ノ指揮實任ヲ持ツテ居ルノデアリマシテ、其ノ生産關係ノ農業會ノ方デ受入、利用、活用ノ法ヲ極力考ヘテ戴カナケレバナルマスガ、專ラ其ノ活用ハ農業會方面ニ於テ考ヘテ貴ヒタイ、斯様ニ考ヘテ居ラル譯アリマス、尙ホ御話ノ此ノ農兵隊ヲ滿洲ノ方ニ出シタト云フノハ、ソマスガ、専ラ其ノ活用ハ農業會方面ニノ方ハ其ノ訓練ナリ、又移動ノ經費ハ縣ヲ通ジテ國ガ出スコトニナツテ居リマスガ、専ラ其ノ活用ハ農業會方面ニ於テ考ヘテ貴ヒタイ、斯様ニ考ヘテ居ラル譯アリマス、尙ホ御話ノ此ノ農兵隊ヲ滿洲ノ方ニ出シタト云フノハ、十六歳カラ十八歳ノ者デ、滿洲ノ開拓農民ノ基幹トシテ行ク者ヲ、内原ノ訓練所ニ於テ訓練ヲ致シマシテ、御承知ノヤウニ満洲ノ義勇軍ト申シマスノハ、十六ノ年屯田兵的ノ意味ヲ以テ國境ニソレゾレ配置ヲ致シマシテ、向フニ永住シテ、滿洲ノ開拓農民トナルト云フコトデアリマス、初メカラ是ハ滿洲義勇軍トシテ募集ヲ致シテ、其ノ目的ノ

爲ニ内原ニ於テ六箇月ノ訓練ヲヤツテ
向フニ行クノデアリマシテ、農兵隊ヲ
左様ナ風ニヤルト云フコトハ全然致シ
テ居ラヌノデアリマスガ、何カ或ハ我
我ノ知ラナイヤウナサウ云フコトガア
ツタカト思ヒマス、モウ一ツハ満洲ニ
報農場ト云フモノヲ設ケマシテ、是
ハ餘り多クノ人數デハアリマセヌケレ
ドモ、四月カ五月頃ニ向フニ行キマシ
テ、叢麥トカ麥トカ云フモノノ付ケ
ヲヤツテ、十月頃ニハコツチヘ歸ツテ
來ルト云フコトデ、ソレハ何々縣ノ
報農場ト云フ百町歩カ二百町歩ノ農
場ヲ向フニ設ケマシテ、向フデ付ケ
ヲシテ歸ツテ來ル、斯ウ云フ滿洲ニア
ル自分等ノ縣ノ報農場ニ、食糧ニ持
ツテ出掛けテ行ツテ、其處デ叢麥トカ
麥トカ色々ノ物ヲ作リマシテ、ソレヲ
内地ノ方ニ移入スル、斯ウ云フ制度ヲ
若干ヤツテ居リマスケレドモ、是モ亦
農兵隊トハ全然別デアリマス、申種ノ
農兵隊ハキチントシタ組織デスガ、乙
種増産隊ノ方ハ從來農業會ノ方デヤツ
テ居ラレタノヲ、昨年秋カラ色々組織
化シタモノノデ、此ノ増産隊ハ其ノ町村
ニ在住シテ居ルノデアリマシテ、之ヲ
向フノ方ニヤルト云フコトハシナイ種
リデアリマス、尙ホ農兵隊ノ數が多ク
ナリ、唯人ヲ集メテモ之ラ色々旨ク動
カシマセヌト、唯工場ノヤウナ工合ニシ
機械的ニ動クモノデハナイゾアリマ
スカラ、其ノ運用活用等ニ付テハ十分
注意ヲシテ參りタトイ思ツテ居リマス
○野村委員 尚ホ農兵隊ニ關シテ伺ヒ
マス、此ノ農兵隊ノ要入レニ關シマシ
テハ、大體受入れ町村トシテハ非常ニ
歡迎ヲシテ臺ソデ居ルノデアリマスガ、
其ノ半面ニ非常ナ憚ミガアル事實ガア
リマス、ソレハ食糧ノ問題デアリマス、

大體農兵隊ガ各府縣ニ行クニ付テハ、
食糧ヲ携行シテ參ルノデアリマスガ、一週間
十日或ハ二週間ト、斯ウ云フヤウニ日
ガ長クナルノデアリマス、ソレニ付キ
マシテ其ノ地方農民ノ保有米ニ食込达シテ、
行タ、或ハ町村配給米ノ枠内ニ入ツシメ
テ行ク、其ノ爲ニソレガ米ノ供出ニ及
常ニ影響スル、又一般配給ニモソレガ
影響スルト云フ状況デアルノデアリマス、
シテ、是ハドウシテモ何トカ考ヘテ戴
カナケレバナラヌト思フノデアリマス、
ソレニハ私ハ先づ國有地内ヲ開放シテ、
農兵隊ラシテ自給自足ニ途ヲ取ラシメ
ル、詰リ精神訓練ヲ致シマスル共ニ、農
耕ニ從事セシメテ其ノ食糧ヲ獲得セザ
ル、サウ云フヤウナコトニシタラバ、
其ノ弊ハ止マルデナハイカト思フノデ
アリマスガ、ソレ等ニ對シマシテノ御
所見ヲ伺ヒタイ

農閑期等ニ於テマダ土地改良ガ遅レテ
居ルト云フヤウナ時ニハ、早ク植付マ
デニ其ノ地方ノ工事ヲ済マスト云フヤ
ウナコトデ、極力ヤツテ居ルノアリ
マスケレドモ、一年間通シテ之ヲ動
員・スル譯ニアリマシテ、一面ニ於テハ
國有地ナリ、或ハ又民有地アツテモ
開墾ヲシテ、叢麥ヲ植エルトカ玉蜀黍
ヲ・植エルトカ、或ハ諸ヲ作ルトカ云フ
ヤウナコトニ依リマシテ、食糧ノ増産
ニ乞ニ角「ブラス」ニナルヤウニスル、
サウ云フ農兵隊ハ今後トモ十分動カシ
テ、其ノ縣デ餘計働イテ貰ツテ、其ノ
爲ニ食糧ガエライ食込マレタト云フヤ
ウナコトノナイヤウニ、十分一ツヤツ
テ行キタイト思ツテ居リマス

○野村委員 大體農兵隊ニ關シマシ
テハ私モ六、イニ議ヲ強ウシ得ル譯ニア
リマスガ、唯國有地ノ開放ノ問題、是
ガ實ハ私ノ地方デハ、山林局ノ方面ニ
開放ヲ願ヒ出タ所ガ中々ヤカマシイノ
デアリマス、スラ～トソレガ運ンデ
行キマセヌ、デアリマスカラ、是ハ農
商省ノ所管ノ仕事デアラウト思ヒマス
ガ、ドウカ是ガ圓滑ニ運ブヤウニ一段
ノ御努力ヲ御願ヒ申上ゲテ此ノ問題ヲ
終リマス

次ニ自作農創設ノ問題デアリマス、
是モ昨日來非常ニ論議セラレタノデア
リマス、而モ此ノ自作農創設ハ大正十
五年カラ布カレタノアリマシテ、既
ニ二十年ト云フ年月ヲ經テ居リマス、
尙ホ一昨年ヨリ皇國農村ヲ設置セラレ
マシテ、一層此ノ方面ニ拍車ヲ掛ケラ
レテ居ルノアリマス、所ガ中々是ガ
遲々トシテ進マナイ、進マナイ理由ニ
付テモ昨日カラ平野農委員ヨリ色々述べ
ラレマシタガ、洵ニ肯ケルノアリマ
ス、尙ホ本村前川兩委員カラ七〇%進マ

ザル理由ハ、報奨金ノ低イ點ニアル、モウ少シ高クシナケレバ、イカヌデハナガアリマシタ、私ハ此ノ進マザル理由ハ、價格ノ點デアラウト思フノデアリマス、地價デアラウト思フノデアリマス、其ノ地價ガ外ノ物價ニ對照シテ安イ、斯ウ云フ譯デ手放サレナイノデハナイカ、殆ド地主モ今日ハ色々ナ關係カラ手放シタイ、斯ウ云フ意尚ガ非常ニ旺盛デアル、是ハ事實デアリマス、所ガ値段ノ關係ニ依ツテ是ガ行詰ツテ居ル、其ノ値段ハ詰リ公定價デアルト思フノデアリマシテ、公定價ニ抑止サレテ居ル、公定價ハ御案内ノ通り賃貸價格ニ對シ三十乃至三十四、五ト云ブモノガ課力シマスト、是ガ外ノ物價ト對照シテ非常ニ割ガ安イ、此ノ爲ニ是ガ左様ニスラスマト參ラナイ、斯ウ云フコトニナツテ居ルノデハナイカト思フノデアリマス、私ノ地方ニ於テハ斯ウ云フ事實ガアルノデアリマス、田反當七百圓トテモ尙ホ漸ク半分ニナルカナラヌカ、斯ウ云フ譯合デアリマス、デアリマスカラ此ノ公定價デ取引サレルト云フコトハ、中々至難ナコトニ相成ツテ居ル、爲ニ自作農創定ガスラ～ト行カナ成レバ、此ノ方面モ相當價格ヲ吊上ゲイ、此ノ理由ハ此處ニアルノデヤナイカ、斯ウ思フノデアリマス、尙ホ又懲ヌメ率ガ引上ゲラレルト云フコトニ相

○西村政府委員　自作農ノ創定ニ付テ、土地ノ賣買價格ト云フモノガ色々問題ナリコトハ御話ノ通リデアリマス、其ノ地方ノ事情ニ依リマシテハ、農用土地トシテ賣買スレバサウ高クハ賣レナイケレドモ、工場ノ敷地其ノ他ニナリマスルト、相當法外ニ賣レルト云フヤウナコトカラ、其ノ地方ノ地價が非常ニ上ルト云フヤウナコトモ隨分アル譯デアリマシテ、左様ナ譯デ自作農創定ノ爲ニハ、餘り高價デアツテハ其ノ小作農家ノ生計ガ立チ行カナイト云フヤウナコトデ、資金ノ償還計畫等モ立て居ルヤウナ譯デアリマスノデ、小作人ニハ餘リ高クナイ價格デ入手ナセタマア左様ナ意味ニ於テ、十分デハナイケレドモ昨年カラ報奨金ト云フモノデ、地主ガ自作農ノ維持創設ノ爲ニ土地ヲヤル場合ニ於テハ田畠ニ付テソレヽ一定ノ報奨金ヲヤル、斯ウ云フヤウナコトニ致シタ譯デアリマシテ、御話ノヤウナ御意見ニ依レバ、其ノ報奨金ヲモット將來ウント殖ヤシタラドウカ、ニ付テハ十分考ヘタイト思ヒマスガ、斯ウ云フコトデアリマスルガ、是モ現在土地ノ價格ガソレヽ統制ヲサレテ居ルヤウナ譯デアリマシテ、御話ノ點ニ付テハ十分考ヘタイト思ヒマスガ、昨年モ大分財務當局トヤリ繰リヨシテ中々急激ニ増加スルト云フコトハ困難ナ事情モアルト思ヒマスケレドモ、尙ホ十分考ヘタイト思ツテ居リマス、尙ホ米價等がドウ云フ風ニ改訂セラレルカハ問題デアリマスルケレドモ、米價ガ引上げラレタカラト云ツテ、直グニ土地

○野村委員、自作農ノ地價ヲ上ダルト云フコトハ、小作者ニ對シテ無理ガ行クノダヤナイカ、斯ウ云フヤウナ御答ヘデアツタノデアリマス、勿論其ノ通りデアルト思ヒマス、併シ今日ハ此ノ小作者モ相當ナ購買力ヲ有シテ居ルノデアリマシテ、昨日モ平野委員カラ其ノ御説ガアツタヤウダアリマス、斯ウ云フヤウナコトデゴザイマスカラ、是ハ一應竊ト御考慮フ願ヒタイト思フノデアリマス、次ニ食糧増産ノ隘路ノ問題デアリマスルガ、私ハ實際之ヲ體驗シテ居リマシテ、勞務トノ關係ガ非常ニ此ノ食糧増産ノ問題ニ關係シテ居ルコトガ多イノデアリマス、ト申シマスルノハ、地方ニ於キマシテハ農家ニ對シテ非常ナ貯蓄ガ背負ヒ切レナイン程負ハサレテ居ル、斯ウ云フヤウナ關係デ、食糧増産ハカリニ挺身シテ居ツタノデハ貯蓄ガ出來ナイ、斯ウ云フ譯デアリマスカラ、サウ云フヤウナ者ハ隨て自己分ノ農耕ノ方ヲ或ル期間棄テ、或ハ荷馬車或ハ其ノ他ノ自由勞務ニ就イテ居ルノデアリマス、サウシテソレデ貯蓄ヲスル、荷馬車ノ如キハモウ私ノ方デモ一日五十圓取レル、斯ウ云フヤウナ譯デアリマシテ、其ノ爲ニ食糧増産ノ面ニ勞務ガ非常ニ不足ヲ來ス場合ガアル爲ニ、ナイデモナインオデアリマス、是ハ又警察方面ト致シマシテ、警察ガ小運送業ノ認可權ヲ持ツテ居ツテ、ソレヲ非常ニ獎勵シテ許スト云フ傾向ガアル爲ニ、農家ガ其ノ方面ニ輸レテ行ク、斯ウ

云フヤウナ傾向デアリマス、隨テ食糧増産ニソレガ影響スルコトが非常ニ夥シノイデアリマス、之ニ對シテ何トカ防止ノ手ヲ打タナケレバイケナイノデハナイカ、斯様ニ思ハレマスガ、私ハ藏省ガ今日新規所得層エ增税ヲサレル、是モ此ノ防止ノ一ツデモアル、又農業要員ノ資格ヲ引上ゲルト云フコトモ此ノ防止ノ方法デハナイカ、ト思フノデアリマス、只今ハ九十日從事シテ三反歩以上作ツテ居ル者ガ農業要員ニ指定サレテ居ルヤウデスガ、ソレヲ日ニチヲ増シ、農耕反別ヲ増ス、斯ウ云フ風ナコトニシテ、行クナラバ、自然ト勞務ノ方へ流レル日ニチガ少クナツテ來ル、斯ウ云フ風ニナルノデハナカト思フノデアリマスガ、ソレニ對シテ何トカ對策ヲ御考ヘデアリマセウカ

ケレドモ、現在ノ農業要負ト云フモノ
ガ、全般的ニ見マシテモ、現在ノ農業
生産ヲ上グル上ニ於テハ、數ガ少ナ過
ギルト云フヤウナコトニモナツテ居リ
マスノデ、直チニ其ノ基準ヲ引上ゲテ
云々スルト云フコトモ、是ハ考ヘモノ
デハナイカト思ツテ居ルノデアリマス
ガ、御詫ノヤウナ點ハ農村ノ實情カラ
云ツテ非常ニ困ル點アリマシテ、一
ツ十分研究致シタイナ存ジマス
○野村委員 次ニ諸ノ價格ノ問題デ
アリマス、農產物ノ價格ノ問題ニ付テ
ハ非常ニ論議サレテ、既ニ大體當局ノ
言明モ得テ居ルヤウデアリマス、必ズ
上ルト思ツテ居リマス
○高橋委員長 一寸……今ハ農政局長
ニ關スル點ダケアナタニ御願ヒシテ居
ツタノデスカラ、他ノ問題ハ後ニシ
テ……
○野村委員 ソレデハ價格ノ問題ハ後
ニ譲リマシテ、甘諸ノ處理ニ關スル問
題デアリマス、甘諸ハ本年ハ躍進の增
産デアル、而モ二十七億貫ト云フ目標
デアル、今マデノ二倍或ハ三倍ニ近カ
ラントシテ居ル數量デアリマス、之ヲ
シツカリ櫻レタダケヲ確保スルト云フ
コトガ、一番今度ハ大事ニナルノデハ
ナイカ、所ガ今マデノ例ヲ見テ居リマ
スト、非常ニ腐る諸ガ出ルノデアリマ
ス、私ノ方ニ於キマシテ其ノ例ヲ擧ゲ
テ見マスト、十二月マデハ大體ニ於テ
是ガ腐ラナクテ生諸ノ儘處理サレテ行
ク、所ガ一月以降ニナルト、一月ニ於
テ約三%、二月ニナルトソレガ尙ホ倍加
シテ行ク、斯ワ云フ狀況デアリマス、
デアリマスカラ此ノ腐ルニ付テハ色々
ノ點ガアラウカト思ヒマス、或ハ病的
モアル、或ハ氣候ノ關係モアラウカト

思ヒマス、是等ニ對スル防止方法トシ
テハ貯藏法ノ完璧ヲ期サナケレバナラ
ル、是ハ泡ニ惜シヨクトデアリマシテ、斯
ヌ、所ガソレガ中々旨ク參ラナイ、斯
ウ云フヤウナ譯デ、非常ニ腐乳諸ガ出
國家ノ上カラモ、又農家經濟カラモ非
常ニ是ハ惜シヨクトデアリマスカラ、
之ヲ絕對確保スルニハ、此ノ處理ヲ
旨クヤルト云フコトガ大事デハナイカ
ト思フノデアリマスガ、此ノ處理ト申
シマシテハ、私ハ出来ルダケ之ヲ加工
シテ行クト云フコトガ宜イノデハナイ
カ、今「アルコール」工場デモ大體五十
以下シカナイト云フ状況デアル、國內
ニハ左様ナ數シカナイヤウデアリマス
ガ、之ヲ二倍乃至三倍ニ殖ヤスト云フ
コトモ一ソノ方法テアリマス、併シ又
資材ノ問題カラ、今日直チニ是方増設
擴充ト云フコトハ困難デアルカモ分リ
マセヌ、就キマシテハ地方ニ於ケル所
ノ遊休ノ釀造會社ヲシテ之ニ當ラシメ
ル、或ハ又地方ノ澱粉會社ヲシテ之ヲ
擴充増製セシタル、斯ウ云フコトモ一
ソノ手デアルノデハナニカ、斯ウ思フ、
尙ホ私ハ此ノ場合特ニ市町村農業會ニ
此ノ簡易ナ加工施設ヲヤラセルト云フ
コトガ、處理ノ上ニ非常ニ旨ク行クノ
デハナイカト思フノデアリマス、只今
松根油ヲ市町村農業會ガヤツテ居リマ
スルガ、而モ政府ノ助成ヲ得マシテ、
ソレハ、今準備中デアリ、又著手シタ
所モアラウカト思フノデアリマスガ、
左様ナ方法ヲ以テ市町村農業會ニ之ヲ
ヤラセテ行ク、斯ウ云フヤウナコトニ
相成ルナラバ、手近ニゾレ等ノ問題ガ
出來ルノデハナイカ、而シテ此ノ諸ノ
腐乳防止スルコトガ出來、サウシテ
目的通りノ確保ガ出來ル、斯様ニ私ハ
思フノデアリマスガ、是等ニ對スル御

○西村政府委員　甘諸ノ大増産ニ伴ヒ
マシテ、處理加工ヲ極メテ敏速ニヤツ
テ行カナレバナラスト云フコトハ御
意見ノ通りデアリマシテ、諸ガ腐ルト
云フノハ農家ガ自分ノ穴藏デ旨ク貯藏
シテ參リマスモノハ種諸ヲ初メトシテ
サウ腐ラヌノデアリマスガ、之ヲ輸送
方面ニ出シタリシテ、鐵道其ノ他ノ所
ニ堆積ヲシテ居ルト云フ爲ニ、色々腐
敗ラスル危險ガアルノデアリマシテ、
隨テ搬出サレタモノハ極メテ敵速ニ處
理加工ヲシテシマハナケレバナラヌ譯
デアリマス、農家ノ貯藏ニ付テハ、更
ニモソト積極的ニ穴藏貯藏等ヲ獎勵ス
ルヤウナ手段ヲ講ジテ居リマスガ、處
理加工ノ方面ニ付キマシテハ、御話ノ
ヤウニ切干ニスルノデアリマスガ、切
干ノ機械等モ今後ハ倍位ニ致シマシテ、
市町村農業會其ノ他デ以テ、國民學校
等ヲ使ツテドンヽ切干ニシテ乾燥ヲ
スルト云フ設備ニ付テ、切干機ノ鋼材
ニシテモ其ノ他ノモノニシテモ、積極
的ニ國デ以テ心配ヲシテヤル積リデア
リマス、尙ホ澱粉工場等ニ付キマシテ
モ、府縣ノ農業會等ニモ色々々指圖ヲ致
シマシテ、相當諸ノ出來ル町村等ニ於テ
ハ、町村農業會モ積極的ニ澱粉工場、
素澱粉ヲ捨ヘルヤウナ工場ヲ一ツヤツ
テ貴ヒタイ、ソレニ要スル資材ハ國ガ
優先的ニ配給ヲスル、斯ウ云フコトヲ致
シテ居ル譯デアリマシテ、諸烟ノ眞中ニ
デアリマス、尙ホ「アルコール」工場ニ
付キマシテモ、今ノ「アルコール」工場
ノ分布ハ、必ズシモ諸ノ產地ト並行シ
テ居ルヤウナ譯デハナイカト思ツテ居ルノ

テ、關西地方ニハ比較的「アルコール」工場ガアルケレドモ、關東地方ニハナイン又九州地方ニ於テモ「アルコール」工場ノ分布ガマダ少イノデアリマシテ、是モ其ノ消費ガ少クトモ二倍、三倍近クニナル譯テアリマスノデ、「アルコール」工場ニ付テモ其ノ資材ヲ軍等モ大イニ優先的ニ考ヘテ、「アルコール」工場モ諸ノ出来ル中心地ニ諸畑ノ眞中ニ捨ヘルヤウニ致シマセヌト、御詔ノヤウニ全ク二十七億ト云フコトニナリマスト、一府縣一億萬貫以上ヲ生産スル所ノ縣ガ相當數多クツナテ來ルノデアリマシテ、一億萬貫ノ生諸、之ヲ一月或ハ二月ノ間ニ處理スルト云フコトハ、是ハ中々大變ナヨトデアリマシテ、處理加工ニハ十分一ツ氣ヲ配リマシテ、折角農家ガ營々トシテ生産シタ生諸ヲ、假ニモ腐敗ヲサセルト云フコトノ絶對ニナイヤウニ考ヘテ參ル積リアリマス

スルニ對スルコトノ最モ重要ナ點デ農政局ニ關スル點ヲ二、三點伺ツテ見タイ、斯ウ思フノデアリマス、第一ハ勞力ノ問題、其ノ次ハ肥料ノ獲得、斯ウ云フ問題デアリマスガ、是ハ同僚諸君カラモ勞力關係ハ色々々角度カラ御質問ガアリマンシテ、又農商大臣カラモ御答ヘニナツテ、此ノ問題ハ民間ノ方デモ大變關心ヲ持ツテ居リマシテ協力スルコトニナツテ居ル、或ハ學徒ノ應接トカ、或ハ農兵隊ノ協力、色々ナコトニ御答辯ガアツタノデアリマス、私ノ申上ゲルノハ畜力ノ關係デアリマスガ、利用ヲ有效ナラシメント云フコトハ、勞力ノ補ヒニ最モ必要ダ、斯ウ考ヘテ居ル、所ガ此ノ問題モ同僚カラ畜力關係ヲ御質問ガアリマシタガ、其ノ關係ハ唯數量ノ關係、牛ヲ何頭貸付ケルトカ、或ハ馬ヲ何頭貸付ケルト云フコトノ解決ノ方ニ質疑應答ガアツタノデアリマス、私ハモット之ヲ掘下ゲテ、此ノ畜力ノ利用ト云フコトハ、決シテ數ヲ無畜農家ニ貸付ケタカラト云ツテ、是ハ解決シ得ラレルモノデハナイ、此ノ畜力ノ活用ニ付テ先刻ハ朝鮮牛ノ問題モ出、和牛ノ問題モ出マシタ、又馬ノ問題モ出マシタガ、是ハ朝鮮牛ガ宜イトカ惡イトカ云フ問題ハ其ノ所ニ依ツテ決マルノデアリマシテ、小農家ニ對シテハ、殊ニ女子供ハカリ残ツタ所デハ、是ハ朝鮮牛ハ自由自在ニ操縦シ得ラレルカラ朝鮮牛ヲ歡迎スル、所ガ能率ノ點カラ行ケバコンナ能率ノ上ランイモノハアリハシナイ、和牛ノ方ガ宜イノデス、之ヲ相當馴致訓練スルト、是レ位能率ノ良不良モノハナイ、モウ一步進ンデ馬ハ速度モ遅イシ耕作能力モ上ルシ、是レ位宜イモノハナイ、是ハヤハリ耕作スル面積トカ、或ハ地域ト

カ、或ハ共同作業トカ云フコトニ依ツテ各々分レルト思フノデアリマス、ソレガ何ニ致シマシテモ馬ノヤウナ最モ大切ナ耕作ニ適當ナモノデモ、耕作訓練ノ馴致ガウマク行ツテ居ラヌト、是ハ馬位駄目ナモノハナイ、瘤ガ強イ爲ニ、或ハ自動車ヲ見ルト跳ネ廻リ、汽車ガ來タド云ツテ飛出スト云フヤウナ馬デアツテハドウニモナラヌノデ、ヤハリ牛馬共ニソレヽ是等ヲ農耕ニ適スルヤウニ、今銃後ノ方ニハ老幼婦女子ノミンカ殘ツテ居ラヌ、隨テ其ノ人達ニ依ヅテ自由ニ操縦シ得ラレルヤウニ家畜ヲシテ訓練スルト云フコトガ、一番大事ナ問題ダト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、政府ノ方テモ此ノ問題ハヤルニハヤツテ居リマスケレドモ、是ハ餘リニ小規模デ、本年ノ耕作ノ勞力ノ補セノ使命トシテハ、本當ニ小サナ問題デアリマスカラ、之ヲ大キナ部圓デ擴大ラシテ、統制ヲ執ツテ之ヲ指導スルト云フコトニ努メルコトハ、最モ手取早イ所ノ努力ノ解決問題デハナイカト私ハ思フノデアリマス、今年ハサウ云フ風ナ計畫ニ對シテ、ドレ位ノ幅ニ其ノ計畫ヲ立テ居ラレルカト云フコトヲ伺ヒタイ、是ハ特ニ馬ノ點ハ馬政局トモ關聯ガアリマスルケレドモ、馬ヲ能ク指導スルノニ素人ヲ集メテ、弱イヤウナ馬ヲ引張ツテ來テ、指導スルト言ツテ女子供ヲ集メテヤツテモ、アナコトデハ駄目ダ、馬ヲ取扱フ者ハ、家畜商ノ如キ日本ニハ一萬人モアリ、其ノ配下ニ子分ガ五人アルトスレバ五萬人ニナル、彼等ハ利潤ヲ漁ツテ生活ヨシテ居ルノダガ、ソンナコトヲサセヌデモ、彼等コソニニ多少ノ指導ヲ加ヘルト、農耕馬ノ訓練ヲ最モ發達サセ易イ能力ヲ持ツテ居ルノデアリマスカ

ラ、彼等ヲ指導シテ馴致訓練ヲサセルナラバ、立派ナ農耕馬ガ澤山現ハレルゾデアリマス、ソレデヤハリアナタノ方面ト關聯ヲシテ居ルノデアリマスカラ、アナタニ御尋ネスルノデアリマスガ、政務次官モ能ク聽イテ戴キタインデス、一體馬ノ制度ト云フモノハ詰ラヌコトヲヤツテ居ルノデス、元ト同ジコトヲヤツテ居ル、價格ヲ定メルニモ三歳馬ハ幾ラ、二歳馬ハ幾ラ、四歳馬ハ幾ラト云フヤウニ公定價格ヲ付ケテ居ル、コンナ年齢ニ依ル必要ガアルヤウナ今日ノ状態デハ、ナイ、ヤハリ馬ハ人ト同ジク、熟練者ガ高ク初心者ガ安イヤウニ、ヤハリ輓馬デアレバ輓刃ノ強イモノ、駄馬デアレバ駄載力アルモノ、或ハ又耕馬デアレバ農耕ニ對シテ訓練馴致兼エ備ハレルモノ、ソレハノ能力ニ依ツテ其ノ價格ヲ認メテヤラナケレバナラヌ、ソレガ體形ダトカ、骨ハ、増産ニ對シテ非常ニ大キナ影響ガアル、ソレヲ家畜ナルモノハ自分ノ付ケテ公算スルヤウナ、コンナ昔ノ儘ノコトヲ改革シナイデ置クト云フコトハ、増産ニ對シテ非常ニ大キナ影響ガ太イトカ、昔ノヤウナ恰好デ價格ヲ利潤ト國家ノ目的トガ合致シテ、此ノ五萬人ノ者ガ活躍スルコトニナレバ、全部ノ馬ガ或ハ農耕ニ、或ハ輓曳ニ、或ハ駄載ニ非常ニ能率化サレテ、是方使役スル者ニ直接手渡シスルヤウナ制度ニナリマスレバ、ドンナニカ小運搬ト去ヒ、農耕作ト云ヒ、非常ニ發達スルダラウト思フノデアリマス、ソレヲ唯馬商ヲ警察ノ取締ノ對象ミタニシテ、方デ彼等ヲ認可シテ居ル制度ト相反スル行爲ダト思ブノデアリマス、斯ウ云

フ風ニシテ捨テテ置ケ所ニ改革スペキ
非常ニ大キナ隘路ガアルト思フノデア
リマス、是ガ即チ勞力ヲ解決スル大キ
ナ部門ダト思フノデアリマス、馬ガ其
ノ先手ヲ打ツテ先立ツタトスルト、牛
ノ訓練モ之ニ伴ツテ具ハル、是等ヲ配
給スルト云フノナラバ、唯無畜農家ニ
配給スル、配給スルト云フヨリ、其ノ
訓練シタモノ、直グサ々使ヘルモノヲ
配給スルコトノ方ガ非常ニ能率化スル
ノデアリマスカラ、此ノ點ニ重點ヲ置
イテ御研究ナサルベキダト私ハ考ヘテ
居ルノデアリマス、之ニ對スル御意見
ヲ伺ヒタイ。

隊ノヤウナ工合ニ訓練シタモノヲ更ニ
機動的ニ動カシテ行クト云フコトハ、
非常ニ必要ダト思フノデアリマシテ、
之ニ馬ナリ牛ナリガ一緒ニナツテ、人
馬一體ニナツテ、是ガ旨ク動クト云フ
コトヲ考へテ行カナケレバナラヌト思
フノデアリマシテ、此ノ方面ニ關スル
訓練モ必要デアリマス、其ノ訓練ニ
伴ツテ尙ホ機動的ニ動クヤウニ、場合
ニ依ツテハ農兵隊ノ中ニ畜力部隊ト云
フヤウナモノヲ設ケテ、家畜ヲ能ク訓
練出来ル者ガ家畜ト一體トナツテ、特
攻隊的ニ動クト云フコトモ考へテ行カ
ナケレバナラヌト思ツテ居リマス、又
馬政調査會等ニ於テ、馬ノ規格其ノ他
ノコトニ付テハ一部改正ハ行ハレマシ
タケレドモ、斯様ナ時期ニ於キマシテ
ハ、農村ノ實際勞力對策ニ役立ツヤウ
ナ馬ヲ獎勵シテ行カナケレバナリマセ
ス、其ノ獎勵シタ馬ヲ訓練ラシ、機動
的ニ動クヤウニト云フコトニ付テハ、
經費ノ點ニ付テモ考ヘテ、一ツ機動的
ニ畜力ガ本當ニ農村ノ勞力對策ニ役立
ツヤウニト云フコトヲ考へタイト思ヒ
マス

云フコトノ調査ニ依ル無畜農家デアリ
マセウカ、全然初メカラナイモノト云
フ、サウ云フ區分ヲ末端マデ御調査ヲ
ナサレテ居ルノデアリマスカ、唯漫然
ト無畜農家ニ家畜ヲ持タセルト云クテ
モ、豚ヤ兔ナラバ兎モ角、牛馬ニ至ツ
テハ中々厩舎ノ設備資材ヲ要シマシテ、
假令獲得致シマシテモ、飼養管理不備
ノ爲ニ非常ニ危険率ガ多イノデアリマ
ス、現ニ死亡率モ相當アルト思フノデ
アリマス、又無畜農家ト云フコトガ實
際ノ無畜農家ニ行カズシテ、有畜農家
ニ配給サレテ居ルト云フ現状モアル
ノデアリマス、サウ云フ末端ノ御調査
ガ出来テ居ルカドウカ、簡卓ニ御回ヒ
致シマス

農家ニ家畜ニ對スル理解ヲ十分持タセテ、サウシテ飼料ナリ其ノ地方ノ事情ニ合フヤウニシテ家畜ヲヤリマセスト、折角配付シタ所デ之ヲ殺シテシマツタリ、或又賣ツテシマツタリ、色々コトニナルト思フノデアリマシテ、畜産獎勵ノ爲ニ農家ニ家畜ヲ配付スルト云フコトニ付テハ、御話ノヤウナ點モ十分考ヘマシテ、其ノ地方々々ニ落著クヤウニ考ヘテ、其ノ落著キ得ル所方ラ先ヅ優先的ニヤツテ行キタイ、斯ワ云フ風ニ考ヘテ皆リマス。

○小笠原（久）委員 其ノ點十分御注意ナサツテ戴キタイト思ヒマス、次ハ堆肥ノ獲得デアリマス、是ハ今日ノ増産ニ最モ大切ナ問題デアリマス、然ルニ此ノ堆肥ノ方ハ農政局ノ方デ獎勵ヲナサレテ居ツテ獎勵金ヲ出す、其ノ獎勵金ノ出シ方ヲ見マスルト、單ニ三千貫以上トカ云フヤウナ數量ニ依ツテ、ソレ以上ノモノニ獎勵スルヤウナ制度ヲ設アテ居ツテ、堆肥ヲ確保スル、保存スル、堆積シテ置ク、即チ肥料分ノ發散ヲ防止スルヤウナ制度ニ對シテハ何等獎勵ヲシテ居ラヌ、隨テ獎勵金ヲ貰ヒタイ爲ニ、折角是マデハ發散防止ノ爲ニ簡車ナ屋根ヲ掛け、或ハ色々ナ方法ヲ執ルト云フコトデ、ヤハリソレヲ防止スレバスル程目方ハ不足ニナル代リニ、ソレハ有效ナ肥料デアルガ、ソレト相反スルヤウナ獎勵ノ仕方ニ依ツテ、ヤハリ第一線ノ方ノ役人モ困ツテ居ルヤウナ事態モアルノデアリマス、此ノ問題ハ特ニ政府ノ畜產關係ノ方ノ部門デ、金肥ガナイ爲ニ相當ニ研究ヲ致シマシテ、サウンシテ此ノ有效肥料ノ保存ト云フコトニハ相當ナ経験ガアル筈タカラ、

ウ云フモノヲ死滅シテ置カナイデ、ソレヲ能ク農家ノ方ニ徹底セシメルヤウニ普及宣傳ヲ致シマシテ、其ノ方圓ニ向ツテ獎勵スルト云フコトニシタナラバ、一層效果的ダト私ハ思フノデアリマス、此ノ堆肥ノ問題ニ對シテハ、ヤハリ保存スルニハ堆積ノ量バカリデハナク、尿ト糞ト區別スル所ノ尿溜メト云フモノヲ粘土デ捲ヘルトカ、或ハ堆積シタ下ヲ今ハ「セメント」ガナイカラ粘土デ補給シテヤルトカ、色々ナ有效ナ利用ノ仕方ガ澤山アルト思フ、殊ニ昨今デハ尿ナサンカラ容レルノヲ單ニ木製デ作ツテ、ソレ等ノ方法ヲ非常ニ有效ニ使ツテ居ル所モアルノデアリマシテ、色々アルト思ヒマス、サウ云フ方面ノ實際ノ進歩シタ肥料ノ利用ト云フモノニ對シテ、報奨ノ方針ガ失ハレテ居ルト思ヒマスガ、今年ハ何カ之ニ對シテ特ニ研究ノ持合セデモアルノデアリマスカ、伺ヒマス

シタ場合ニハ、モウ全體周圍ノモノガ
云フコトガ往々アルノデアリマス、米
ノ問題デハ特ニサウ云フ感ヲ深ク致スノ
デアリマス、ソヨデ之ヲドウシタラ宜イ
カト云フト、此ノ報奨制度ヲ特ニ改メ
テ、耕作反別ニ比例シテ大キク耕作ス
ルモノニ對シテハ、特ニ農家ノ必需物
資ノ品物ヲヤル報奨制度ヲ設ケテ、或
ハ「ゴム」長ニアツテモ、地下足袋デア
ツテモ、或ハ「縫絲」デアツテモ、色々ナ資
材ガ不足デアリマセウガ、特ニサウ云
フ風ナモノヲ此ノ不足ノ中カラズ、そ幾
分ナリトモ補給スルヤウニスルト、相
當離農防止モ出來ルシ、又農民モヤンデ
定著スルト思フノデアリマス、單ニ財
政問題バカリデナク、サウ云フ物ノ獲
得ニモ非常ナ困難ヲ來シ、色々勞力闘
係ヤ其ノ他ニ對シテモ、非常ナ困難ヲ
來シテ居ルコトハ、凡ユル方面カラ質
疑ガアツタコトヲ綜合シテ御考ヘニナ
シテモ分ルコトデアリマス、ソヨデ同
ジ報奨ヲ致シマスニモ、耕作反別ノ多
イモノニハヤハリソレニ比例シテ、物
資ヲ以テ獎勵スルト云フコトノ御考ハ
アリマセヌカ、其ノ點ヲ伺ツテ置キマ
ス

シテ、本當ニ農村ノ中心ニナツテ餘計供出ヲシ、餘計働イテ居ル農家ニ十分行クヤウニ致シ、又物資ヲ以テ報奨スルト云フコトハ、全面的ニハ中々困難ダト思ヒマスガ、物資ノ出來ル限リハ左様ナ方策モ加味シテ參リタイト考ヘテ居リマス。

○小笠原(八)委員 是デ農政局ノ方ハ終リマス。

○高橋委員 今專賣局長官ガ見エラレマシタカラ、鹽ノコトデ御質問願ヒマス——吉田君

○吉田(賢)委員 鹽ガ全國民ノ非常ニ重要ナ食料デアルコトハ、今更申上ゲルマデモナインノデアリマス、北支方面カラ來ルベキ鹽ノ問題ニ付テハ、最近ノ戰局ノ關係テ輸送等ノコトモアツテ國民ハ相當心配シテ居リマス、一方自家用ノ製鹽ニ付テハ、生産ノ指導獎勵等ガ大分行ハレテ居ヤウデアリマス、彼此レ鹽ニ付キマシテ非常ニ全國民ハ深イ關心ヲ持ツテ居リマスガ、就キマシテハ最近若シクハ本年ノ鹽ノ供給計畫、其ノ見透シ、特ニ支那方面ヨリ入ツテ來ルモノニ對スル輸入ノ見透シトカ色々ナ御計畫、自家用製鹽ニ付キマシテノ成績ノ狀況、若シ陸路カアルトスルナラバソレニ對スル對策、斯ウ云フモノノ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス。

○濱田(政府委員) 只今鹽ノ事情ニ付キマシテノ御質問ニ對シテ御答へ申シタ伊ト思フノデアリマスガ、鹽ノ需給ノ事情ニ付キマシテ極ク具體的ナ計數ニ依リマシテ御説明ヲ申上ゲルコトハ、實ハ國ノ機密ニ關スルコトモアリマシテ、只今私カラ全部ヲ曝ケ出シテ申

上ゲル自由ヲ持ツテ居リマセヌガ、成ベク事情ガ御諒解ヲ戴ケルコトが出来マスヤウニ御話申上ゲタイト思フノデアリマス、大體只今御質問ニアリマシタノハ所謂食料鹽ニ關聯シタコトが主デナイカト思ヒマスノデ、左様ナ方面ニ付キマシテ御答辯申シタトイ思ヒマス、内地ノ鹽ノ需要ノ大勢ニ付キマシテハ既ニ御承知ノコトト思ヒマスルガ、近時人口ノ増加其ノ他ノ事情ニ依リマシテ、段々其ノ量モ殖エテ參ツテ居ルノデアリマスガ、内地ニ於ケル鹽ノ生産量ト云ヒマスノハ、其ノ需要量ノ大體四割程度シカ出来テ居ナインデアリマス、大半ハ滿洲、支那、關東州、臺灣方面カラノ輸入トカ、或ハ移入ト私共申シテ居リマスルガ、サウ云フ方面ノ鹽ニ供給ヲ仰イデ居ルヤウナ事情デアリマス、只今御話ガアリマシタヤウニ最近輸送事情ガ相當逼迫シテ參リマシテ、外地カラノ或ハ外國カラノ鹽ノ輸入ト云アモノモ必ズシモ計畫通りニ樂ニハ出來テ居ナインデアリマス、昭和十九年度ニ於キマシテモ、當初ノ食料鹽ト致シマシテ支那、滿洲、關東州、臺灣方面カラ輸移入スル計畫ヲ立て居リマシタ數量ノ或ル程度ノ減少ヲ實際上來シテ居リマスルコトハ、我我ト致シマシテモ非常ニ遺憾ニ存ジテ居ルノデアリマスルガ、全體ノ船腹ノ事情上、洵ニ已ムヲ得ナイ事情モアルヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス、内地ニ於ケル最近ノ生産ト申シマスルト、昨年ノ生産ノコトニ大體ナリマスルガ、去年ノ夏頃マデハ比較的天候ガ製鹽ノ方面カラ見マスルト宣シカツタノデアリマスガ、秋カラ冬ニ掛ケマシテ又宜シクナイヤウナ事情モアリマシテ、内地ノ生産モ理想通りニハ伸ビナカツタ

ノデアリマス、サウ云フヤウナ事情デシテハ凡ユル手段ヲ講ジマシテ、是ガシテノマルト、稍、窮屈ナ事情ニハ相成ツテ居リマスルガ、私共事務當局ト致シマスルノデアリマス、目下ノ所幸ヒニシテ内地ノ食料鹽ニ付キマシテハ、差追ツテ餘程之ヲ規正スルトカ、或ハ其ノ他供給ノ確保ヲ圖ルコトニ努力致シテ居ルノデアリマス、只今御質問ノ中ニモモ差追ツテ居ナイト私共存ジテ居ルノデアリマシタ、大體食料鹽ノ供給ハ、現在ノ所必要ナモノハ確保ガ出来テ居ルノデアリマス、只今御質問ノ中ニモアリマシタガ、一面自家用ノ鹽ヲ獎勵スルト云フコト、是ハ御説ノ通りニ從來專賣當局ト致シマシテモ、相當ノ努力ヲ拂ツテ參リマシタ、所ガ遺憾ナガラ現在ノ所、尙ホ自家用ノ鹽ト云フモノハ理想通りニハ生產ガ出來テ居リマセヌ、大體ノ情勢ヲ申シマスルト、現在國內デ自家用ノ鹽ヲ造ツテ居リマスルノハ、件數ニ致シマシテ三、四百件位ノ程度デアルト思フノデス、サウシテ其ノ設備ニ依リマシテ、一箇年約五百ト云ノ位ノ鹽ガ取レルヤウナコトニナツテ居ルノデアリマスガ、昨年アタリノ實績ヲ見マスルト、其ノ中ノ何分ノ一位シカマダ出來テナイト云フヤウナ實情デアリマシテ、鹽全體ノ需給力ヲ見テ、自家用鹽ノ生產ト云フモノハ、ヤハリ九牛ノ一毛ト云フヤウナ實情ニアリマスノデ、我々ト致シマシテハ是ガ普及ニ付キマシテハ、相場ノ努力ヲ拂ヒタイト思ヒマス、昨年カラ自家用ノ製鹽ヲ致シマシタ者ニ對シマシテハ、其ノ設備費ノ大體半額程度ノモノハ専賣局カラ助成金ヲ交付スルト云フヤウナ方法モ講ジテ居ルノデアリマス、今

後ノ見透シニ付キマシテハ、勿論是ハ
戰局ニ及ボス影響ト云フモノガ相當大
キナモノデアリマスノデ、我々ハ十分
サウ云フ點ニモ留意ヲ致シマシテ、鹽
ノ供給確保ト云フコトニハ努力致シタ
イト思ツテ居リマス、今申シマシタ自
家用ノ製鹽ニ付キマシテモ、今後思ヒ
切ツタ方法ヲ講ジマシテ、是ガ普及ヲ
圖リタイト思フノデアリマスガ、現在
自家用ノ製鹽ト云フモノガ、必ズシモ
理想的ニ普及シテナイ其ノ事情等色々
考へテ見マスト、一ソハ鹽ノ値段ノ問題
題ニ關係ガアルノデハナイカト思フノ
デアリマス、現在專賣局ニ付ケ居リ
マス鹽ノ値段ト云フモノハ相當割安デ
アリマシテ、現ニ專賣局ニ於キマシテ
ハ鹽專賣ノ收支ノ上ニ於テ、本年度ニ
於キマシテハ約二億圓以上ノ赤字ヲ出
セヤウナコトニナシテ居リマス、結局
内地ノ鹽ニ付テ申シマシテモ「百キロ」
當リ十二、三圓程度デ收納致シマス鹽
ヲ、政府ハ五圓以下下拂下ゲテ居ルノデ
アリマス、結局内地ニ於ケル鹽價ト云
フモノガ比較的安い、安イノニワザノ
自家用鹽ヲ相當ノ勞力ヲ使ツテ之ヲ造
ルト云フ人ガ案外少ナ、一面又鹽ノ配
給ト居フ點カラ見マシテモ、或ル程度
窮屈デアリマスガ、マア何トカシテ今
ノ配給量デ大體ヤツテ行ケルト云フヤ
ウナ事情モアリマシテ、旁、自家用鹽
ノ製造ト云フモノヲ、餘り廣イ範圍デ
澤山ヤラナイト云フヤウナ事情ガアル
ノデハナイカト思フノデアリマス、自
家用ノ製鹽ヲ普及スルト云フ觀點カラ
見マシテモ、今後鹽ノ値段ニ付キマシ
テハ相當考慮ヲ拂フ必要ガアルノデハ
ナイカト云フコトヲ考ヘテ居リマス、
又内地ノ製鹽全體カラ見マシテモ、現
在ノヤウナ資材ノ點、或ハ燃料其ノ他

輸送關係等色々々な隘路ニブツカツテ居ルノデアリマスルガ、今後我々致シマシテハ、極力内地ノ現在ノ鹽田ヲ活用シマシテ其ノ生産力ヲ上げテ行ク、ソレニハ労務ノ確保モ必要ダト思ヒマス、資材ノ點ニモ餘程注意セヌトイタ事ナスト思フノデアリマス、昭和二十年ニ於キマシテハ、私共ハ最近ノ内地ニ於ケル鹽ノ生産高ノ大體五割増位ノ増産ヲ是非共實行政シタイト思ヒマシテ、ソレドモ今計畫モ進メテ居ルノデアリマス、勿論鹽ノ生産ノ方ハ天候ニ左右レルコトガ非常ニ多イノデアリマスガ、斯ウ云フヤウナ時局下私共ト致シマシテハ、所謂人力ヲ盡シマシテ鹽ノ生産ノ確保輸入ノ確保以テ内地ニ於ケル食糧鹽ノ供給ニ付キマシテハ、國民ニ聊カモ御迷惑ハ掛ケナイヤウニ致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス、大體ノ情勢ハ以上デアリマス

○吉田(醫)委員 只今ノ内地ノ二十年度生産ガ昨年ノ五割増シ位ト云ヒマスト、結局内地需要ノ六割生産、斯ウ云フ見込ニナル譯デスネ

○濱田政府委員 大體サウ云フ事情デアリマス

○吉田(醫)委員 鹽ハ工業原料トシテモ絶対ナ重要性ノアルノミナラズ、又食糧ト致シマシテモ全ク大切モノデアリマス、從來ノ配給デ大體ヤツテ行ケルダラウト云フヤウナ御見透シデゴザイマスガ、昨日來本委員會ノ席上デ、農村ニ於ケル鹽不足ノ悲鳴ノ上ツタ悲慘ナ狀況ノ話ガ出テ居ル次第アリマシテ、單り農村ノミナラズ一般ノ消費國民ト致シマシテモ、鹽ガ少クテアタラ大根其ノ他ノ蔬菜ヲ腐ラシテシマフト云フヤウナ實情ニアル譯デアリマス、又一般食糧ノ全體的ナ自給態勢確立ノ

爲ノ水產ノ加工ノ爲ニ、組合大量ニ今
譯デアリマス、彼此レ致シマスト、從
來ノ需要ニ比較シテ將來ハ需要激増ト
理由モ見付カル次第デゴザイマス、サ
ウ云々際デアリマスノデ、海外カラノ
輸入ニ付キマシテバ、作戦ノ關係デ中
中思フヤウニ行カナイコトハ存ジテ居
リマスケレドモ、配船等ノ手配ニ付キマ
シテモ、食糧ノ國家計畫ノ觀點カラ、
特別ニ御努力アツテ然ルベキデナイカ
ト思フノデアリマスガ、如何デスカ
○濱田政府委員鹽ノ絕對量ノ確保ニ
付キマシテ、只今御説ガアリマシタ、
私共モ全然御同感ニ存ジテ居リマシテ、
及バズナガラサウ云々方面ニハ全力ヲ
注イデ努メテ居リマスケレドモ、只今
御示シノアリマシタ通りニマダ十分デ
ナイ點モ事實多々アリマス、恐縮ニ存
ジテ居ルノデアリマスガ、今後戰況ノ
如何ニ拘ラズ、海外カラノ鹽ノ輸入ニ
付キマシテハ、絶對ノ必要量ハ飽くな
デモ之ヲ確保スル、是ハ既ニ配船計畫
ノ上カラ言ヒマシテモ、サウ云々趣旨
デ現在ヤツテ居ルノデアリマス、今
後事情ガ逼迫スレバスル程、鹽ノ輸入
ノ確保ニ對スル配船ニ付キマシテハ重
要視スベキモノデアルト思ヒマシテ一
是ハ申スマデモナヨトデアリマスガ、
單ニ專賣當局ダケデナク、各省關係方
面ソレバ、協力致シマシテ、今サウ云
フ仕事ヲ進メテ居ルノデアリマス、鹽
ノ利用ノ點カラ言ヒマシテ、例ヘバ漬
物用トカ、其ノ他漁獲物ノ鹽藏用トカ
云々方面ニ斯ウ云々付キマシテモ、
實ハ是ハ農商省當局ニ寧ロ積極的ニ御
指導下サルコトト思フノデアリマスガ、
鹽ニ關係シテ居リマスル我々專賣當局
ノ者ト致シマシテモ、是ノ效率化ト云

フコトニ付キマシテハ色々研究シテ居リマス、現ニ鹽藏用ノ鹽ニ付キマシテモ、相當節約致シマシテ、而モ效率的ニ比較的良イ鹽藏物ヲ作ルヤウナ技術的ナ研究モ既ニ行ヒマシテ、今後斯ウ云フ方面ニ付テノ普及モ圖リタイト思ツテ居リマス、其ノ他御承知ノヤウニ、單ニ鹽ノ形デ使フノデナクテ、海水ヲ濃縮致シマシテ、所謂鹹水ノ状態デ醤油トカ遺物ナドヨ作ルノニ使ツテ行クト云フ方面ニ付キマシテモ、今後餘程積極的ニ是ガ普及ヲ圖ツテ見タイト思ツテ、現ニ從來鹹水デ遺物トカ、或ハ今申シマシタ醤油ナソカラ作ツテ居ル例モ多々アルノデゴザイマス、斯ウ云フ方面ニモ努メタイ、兎ニ角日本ノヤウニ所謂四面環海ノ國デアリマシテ、而モ斯ウ云フ戰時下ニ鹽ニ困ルト云フコトニナリマスルコトハ、寧ロ我々ト致シマシテモ不思議ナ位ナ感ジョ持ツノデアリマスガ、今後凡ニル方面ト協テ居ル、專賣當局ト致シマシテ從來行ツテ居リマス施策ニ尙ホ及バナイ點ガ多々アル結果デアルト慚愧ニ堪ヘナイノデアリマスガ、今後凡ニル方面ト協力致シマシテ、食糧鹽ノ絶對所要量ノ確保ト云フモノニ付キマシテハ邁進シテ行キタイト思フノデアリマス

○高橋委員長 農政局長ニ關スル質問
ニ限リテ加藤君
○加藤(知)委員 私ハ農政局長ニ一職御寧々申上ゲタイト思フノアリマス、其ノ一ツハ本年ハ御承知ノヤウニ裏日本全體ニ非常ニ豪雪ナアリマス、表日本ハ全體ニ晴天續キテ旱魃デアリマス、寄リク此ノ天候ニ基キマシテ、本年ノ作柄如何ト云フヤウナコトニ付テ色々ナ話ヲ聞クノデアリマスガ、殆ド十人ガ十人ナガラ非常ニ悲觀シタ考ヘラ持ツテ居ルノデアリマス、昨年ハ申年デアツテ、申年ニ作ノ良イコトハ殆ドナイト云フヤウナコトヨ申シテ居ルコトシタガ、全國ヲ通ジテ洵ニドウモ遺憾ナ點ガ多カツタ、人口ニ膾炙シテ居ル所必ズシモ迷信的ナコトデアルカト申シマスト、其ノ酉年ガ申年ニ次デ昔カラ餘リ良イコトハナイ、斯様ナコトヨ言ツリヤウニ存ジマスケレドモ、本年ハ酉年デアル、其ノ酉年デアル本年ノ一月以來ノ天候ヲ顧ミマスルト、表日本ニ於キマシテハ晴天續キデアツテ、而モ其ノ寒サガ何十年ニモナイ嚴シイ寒サデアリマシテ、殆ド一月一箇月ト云フモノハ氷ノ張ラヌ日ハナカツタ、私東京へ出マシテ約五十年デアリマスガ、斯様ナ季候ノ現象ニ遭遇シタコトハ全ク私ハ初メテデアリマス、斯様ナ所カラシテ、表日本ハ概シテ本年ノ夏ハ大旱魃ニナリ、裏日本ハ非常ナ冷害ニ襲ハレルト云フヤウナコトヲ

内々話ヲシテ居る人方近頃甚ダ多いノ
デアリマス、私ハ斯様ナコトガ必ズシ
モ當ルモノト思ツテハ居リマセヌ、隨
テ斯カル迷信的ナコトヲ取リ上ゲテ、
一々論議スルニ及バヌデハナイカト、一
應ハ之ヲ考ヘテモ見マシタガ、併シ段々之ヲ聞
ガラ此ノ豪雪——多クノ人ハ雪ガ澤山
降ルト作ガ良イヤウニ考ヘテ居ツテ、
支那ノコトデアソテ、日本ノコトデヤ
ナイト云フ人モアルノデアリマス、兎
ニ角私ノ長イ間ノ體験カラ申シマスト、
テ見ルト、雪ハ豐年ゾ兆ト云フコトハ
豪雪ノ時ニ殆ド作柄ノ良イト云フコト
ヨ知ラナイノデアリマス、最近ニ於ケ
ル豪雪ト冷害トノ關係ヲ考ヘテ見ルト、
多クハ豪雪ノ際ニハ冷害ガ來テ居ル、
デアリマスカラ本年ノ此ノ裏日本ノ豪
雪ト云フモノハ、私ハ決シテ樂觀ヲ許
サヌト思フノデアリマス、故ニ私ハ今
カラ之ニ對スル諸般ノ用意ト準備ヲセ
ナケレバ、必ズヤ後悔スルコトガアリ
ハセヌカト心配ヲシテ居ルノデアリマ
ス、幸ヒニ是ガ杞憂ニ屬スレバ洵ニ結
構デアリマスガ、若シ然ラザルコトニ
ナルトスレバ如何デアリマセウカ、食
糧問題ノヤカマシイ今日ニ於テ、若シ
萬一稻作等ニ於テ十分ノ成績ヲ挙ゲル
コトガ出來ナイト云フヤウナコトニ相
成リマシタナラバ、洵ニ由タシキ大事
ヲ惹起スルト考ヘルノデアリマス、無
論政府ト致シマシテハ我々ガ喧シク申
上ゲル迄モナク、是等ノコトハソレバ、
ノ機關ヲ通ジテ十分御考慮ニナツテ居
天候ノ襲來シタ場合ニ如何ニシテ之ヲ
克服スルカ、自然ノ天候ニ打勝ツコト、
ハ中々容易ノコトデハアリマセヌ、ケ

レドモ人事ノ凡テヲ盡シテ、而シテ後ニ天命ヲ待ツト云フコトデナクテハナシテハ今ヨリ一般農家ヲシテ本年ノ作柄ニ對シ十分用意ノ出來ルダケ、進鑑ノ出來ルダケ之ヲ爲サシムル責任ガアラウトス様ニ考ヘルノデアリマスガ、ソレニハ勞力問題、肥料問題、技術問題ソレカラ品種問題ト云フヤウニ、今カラ色々ト用意ヲシ準備ヲナシムルコトノ外ニ、何等他ニ名案、名策、名法ガアルトハ思ヒマセズ、政府モ亦是等ノ點ニ十分打ツ手ヲ打ツテ居フル、ニ相違ハナイガ、時局ガ時局ダケニ御知ノ如ク勞力ハ、彌ガ上ニモ逼迫スル一方デアルカラ、唯特ム所ハ肥料問題、技術問題、品種問題、斯ウ云フコトニナルト思フノデアリマス、其ノ肥料問題ニ付キマシテハ先刻小笠原委員カラモ御尋ネガアリマシタガ、現在ノ状態ニハ御承知ノヤウニ、化學肥料ハ全ク之ヲ頼ルコトハ出來ナイノデ、勢ヒ自給肥料ト云フコトニナルノデアリマス、其ノ自給肥料中ノ堆肥、之ニ付テ先刻モ御説ガアリマンシタガ、私我ガ縣ノ堆肥ノ現地查察ヲ致シマシテ、アレ程ヤカマシク政府ガ獎勵シ、又府縣ヤ農業團體等ガヤカマンシク申シテ居ルニモ拘ラズ、餘りニモ其ノ不徹底ナノニ驚イタノデアリマス、殆ドナツテ居ラヌト申シテ宜シイ、ヨンナコトデ増産ナドハトンデモナイ話ダト、實ハ痛感大イニ造ラセ之ヲヤラセルヤウニ一段ノ御努力ヲ政府當局ニ切望スルト同時ニ、私ハ早懲トカ、或ハ冷害トカ云フ問題就中堆肥問題ヲ喧シク督勵セラレ、ヤウナモノニ對シテ如何ナル自給肥料

ガ一番宜イカ、斯ウ云フコトヲ一ツ考
ヘテ戴キタイト思フノデアリマスガ、
ソレニハ今日ノ處、堆肥ト同時ニ私ガ
伺ヒシタインデアリマスガ、此ノ堆肥
燃炭肥料ヲ同時ニ獎勵シテ、大ニ之ヲ
ヲ施用セシムルナラバ、或ル程度マデ
ハ冷害ヲ防ギ、或ル程度マデハ旱害ヲ
防グ、斯様ニ私ハ考ヘテ居ルノデアリ
マス、然ルニ農商省ノ此ノ燃炭ニ對ス
ル御考ヘガドウ云フ風ニナツチ居ルカ
知リマセヌガ、動モスルト之ヲ毛嫌ヒヲ
セラレ、敬遠主義ヲ執ツテ居ラレルヤ
ウニ感ズルノデアリマス、幸ヒニシテ
然ラズト仰セラル、ナラバ結構ニアリ
マスケレドモ、若シ不幸ニシテ或ル一
種ノ因ハレタル觀念ノ下ニ毛嫌ヒヲシ
敬遠主義ヲ執ラレ、之ニ力ヲ入レラレ
ヌト云フヤウナコトガアルトスレバ、
國家ノ爲ニ甚ダ宜シクナイコトデアル
ト申サナケレバナラナイ、何トナレバ
其ノ結果本年ノ天候カラ來ル不作ト云
ヤウナコトニ或ル程度マデハ肥料ノ
力ニ依ツテ克服シ得ルモノヲ克服スル
コトガ出來ナイト云フコトニナルト考
ヘルカラデアリマス、此ノ點ニ付テ農
政局長ハ如何ニ御考ヘデアルカ、ソレ
ヲ一ツ御伺ヒシタイト思ヒマス

○西村政府委員 加藤委員ハ非常ニ本
年ノ天候其ノ他ニ付テ悲觀的ナ御考ヘ
左様ニハ考ヘナインデアリマシテ、勿
論表日本ハ雨ガ少ク、裏日本ハ非常ニ
雪ガ多イノデアリマスガ、酉年ハ又勝
取ル年ダト言ツテ、縁起ガ宜イト言フ
人モ澤山アルヤウデアリマス、ソコデ
今年ノ天候ニ付テ、農業關係其ノ他氣

象學者ガ色々懇談致シテ居ルノデアリマスガ、今年ハ非常ニ寒サガ早ク参リマシテ、雪ノ多イ所ハ唯豐年ノ兆ト云フヤウナサウ云フ簡單ナコトデナクシテ、非常ニ寒イ為ニ土壤ノ中ニ於ケル微生物ガ死ニシテ、其ノ點ハ非常ニ宜イ、表日本ニ雨ガ少イコトハ非常ニ凶ルヨドデアリマスケレドモ、一月以来極メテ日照時間ガ多イノデアリマシテ、是ガ爲ニ植物ノ麥等ノ根ハ能ク張ツテ居リマシテ、上ノ方ハサウ伸ビマセヌケレドモ、農家ガ追肥ヲヤツタリ、又灌水シタリ、色々勞力ノ少イ時テアリマスケレドモ、肥料管理ニ非常ニ力ヲ注イデ居リマスノデ、ソレ等ノ努力ニ依ツテ雨ノ少イコトモ或ル程度防ぎ得ルト思フノデアリマス、又裏日本ニ雪ノ非常ニ多イコトハ、麥ノ腐敗其ノ他ノコトモ懸念サレマスケレドモ、是ハドウモ雪ヲ少クスル譯ニモ行カヌノデアリマシテ、雪解ケノ頃ニ大イニ雪解ケヲ促進スルナリ、又雪解ケ水ヲ「ボンブ」其ノ他テ排水スルト云フコトニ、ニアリマス、勿論大候ノ關係ハ今俄カニ豫斷ヲ許シマセヌケレドモ、私共肥培管理其ノ他色々ナ方面ニ萬難ヲ排シテ一生懸命ヤツテ行キタイト思フノデアリマシテ、必ズシモ樂觀ハシテ居リマセヌケレドモ、サウ悲觀モシテ居ラヌノデアリマス、尙ホ最後ニ御述ベニアリマシタ焼土燃炭ノ問題ニ付キマシテハ、是ハ農林省モ採用ヲシテ居リマシテ、能ク地方ノ事情ニ應ジテ獎勵ヲ同ヒマンテ大イニ意ヲ強ウスルゾデアリマス、ドウカ農政局長ノ仰シャル

○加藤知義員 只今農政局長ノ御話ス、日本ニ雨ガ少イコトハ非常ニ凶ルヨドデアリマスケレドモ、一月以来極メテ日照時間ガ多イノデアリマシテ、其ノ點ハ非常ニ宜イ、表日本ニ雨ガ少イコトハ非常ニ凶ルヨドデアリマスケレドモ、一月以来極メテ日照時間ガ多イノデアリマシテ、是ガ爲ニ植物ノ麥等ノ根ハ能ク張ツテ居リマシテ、上ノ方ハサウ伸ビマセヌケレドモ、農家ガ追肥ヲヤツタリ、又灌水シタリ、色々勞力ノ少イ時テアリマスケレドモ、肥料管理ニ非常ニ力ヲ注イデ居リマスノデ、ソレ等ノ努力ニ依ツテ雨ノ少イコトモ或ル程度防ぎ得ルト思フノデアリマス、又裏日本ニ雪ノ非常ニ多イコトハ、麥ノ腐敗其ノ他ノコトモ懸念サレマスケレドモ、是ハドウモ雪ヲ少クスル譯ニモ行カヌノデアリマシテ、雪解ケノ頃ニ大イニ雪解ケヲ促進スルナリ、又雪解ケ水ヲ「ボンブ」其ノ他テ排水スルト云フコトニ、ニアリマス、勿論大候ノ關係ハ今俄カニ豫斷ヲ許シマセヌケレドモ、私共肥培管理其ノ他色々ナ方面ニ萬難ヲ排シテ一生懸命ヤツテ行キタイト思フノデアリマシテ、必ズシモ樂觀ハシテ居リマセヌケレドモ、サウ悲觀モシテ居ラヌノデアリマス、尙ホ最後ニ御述ベニアリマシタ焼土燃炭ノ問題ニ付キマシテハ、是ハ農林省モ採用ヲシテ居リマシテ、能ク地方ノ事情ニ應ジテ獎勵ヲ同ヒマンテ大イニ意ヲ強ウスルゾデアリマス、ドウカ農政局長ノ仰シャル

○高橋委員長 木村君
○不村(實)委員 薩摩ノ問題デアリマスケレドモ、私共肥培管理其ノ他色々ナ方面ニ萬難ヲ排シテ一生懸命ヤツテ行キタイト思フノデアリマシテ、必ズシモ樂觀ハシテ居リマセヌケレドモ、サウ悲觀モシテ居ラヌノデアリマス、尙ホ最後ニ御述ベニアリマシタ焼土燃炭ノ問題ニ付キマシテハ、是ハ農林省モ採用ヲシテ居リマシテ、能ク地方ノ事情ニ應ジテ獎勵ヲ同ヒマンテ大イニ意ヲ強ウスルゾデアリマス、ドウカ農政局長ノ仰シャル

○西村政府委員 種諸ノ問題ニ付テ、促進スルナリ、又雪解ケ水ヲ「ボンブ」其ノ他テ排水スルト云フコトニ、ニアリマス、勿論大候ノ關係ハ今俄カニ豫斷ヲ許シマセヌケレドモ、私共肥培管理其ノ他色々ナ方面ニ萬難ヲ排シテ一生懸命ヤツテ行キタイト思フノデアリマシテ、必ズシモ樂觀ハシテ居リマセヌケレドモ、サウ悲觀モシテ居ラヌノデアリマス、尙ホ最後ニ御述ベニアリマシタ焼土燃炭ノ問題ニ付キマシテハ、是ハ農林省モ採用ヲシテ居リマシテ、能ク地方ノ事情ニ應ジテ獎勵ヲ同ヒマンテ大イニ意ヲ強ウスルゾデアリマス、ドウカ農政局長ノ仰シャル

○高橋委員長 木村君
○西村政府委員 種諸ノ問題ニ付テ、促進スルナリ、又雪解ケ水ヲ「ボンブ」其ノ他テ排水スルト云フコトニ、ニアリマス、勿論大候ノ關係ハ今俄カニ豫斷ヲ許シマセヌケレドモ、私共肥培管理其ノ他色々ナ方面ニ萬難ヲ排シテ一生懸命ヤツテ行キタイト思フノデアリマシテ、必ズシモ樂觀ハシテ居リマセヌケレドモ、サウ悲觀モシテ居ラヌノデアリマス、尙ホ最後ニ御述ベニアリマシタ焼土燃炭ノ問題ニ付キマシテハ、是ハ農林省モ採用ヲシテ居リマシテ、能ク地方ノ事情ニ應ジテ獎勵ヲ同ヒマンテ大イニ意ヲ強ウスルゾデアリマス、ドウカ農政局長ノ仰シャル

○木村(實)委員 其ノ場合現在農家ガ食糧トシテ持シテ居リマスモノヲ種諸

トスル場合ガ多イト思ヒマスカラ、米

デ代替ヲスルトカ、或ハ價給ノ非常措

置地上げテ貰ハナケレバナラヌト思ヒ

ゴザイマス、ソヨデ私ハ此ノ豪雪地方ニ對シマシテハ、今日ノ所ドウシテモ

ヤハリ消雪ヲ早クヤラセルヨリ外ニナ

イト云フコトデ、先年來北信六縣ノ雪害對策委員會デ、此ノ消雪ニ付テ元ノ農林省今ノ農業省ニ對シテ陳情致シテ居ルノデアリマスガ、幸ニ御當局ノ御了解ヲ得テ大ニヤレ、助成金ハドンドン出スト云フヤウナ御言葉戴キ、我々ハ非常ニ之ヲ有難ク御受ケシテ、大ニ獎勵シタノデアリマス、所ガ其ノ助成金ガ何時マデ經ツテモ來ナイト云フヤウナコトデ、大分方々カラ苦情ヤ非難ヲ受ケ、實ハ大ニ閉口致シタノデアリマス、ドウカ一ツ本年モウント助成資ヲ御出し下スツテ、同時ニ直チニ助成金ヲ御交付下サルヤウニ御願ヒ故シテ置キマス

○西村政府委員 種諸ノ問題ニ付テ、農家ガ自分ノ食糧トシテ取ツタモノモ

ラドウカ、ソレニ對シテ全農家ニ坪刈ノ助成資ヲ御出し下スツテ、當時ニ直

ト思ヒマスガ、ソレニ對シマシテノ御意見ト、今一つハ陸稻ノ轉換カラ來ル

リヲサセルヤウナ方法ヲ執ツタ方ガ非

ト助成資ヲ御出シ下スツテ、當時ニ直

ト思ヒマスガ、ソレニ對シマシテノ御意見ト、今一つハ陸稻ノ轉換カラ來ル

リヲサセルカラ、ソレニ對シテ代替食糧

出サセルカラ、ソレニ對シテ代替食糧

出サセルカラ、ソレニ對シテ代替食糧

出サセルカラ、ソレニ對シテ代替食糧

出サセルカラ、ソレニ對シテ代替食糧

出サセルカラ、ソレニ對シテ代替食糧

出サセルカラ、ソレニ對シテ代替食糧

出サセルカラ、ソレニ對シテ代替食糧

格操作ヲシテ行ク必要ガアルト思フノ

デスガ、之ニ對シマシテドウ考ヘラレ

マスカ、最後ニモウ一ツ、苗ガ生産ノ

中心ニナルノデ、少クトモ苗ノ自方ト

云フモノガ考慮サレテ來ルガ、之ニ對

シマシテ國ガ或ル程度マデ苗ノ重サヲ

シマシテドウ云フ考ヘヲ持ツテ居ラレ

マス、ソレカラ今一ツハ生産ヲ上

ニ於テ技術指導ヲヤツテ行カナケレバ

ナラスト思フノデスガ、是ガ指導ニ對

シマシテ國ガ或ル程度マデ苗ノ重サヲ

シマシテドウ云フ考ヘヲ持ツテ居ラレ

マス、ソレカラ今一ツハ其ノ生産ヲ上

ゲテ行ク場合ニ於テマシテ、苗ノ問題

ガ重大ニナルト思ヒマスガ、此ノ苗ニ

對シマシテ良イ苗ヲ作ルト云フ意味カ

ラ、全農家ニ苗床ノ品評會ヲヤラシタ

ラドウカ、ソレニ對シテ全農家ニ坪刈

リヲサセルヤウナ方法ヲ執ツタ方ガ非

常ニ農家ヲ刺戟シテ宜ノノデハナイカ

リヲサセルカラ、ソレニ對シテ代替食糧

出サセルカラ、ソレニ對シテ代替食糧

ニ努力スル積リデ、是等ノ經費モ相當

ニ計上サレテ居ルノデアリマス、品評會等モ從來ヤツテ居リマシテ是ハ考ヘ

ノハ早掘リニハ宜イト思ヒマス、サウ云

アリマシテ、作ツタノヲ直グドソノ

ト思ツテ居リマス、早掘リノ關係ニ於

シテ、是等ヲ計畫的ニ早掘リサセマシ

ノハ早掘リニハ宜イト思ヒマス、サウ云

アリマシテ、作ツタノヲ直グドソノ

ト思ツテ居リマス、早掘リノ關係ニ於

シテ、是等ヲ計畫的ニ早掘リサセマシ

テ、價格ノ點ニ付テモ十分考ヘテ行キ

タイト思ツテ居リマス

○高橋委員長 田君

○西村(實)委員 先刻蠶種ノ配給、品種ノ改善指導方針ニ付テ御答辯ヲ戴キ

田君ノ織維局長ニ對スル質疑ヲ許シマス

シテ、御承知ノ通リ桑園ハ非常ニ減

トヲ睨ミ合セマシテ、十分ニ考ヘテ

トヲ睨ミ合セマシテ、十分ニ考ヘテ

トヲ睨ミ合セマシテ、十分ニ考ヘテ

トヲ睨ミ合セマシテ、十分ニ考ヘテ

。

ニアルト思ヒマスガ、一面ニ於テ増産
ヲスルトカ、或ハ改植スルトカ云フコト
デ、三十三萬幾ラノ桑園ヲ維持シヨウ
ト云フ御計畫ナラバ、今ソレヨリモ少
イ六、七萬町歩ト云フモノモ改植セヌ
ケレバナラヌト云フ上カラ申シマシテ、
桑園ニ對シテ相當ノ御計畫ガナケレバ
ナラヌト思ヒマスガ、其ノ點ニ對スル
御計畫ガ御アリニナリマスカ、御總キ
シタイト思ヒマス

モウ一ツハ此ノ桑園ニ對シテ私共ノ
縣デモ繭ノ價格ガ二百掛ニ上ツタト云
フコトハ、養蠶家ヲ相當刺戟シテ居リ
マス爲ニ、或ハ植付ケシタリ、或ハ少シ
バカリノ土地ヲ開墾シテ植エタリシタ
人ガアリマスガ、何ニシテモ桑ノ苗カ非
常ニ少イノデ、農業會等ニ於テ幾ラ世話
ヲシテヤツテ居リマシテモ、需要ヲ尤ス
コトガ出來ナイ、桑苗ノ價格ト云フコト
ニ付テハ、昨年モ一昨年モ年々驟返シテ
參ツタ問題デアリマスガ、今日ノ斯カ
ル價格デハ桑苗モ無クナリマス、自家
桑苗ヲ作ル以外ニ桑苗ヲ得ル方法ガ無
クナルダラウト思ヒマス、他ノ苗ニ比
較シテ問題ニナラナイ、斯ワ考ヘテ居リマ
ス、今日栽培ヲ躊躇シテ居ル柿デアル
トカ、林檎デアルトカ、梨デアルトカ
ソレガ少しバカリノ引上ヲ致シタノデ
ハ問題ニナラナイ、斯ワ考ヘテ居リマ
ス、トヨ御聞ギシテ居ルノデアリマスガ、
云フモノノ苗ハ何レモ一圓五十錢、二
五錢トカ八錢、コンナ價格デハ到底ヤ
ツテ行ケナイト云、コトモ餘りニ明カ

ナコトデアリマスカラ、是ハ大幅ノ引
スガ、是ニ付アドワ云フ御計畫カラ
リマスカ、御聽キシタトイ思ヒマス、
ソレカラ蠶惺ノ品質力悪クナツタト云
フコトハ全國到ル處テ聞クノデアリマ
ス、是ハ色々ナ原因——價格ノ點ト力、
勞刀ノ點ト力、種々様々ナ原因カアリ
マシテサウナルノ力可知レマセヌガ、
サウ云フ聲力非常ニ多イノデアリマス
カラ、此ノ蠶惺ニ對シマシテハ、政府
ハ思ヒ切ツタ嚴格ナル監督ヲスルト同
時ニ、製造シタ蠶惺ニ對シテ、養蠶家
ガ自由ニ品種ヲ製造場所ニ對シテ選擇
ヲ致シテ注文スルコトノ出來ル制度ヲ
執ツテ惑キタイト思フノデアリマスル
ガ、今ノ所デハ殆ト統制會社ノ統制ニ
ナリマシテ、コチラノ注文通りノモノ
ガ中々來ナイ、統制ヲ受ケタモソク貿
フト云フヤウナコトデアリマスル
カラ、中々思テヤウナ工合ニハ選擇ノ
自由カナイヤウナ實際ノ狀態デアリマ
ス、此ノ點ニ付キマシテ是非改善ブシ
テ戴キタイト思フノデアリマス、ソレ
カラ此ノ蠶惺モ今ノヤウナ制度デハ、
中々何時マデ經ソテモ良クナラヌト實
ハ心配スルノデアリマス、デアリ
マスルカラは全國農業會等ニ糸統農
業會ノシテ、蠶惺製造ニ當ラシメルノ
途ヲ開イテ戴キタイ、龜ニ翼岐會ニ於
テ此ノ問題ヲ決定致シマシテ、其
ノ當時モ政府ニ其ノ事ヲ要求シテ置キ
マシタガ、今ノヤウナ制度デ殆ド
競争ガナイ、種ヲ造レバ統制會社ニ渡
シ、統制會社ハ養蠶家ニ配給スルト云
フヤウナコトデアリマスルカラ、品位
品質等ニ付テ向上スルト云フヤウナコ
トハ、ドワシテモ望ミ得ナイト思フノ
デアリマスルガ、是ガ系統農業會ニ於

テ造リ得ル途ヲ御聞キ下サイマスレバ、
幾ラカナリ是等ノ人々ニ反右ヲ促ヘ方
法デナイカト云フヤワナ上台ニ考ヘラ
レルノデアリマス、ソレカラ此ノ蠶性
ノ成績ニ依シテモ自チニサウ云フ蠶性
ハ買ハヌ、賣貰フ禁止スル、製造ブ禁
止ハルト云フヤワナ信真必罰ノ明カリ
スルト云フヤワナ制度ヲ仰執リ願ヒタ
イト思フノデアリマス、モトハ蠶家
ノ方テ若シ一年蠶力外レレバ、其ノ家
ノ種ハ絶對ニ買ハヌト云フノテ、養蠶
会社カドンヽソレナ配給シテ行クト
スルケレドモ、今日ハサワデハナイ、
種フ造ツテ統制會社ニ納メレバ、統制
云フヤウナコトデアリマスカラ、何時
カハ惡ヽモノニ對シテハ相富ナ罰カ典
ヘラレルカモ知レマセヌカ、極メテソ
レハ緩慢ノ程度テアリマスカラ、其ノ
點ハ明カニシテ贋キタイ、斯ワ思フノ
デアリマス

忽、或ハ一貫从ト決メテ、ソレ以上ノ
繭フ家デ使シテハナラヌト云フヤウナ
コトヲ決定サレテ居ルヤウデアリマス
ルガ、之ヲ今少シ緩和シテ欲シトイト思
フノデアリマス、現在繭糞貯源ノ不足
ノ時代ニ、一粒ノ繭ヲモ多ク洪出シナ
ケレバナラヌト云フ時代デアリマスカ
ラ、此ノ時代ニ甚ダ運行シタヤワナ主
張デアリマスガ、養蠶家ニ喜ンデ蠶フ
ヤラシメルニハ、此ノ自家用糞ノ數量
ヲ或ル程度緩和シテヤル必娶カララウ
ト云フ風ニ考ヘルノデアリマス、理窟
ガドウアリマシテモ、蠶ノヤラウト
云フ意欲ナ昂揚スル上ニ於テ、サウス
ノデアリマスガ、此ノ點ニ謳シマシテ
モ御考感フ御歎ヒ致シタイト思フノデ
アリマス

ソレカラ玉綱、脣綱等ノ渠マル成績
ガ非常ニ惡イヤウデアリマス、是ハ全
國ニ出來上ツテ居ル數量ノ何分ノ一カ
シカ朱マラヌヤウデアリマスガ、是等
ニ付テハ途中集メル住ニ當ル組織ガ、甚
ダ惡イノデハナイガト云フ風ニモ考ヘ
ラレル、是ハ元ノ商人デアリマス、サ
ウ云フ連中ノ申ニハ不道蠶者ガアリ
マシテ、横流シ等モ行ハレルト云フコ
トモ一ツノ原因デナイカト思フノデア
リマスガ、是ハ農業會ヲンテ集荷セシ
メルト云ブコトガ、最モ的確ニ集マツ
テ來ル方法デナイカト考ヘルノデアリ
マスガ、其ノ點ニ付テ御配屬ヲ煩ハシ
タイト思フノデアリマス、以上ニ對シ
マシテ御所見ヲ御伺ヒ致シマス

○篠山政府委員 総園ノ減少致シテ居
リマスコトハ、只今御述ベニナリマシ
通リデゴザイマシテ、大體三十三萬
一千町歩バカリヲ確保致ス豫定デゴザ
イマシタガ、之ヲ遙カニ割ツテ居ルノ

デゴザイマス、隨テ二十三萬歩ヲ確
保政ス爲ニハ、新植ナリ或ハ荒廢園
ノ復興ナリヨヤラナケレバナラヌコト
ハ自明ノ理テゴザイマス、唯是ハ時期ノ
問題テ、秋ヤリマシテ間ニ合フノデゴ
ザイマス、種々ノ關係上豫備費ノ方デ
貢獻ヲスルト云フコトニ致シマシテ、
今回ノ豫算ニハ計上致シテ居ラナイ譯
デアリマス

ソレカラ桑田ノ問題ニ付テノ御意見
ハ私共モ至極同感アゴザイマシテ、現
在ニ桑田ハ安キニ失シマス爲ニ、桑苗
ノ商人モ作ラナイシ、又骨ヲ折ツテ普
通ノ養蠶家モ之ヲ作ラナイト云フヤウ
ナ狀態ニナツテ居ルノデゴザイマス、
相當ノ價格ノ引上ヲヤラナケレバ、桑
苗ノ十分ナ供給ヲスルコトガ出来ナイ
ト存ジテ居ルノデゴザイマス、目下其
ノ引上ニ付テ調査ヲ致シテ居ルノデゴ
ザイマス、適當ナ措置ヲ講ジタイト考
ヘテ居リマス

蠶種ノ問題デゴザイマシガ、蠶種ニ
付キマシテハ御承知ノヤウニ統制會社
ナ検査ヲ行ヒ、監督ヲ致シテ居ルノデ
ゴザイマスガ、最近ノ蠶種ノ製造ニ付
キマシテハ、御承知ノヤウニ統制會社
ニ於キマシテ、從來ノ蠶種製造業者ノ
實績ヲ基ニ致シマシテ、專ラ實績主義
ニ依ツテ製造割當ヲ致シテ居リマス、
隨テ先刻御述ベノヤウニ、競争ヲスル
必要モナク、大體安心シテ努力ヲシナ
イノデハナイカト云フヤウナ歴ガアル
ノデゴザイマス、今年カラ之ヲ改正政
シタイト存ジテ、今丁度其ノ準備ヲ急
イデ居ル所デゴザイマスガ、養蠶家ノ選
擇ニ相當程度依ラナケレバ、蠶種ノ改
良ト云フコトハ難カシイノデハナイカ
ト考ヘテ居リマシテ、只今御述ベノヤ
ウナ方向ニ向シテ準備ヲ進メテ居ル譯

デアリマス、唯之ニ付キマシテハ、實績補償其ノ他ノ問題ガアリマシテ、直チニ全面的ニ左様ニ致シマスルコトモ困難カト思ハレルノデアリマス、系統農業會ヲシテ蠶種製造ヲ行ハシメタラドウカト云フ御意見デゴザイマシタガ、之ニ付キマシテハ目下ノ所、系統農業會ニ蠶種製造ヲヤラセヨウト云ス、尙ホ検討致シタイト存ジマス。次ニ蠶種製造業者ノ成績ニ依ツテ信賞必罰ノ方法ヲ執レト云フ御意見デゴザイマンシタガ、是ハ先程申上ゲマシタ蠶種製造ノ割當ノ改良ニ依ツテ、相當ノ程度ニ其ノ目的ヲ達シ得ルト考ヘルノデゴザイマスガ、尙ホ極端ナ劣悪ノモノニ付キマシテハ、統制會社ヲシテ左様ナ措置ヲ執ラシタイト考ヘル次第デゴザイマス。

繭ノ検定ノ爲ニ代金ノ決済ガ遲レルト云フコトガ始終問題ニナルノデゴザイマスガ、御承知ノヤウニ繭ノ取引ニ付キマシテハ、相當高價ナモノデモアリマスシ、又繭ノ性質如何ニ依リマシテ絲ニモ相當ノ影響ガアリマスル關係デ現在操絲檢定ヲ全然廢止スルト云フコトハ困難デアルト考ヘルノデゴザイマス、昨年カラ地方長官ニ切歩検定ニアリヤウデゴザイマスガ、大體現在ノ検定ヲ全廢致スト云フコトハ考ヘラレナインデハナニカト思フノデゴザイマス、我が考ヘタ程マデニハ擴ガツテ居ラナル範圍ヲ相當ノ程度任せアルノデゴザイマスガ、實施面ニ於キマシテ、我ノデハナニカト思フノデゴザイマス、尙ホ出來ルダケ簡易ナル檢定ニ依ルト云フコトニ付テハ、研究致シタイト考ヘマス、次ニ自家用ノ繭ノ制限ヲ今少シ緩和シタラト云フ御意見デゴザイマシタガ、自家用ノ繭ハ、所ニ依ツテ非常

ニ從來ノ自家用ニ供シタ量ガ達フノデゴザイマス、五、六百目平均ノ所モアリマスシ、ヒドイノニアルト五貫目モ自家用ニ供シテ居ルト云フ所モアルノデゴザイマス、昨年カラ之ヲ大體八百目平均ニ致シマシテ、割當以上ノ供出、ヲシタ者ニハ、其ノ超過量ノ三分ノ一ノ範圍内ニ於テ、一戸當リ二貫自ト云フモノヲ増配致シタノデアリマスガ、其ノ結果ト致シマシテ全國平均ニ於テ、相當ノ自家用ノ繭ヲ使用致シテ居ルノテ居リマセヌカト存ジマスルガ、二貫目前後が平均ニナツテ居リハシナイカト考ヘラレルノデゴザイマス、私共ト致シマシテハ、現在ノ生絲ナリ、繭ナリノ不足ノ狀況カラ考ヘマシテ、寧口此ノ量ハ多キニ失スルノデハナイカト考ヘテ居ルノデゴザイマス、全國平均ノ問題トシテ、現在以上ニ緩和スルコトハ困難デハナイカト考ヘル次第ゴザイマス

トサレテモ、全體ノ數トシテハ比較的少イト云フ風ニ考ヘラレルノデアリマスガ、之ヲ一ツ農業要員ニ編入シテ貰ヒタク、又此ノ指導ニ當ル人モ農業ノ指導員ト同等ノ待遇ヲ與ヘテ戴キタク、斯ウ云フ希望ガ到ル處ニアルノデアリマスガ、此ソ點ニ對シテ御所見ヲ御伺ヒシタクト思ヒマズ〇篠山政府委員、先程私御答へ申シマシタ中ニ、或ハ言葉ガ足リナカツタカト思ヒマスルガ、自家用繭ノ保有量ハ大體普通、養蠶家ニ於テ、先づ八百目平均ト云フコトニ致シマシテ、サウシテ其ノ割當以上ニ供出致シマシタ養蠶家ニ對シテハ、其ノ超過量ノ三分ノ一以内ニ於テ、又二實目以内ト云フコトデ増加ヲ認メタノデゴザイマス、其ノ結果ト致シマシテ、昨年ノ全國ノ平均ハ二實四十四匁ヲ自家用ニ保有有シタ云フ結果ニナツテ居ルノデアリマス、是レ以上ニ増スコトハ出來マセヌシ、又少シ多キニ失スルノデハナイカト云フヤウニ考ヘテ居ル次第ゴザイマス、次ニ御質問ノ養蠶ノ要員ノ問題デゴザイマスガ、大體御説ノヤウニ農家ガ副業的ニヤツテ居ルモノガ多イ關係上、大部分ハ農業要員トシテ指定サレテ居リマス、新タニ指定ヲスルト致シマスレバ、指定ヲ要スルモノハ全國度四、五萬ト云フ程度デハナイカト云フ程度ナノデアリマス、目下養蠶ノ關係者ノミヲ農業要員ニ指定シ得ル制度ニ、勅令ノ改正ヲ御願ヒシタクト存ジマシテ手續ヲ致シ、折衝ヲ致シテ居ル所デゴザイマスクラ、左様ニ御承知ヲ願ヒタリト思ヒマス、

關係ガアルト思フコトハ、日本蠶絲製造株式會社ノ問題デアリマス、最近ニ於キマシテ蠶ノ生産ガ非常ニ減リマシタノハ色々ナ原因ガアリマセウ、價格ハ食糧問題等ノ逼迫ヲ告げテ居ルノモ其ノ一ツデアリマセウ、色々ナ原因ガアリマセウガ、各地方ニ於テ大ナル工場ガナクナツタ云フコトガ、最大ノ原因トモ考ヘラレルノデアリマス、現ニ私共ノ方面ニ於テモ、製絲ノ太キナ工場ノアリマシタ附近ハ中々盛ニ蠶ガ行ハレルガ、其ノ工場ガナクナルト同時ニ其ノ附近ノ蠶ガナクナツテシマフ、是ハ山陰道ニ於テモ東海道ニ於テモサウ云フ傾向ガ著シイノデアリマス、デアリマスルカラ製造會社、或ハ製絲場ト云フヤウナ場所ヲ各地ニ盛シニヤツテ貰フコトハ、養蠶ノ意欲ヲ昂揚スル上ニ於テ非常ニ力ガアルコトダト、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマスシ、又價格ガ上ツタ關係カラシマシテ、是等ノ會社ニ長纖維若シクハ短纖維其ノ他ノ問題ニ對シテモ、價格ノ上ニ相當ノ影響ガアリ、込入ツタ問題ガアルノダラウト思フノデアリマス、承リマスルト現在ノ蠶絲製造會社ニ於ケル蠶、短纖維等ノ生産費ハ、其榮ノ製造費ト比較致シマシテ非常ナ差額ガアル、著シキニ至ツテハ二倍位ノ差額ガアルト云フコトヲ聞イテ居リマス、果シテ斯ウ云フ事實ガアルカドウカ問題デアリマスガ、果シテサウダントシマスルト、是ハ生産費ニ付テハサウ澤山ナ違ヒガナイスト、會社ノ創立ノ當時ニ直チニ四千

五百萬圓ノ「マイナス」ヲ以て營業^シ、外ニ土地、機械、建物等ヲ買收致シマスルト、ソレニモ四、五億圓ノ金ハ掛ル、流動資本ヲ其ノ外ニ入用ダト致シリマス、サウ云フヤウニナリマスレバ、此ノ會社ハ生産費ノ半分ハ「金利」ノ爲ニ費ヤサナケレバ、此ノ會社ノ運營ハ出來ナリマス、此ノ會社ハ生産費ノ半分ノ借金ヲ此ノ會社以外ノ生産費ト云フモノノ上ニハ、大變ナ差額モ生ズルコトニナリマス、ソコデ此ノ會社ノ生産費ト云フモノト、此ノ會社ノ外ノ生産費ト云フモノノ上ニハ、大變ナ差額ノ爲ニ支拂フ所ノ利子ヲ國家が負擔シナクテハナラナイト云フコトニ成ルガ、此ノ會社ノ生産費ヲ基礎ト致シテ長纖維、短纖維ノ價格ヲ計算致シマスレバ、其ノ負債ノ爲ニ支拂フ所ノ利子ヲ國家が相成ル譯デアリマス、若シ又其製造組合ノ方ノ生産費ヲ基礎トシテ是等ノ價格ヲ決定致シマスレバ、此ノ製造會社ノ方ハ存立出來ナイ、獨立スルコトガ出來ナイト云フ結果ニナルノデアリマス、是等ニ對シテハドウ云フ風ナ御方針^シ御ヤリニナル御考^シヘデアリマスカ、段々聞ク所ニ依リマスレバ、此ノ製造會社ノ中ノ二十何工場ト云フモノガ、近來處分ヲサレテ他ニ賣ルトカ云ガ、此ノ工場ノ減ルコトガ生産ノ上内ニ一千八百モアツタ工場ガ、現在ノニ非常ニ影響スルヨコト、又毎年四千萬圓^シハ五千萬圓ト云フモノヲラセル上ニ於テ、ソレヲ消化スル機關ガウマク行クカドウカト云フ問題デアリマス、是ハ餘程其ノ點ニ付テ懸念シナケ

レバナラヌト思フノデアリマスガ、其ノ邊ニ付テノ御所見ヲ御聽キ致シ、大ト思フノデアリマス、更ニ又承リマスレバ、斯ウ云フ大キナ金利ヲ支拂ツテ居ル會社ノ存立ハ極メテ困難デアルカラ、是ハ國トシテ何トカシテヤラナケレバナラヌ、斯ウ云フ議ガアリマシテ、其ノ議ガ、一ツハ政府ノ手ニ依ツテ救濟サレルト云フコト、今一ツノ案ハ日本蠶絲統制株式會社ニ合併スルト云フ計畫ガ一ツ、サウ云フ案ガアルト云フコトデアリマスガ、私共ノ見ル所ニ依リマスト、此ノ製造會社ナルモノハ所謂國立會社デハナイ、國家ノ統制會社デハナイノデアリマス、創立前ニ此ノ議會ニ於ケル質問ニ對シテ大臣ノ答辯ニハ、本會社ハ政府ノ發意ニ依ツテ創立シタルモノニアラズシテ、業者ノ再三ノ陳情モアリ、放任シテ置ク譯ニモ參ラズ、政府トシテハ是ガ設立ニ關シ翰旋ノ勞ヲ執ツタノニ過ギス、隨子固ヨリ其ノ加入陥退ハ業者ノ自由デアリ、強制セントスル意思ナシ、斯ウ云フコトヲ言明サレテ居ルノデアリマスカラ、無論國家トシテ國立會社トシテヤツタ會社デナイコトハ極メテ明瞭デアリマス、此ノ明瞭ナル會社ヲ國家ノ資金ヲ投ジテ救濟スルト云フコトガ行ハレマ萬圓ト云フ共濟金ヲ取シテ居リマスカラ、其ノ金ヲ取ラヌ他ノ共濟織絲ノヤウナモノニ對シテハ、ドウ云フ態度ヲ執テレルカ、一方ニ於テハ、斯ウ云フ計畫ヲシタカラ政府ノ方カラ取レルガ、一方ハ計畫シナイカラ、一文モ取レヌノダト云フコトニナリマスカラ、ソコトニナリマスカラ、ソコハ疑問デアリマス、又蠶絲統制株式會社ニ

大問題ダト思ヒマス、結局會社ノ機構宜シキヲ得ナイガ爲ニ、半分ガ政府ノ出資、半分ハ全國ノ養蠶家悉ク株主ニナツテ居ル會社デアリマスカラ、其ノ會社ニ其ノ機構ノ不備カラ來ル所ノ缺陷ヲ負擔セシメント云フ結果ニナリマスカラ、是ハ容易ナラヌ問題ダト思ヒマス、デアリマスカラ、是等ハ双方トモ實行スベカラザル案ダト思ヒマスガ、世上デ能クサウ云フ話ヲ聞グノデアリマス、併シ此ノ儘放任シテ參リマシタナラバ、生産費ノ問題ニ致シマシテモ、或ハ今後ノ蠶絲關係ノ物價ヲ決定スル上ニ於キマシテモ、相當ノ影響ガアルモノト思ヒマスシ、又蠶絲ノ政策ノ上カラ考ヘマシテモ、相當深刻ナ影響ガアルモノト思ヒマスガ、其ノ點ニ對シテ如何ナル御考ヘラ御持チデアリマスカ

大體工場ヲ中心トシテ發達シタ養蠶業
ナルト云フコトハ、養蠶業ノ上ニ相當
ノ影響ヲ與ヘルノデゴザイマス、成ベ
ク良い工場ヲ必要ナ所、分散致シテ置
キタイト考ヘルノデゴザイマスルガ、
事實ニ於キマシテハ、戰爭ノ要求ガ、
ドウ致シマシテモ其ノ工場ヲ轉用シナ
ゴザイマス、蠶絲製造會社ガ出來マシ
タ時ノ整備モ、戰力增强企業整備ト同
ジヤウナ氣持テ以テヤル、又今回ノ轉
用ニ付キマシテモ、是ハ更ニ強イ要請
ニ依ツチヤツテ居ルノデゴザイマシテ、
已ムヲ得ナイト申上ゲル以外ニ仕方が
ナイノデハナイカト考ヘルノデゴザイ
マス

○山田(六)委員 私ハ是デ質問ヲ終リ
マシタ
其ノ他ニ對スル質問ヲ終ツテ下サイ
○小笠原(八)委員 先ニ繩維局長ニ御
伺ヒシタイノデスガ、唯一點ダケ御伺
ヒ致シタイノデス、先般同僚ノ質問ニ對
シテ、二十年度ノ衣料切符ヲ廢止スルヤ
モ分ラストト云フヤウナ御答辯ガアリマ
シタガ、サウ云フ場合ニハ現物デ隣組
ヲ通ジテ配給スル、纖維ノ生産力ノ不
足ノ關係上、或ハ下着トカ、學童用ト
カ云フヤウナモノニ對シテノ配給ニ重
點ヲ置クト云フヤウナコトノ御答辯ガ
アツタノデゴザイマスガ、一體是マデ
ノ衣料切符ノ配給ニ對シマシテハ、南
ノ方ノ暖カイ地方モ、北海道、東北ノ
ヤウナ零下、何度ト云フ地方モ、同一ニ
規正配給ニ依ツテ衣類ハ配給サレテ居
ツタノデアリマス、今後ノ現物ヲ配給
スル制度ニ當リマシテモ、ヤハリ同一
ノ方法ヲ執ラレルヤ否ヤ、此ノ點ヲ明
確ニ御答辯願ヒタイノデアリマス、ド
ウ云フ譯カト云ヘバ、一寸例ヲ申上げ
マスト、東北方面、北海道方面ノ學童
ハ今日寒氣ニ堪ヘザル状況ニアルノデ
アリマス、特ニ東北ナドハ「ストーブ」
ノ設備ガ不完全ナ爲ニ、元旦ノ拜賀式
ニ僅カ三十分立ツテ居ツタ兒童ガ、寒
サニ堪ヘズ倒レル者ガ相當數出タノデ
アリマス、其ノ原因ヲ學校ニ調査セシメ
タ所ガ、「ズボン」下ガナイ、薄イ「ズボ
ン」一枚デアル、上衣ノ方ハ下着等ガナ
イコトハ御察シノ通りデアル、サウ云フ
事情ニアルノデアリマス、支那事變始
マツテカラ九箇年ニナツテ、其ノ當時
裸デ生レタ子供ガ、九歳ニナツテ、國民學
校ニ入ツテ居ル、然ルニ配給事情ガ窮
屈ニナツテ、暖カイ所モ寒イ所モ同一

結果ガ現ハレルコトハ當然デアルト思フ、而モ暖地ノ方ニ於テモ纖維ノ配給ガ不足デアル爲ニ、纖維ノ配給ヲ渴望シテ居ルト云フ實情ニアリト致シマスレバ、寒地ニ於テハ由々シキ問題デアルト思フノデ、其ノ御方針ニ對シテ此ノ際伺ヒタイト思フ、附加ヘテ纖維ガ窮屈ニナルナラバ致シ方ガアリマセヌガ、然ラバ何カ古イモノヲ縫ヒ繕ヒラシテ間ニ合セナケレバナラシト云フ現狀ニアルノデアリマス、昨年ノ議會ニ於テモ相當數量ノ縫絲ガ配給ノ用意ガアルト云フ答辯ガアツタガ、此更ニ實現サレテ居ラヌ、今度ハ纖維關係ガ窮屈ニナレバナル程、此ノ縫絲ノ關係ハドウ云フ風ニナツテ居ルカ、此ノ二點ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス。

○篠山政府委員 二十年度ノ衣料切符ニ付キマシテハ、先般來申シシマシタヤウニマダ決定シテ居リマセヌガ、申上ゲルマダモナク纖維ノ供給が非常ニ減少致シマシタ爲ニ、十分ナ衣料品ノ供給が出來ナイノミナラズ、我々ト致シマシテハ衣料切符ノ制度ヲ維持シタクトガ疑ハシイ狀態ニナツテ居ルノデアリマス、昭和十九年度ノ後半期ニ於テ既ニ相當窮屈ニナツテ參リマシタ、殊ニ只今御質問ノ要旨ニモアリマシタヤウニ、寒地、暖地ノ差ニ付キマシテ、從來ハサマデ區別ヲ致シテ居ラナカツタノデゴザイマスガ、此ノ冬ニナリマシテ其ノ取扱ニ差等ヲ付ケナカツタ結果ガ、痛切ニ現ハレテ參ツテ居ルノデアリマス、今御話ノゴザイマシタヤウニシテ「シャツ」ノナイ子供、「ズボン」下ノナイ

子供ト云フノガ東北等ニ於テモアルトニ適當ナ品質ノモノヲ送リ、又時期ニ適當ナ品物ヲ必要ナ量遙シタイト云フ理由其ノ他ニ依リマシテ、必要ナ所ニ希望ヲ、強ク持ツテ居ルガ故デゴザイマス
次ニ縫紵ノ配給ノ問題デゴザイマス
ガ、昭和十九年度ニ於キマシテハ御承知ノヤウニ、一人當り十五匁ノ縫紵ヲ配給スルコトニナツテ居リマシタ、從來ニ比較致シマスト相當ノ量ガ増加致ス等デアツタノデゴザイマスガ、軍ノ整備其ノ他ノ關係ガ急ギモノガアリマシタノト、一ツニハ撚絲ノ能力ガ多少不十分デアリマシタ關係、其ノ他陸送等ノ關係モアリマシテ、縫紵ノ製造ガ遅延致シタノデアリマス、昭和十九年度ノ上半期ニ於テ相當量ヲ配給致シタノト考ヘテ居リマシタノガ、上半期ニイト考ヘテ居リマシタノガ、上半期ニ於テハ十九年度ノ殆ドガ配給サレナカツタノデアリマス、現在マデニ於キマシテ六割弱ヲ配給シタニ過ギマセヌ、相當遅レテ參り不十分デアツダノデゴザイマスルガ、現在極力急イデ十五匁ヲ確保致シタイト考ヘテ居ルノデゴザイマス、今後ニ於キマシテハ纖維製品ガ窮屈ニナレバナルダケ、補修用縫紵ノ配給ニ付キマシテハ、更ニ努力ヲ費サナケレバナラヌト考ヘテ居リマス
○小笠原（五）委員 其ノ縫紵ノ關係デアリマスガ、ソレハヤハリ配給が遅レテ居ソタト云フコトハ分リマスガ、ソレハ寒暖ノ區別ガナイ配給事情デスガ、全配均一配給デスカ——ソレハ少シヒド

過ギル、鐵維ガ不足スレバスル程、多
クノ衣料ヲ用ヒル方ニ多クノ縫絲ヲ配
給シナケレバ均衡ヲ得ナイ、一體國家
ノ政治ニ寒暖ノ區別ヲ知ラナイ政治家
云フモノハ大ナル缺陥テ、ソレガ九年間モ
其ノ儘ニシテ置イタト云フノハ一體ド
ウ云フ譯カ、寒暖ヲ知ラズニ居テ、寒
イ所ノ子供ガバタ／＼倒レテ、其ノ親
ニ壇產意然ヲ持テト言ツタツテ持テマ
スカ、是ハ大ナル缺陥デアリマスカラ、
余ク困ルノデアリマス、本當ニ寒地ハ
可哀サウデス、此ノ點ハ是ダケニシテ
アト馬政局長官ニ伺ヒマス
馬ノ方ノ關係ハ先刻農政局長ニ大半
ノ所ハ伺ツテ置キマシタノデ、馬政局
ノ方ニ、「ニ點伺ヒマス、馬ノ增産ノコ
トニハ大イニ努メテ居ラレルノデアリ
マスルガ、今年ハ小運搬ノ關係デ、ア
ナタノ方デ馬ヲ幾ラ増産シテモ、幾ラ
供給シテモ重大ナ問題ガ起ルト思フ、
是ハ大都市ノ輓馬ガ今日非常ナ勢ヒデ
消耗率ヲ高メテ居ル、是ハ何ガ原因ス
ルカト云フヨト、先刻ナタカ飼料ノ
問題ノコトヲ申サレマシタガ、如何ニ
モ飼料ガ大キナ原因ヲ成シテ居ルノデ
アリマス、併シ飼料バカリデハナイ、
大體都市以外ノ農村デ輓馬ヲ使役シタ
モノガ平均七年間壽命ガ保タレルモノ
ガ、都市輓馬ハ、六大都市ヲ平均シテ
レドモ、アトハ馬夫ノ訓練ノ足ラザル
ゴト、愛馬思想ノナイゴト、モウ一ツ
ニハ厩舎、是ガ學者ガ言フヤウニ馬ト云
フモノハ立ツテ眠ル、立眼デ宜イモノ
ナリ、斯ウ簡單ニ解釋スルガ、ソンナ

コトデハ默自ダ、厩舎ヲ改造シ輶馬ガ十分眠レルヤウニ、サウシテ馬夫ノ方ニハ時々水ヲ與ヘル時間ヲ教ヘルコト、使役シタ後デハチャンント脚ヲ洗ツテヤルト云フヤウナ手入レラスレバ、假ニ田舎ノヤウニ七年ハ保タヌデモ三年間ハ保テル、スルト三倍保テルコトニナリマス、少シク今年ノ事情ヲ觀察致マシテ、小運搬ハドウナルカト云フコトヲ想像スルナラバ、相當ニ田舎カラ馬ガ入り込ムト思ヒマスガ、サウスルト農耕馬ニモ手掛ル譲デアリマス、サウスルト増産ノ方ニモ相當大キナ影響ガアルノデアリマスカラ、唯都市輶馬ヲ補填スルト云フコトデナク、都市輶馬ノ消耗防止ト云フコトニ重點ヲ置いて、ソレガ研究ヲナサラナイト、地方的ニ小運搬トカ、農耕トカ、隨々食糧増産ニヨ非常ナ影響ヲ來スト考ヘテ居ルノデアリマスガ、何カ其ノ方ノ対策ヲ講ジテ居ラレルカ、先ヅ第一ニ伺ヒタイト思フノデアリマス

ヒマス人ノ上ニ於テ極メテ不十分。是等ニ關スル訓練ノコトニ付キマシテモ、缺陥ガ甚ダ多イヤウニモ見受ケリマシテ、ソレデ現在ノ所馬事團體モ十分協力致シマシテ、鞍馬組合或ハ馬匹組合、小運送方面ノ團體等トモ、整備スベキ點ハ整備セシ、ソレ等ノ點ニ團體トシテノ活動機能ガ十分及ブヤウニ致シタ考ヘテ居リマス。

○小笠原（八）委員 先刻農政局長ニ御尋ネシマシタ家畜商ヲシテ有效ニ之ヲ指導シテ、今ノヤウニ利潤競ギデナク、實際ニ於テ今ノ國家ノ要求スル馬トシテノ育成訓練ヲセシムルヤウナ方法ニ、家畜商ヲシテ統制ヲ執ツテ行クト云フ方針ヲ御定メニナツテ居ルカドウカト云フコトガ一點、ソレカラ馬ノ評價價格ニ付テ能力價格、今日はハ最モ急速ニ解決ヲ付ケナケレバナラヌコトデアリマスガ、先刻農政局長ニ御尋ネシタ御付テ御答ヘ即ヒタイト思ヒマス、○権原政府委員 御答ヘ申上げマス、前段御尋ネシ家畜商ヲ馬ノ訓練其ノ他ニ活用スルト云フ點デアリマスガ、全國ニ亘ツテ相當ノ人數ガアリ、而モ永年其ノ途ニ於ケル經驗ヲ積シテ來ラレタ、先づ隠サレタ勞力ト云フ風ニ考ヘテラマス、御意見ノ點私極メテ御尤モダト思ヒマス、十分ニ而モ急速ニ調査検討致シマシテ、出來ル限り之ヲ積極的ニ活用シ得ルヤウニ考ヘタイト思ヒマス、ソレカラ價格ノ問題デアリマス、テ改訂ヲ行ツタノデアリマス、其ノ場合ニ於キマシテモ、從前ノ年齢或ハ馬ガ、昨年十月アリマシタカ、全頭的

格ニ區別ヲ付ケマシタコハ勿論デア
リマスガ、同時ニ馬ノ能力ニ應ジテ差
ヲ付ケ得ルヤウニモ致シタノデアリマ
ス、併シナガラソレデモ必ズシモ現在
ニ於キマスル本當ノ馬ノ能力、並ニ其
ノ馬ニ對スル需要ニ關係ヲ十分反映シ
得ナイ檍ミガアリマスノデ、特ニ輪馬
等ノ取引ニ付キマシテハ、普通ノ公定
價格ニ依ラズ、例外的ノ措置ヲ以チマ
シテ、機動的ニ價格ヲ評價シテ取引ヲ
スルト云フ途ヲ、例外的ニ認メテ參ツ
タノデアリマス、併シナガラ御話ノ如
ク、マダ不十分ノ點ガアルカト考ヘマ
スケレドモ、價格ノ問題ニ付キマシテ
ハ既ニ實際ニ於テ遺憾ナイヤウニ、今
後處置シテ參リタイト考ヘテ居リマス
○小笠原（八）委員　モウ一點最後ニ伺
ヒタノニデアリマスガ、馬ヲ農耕ニ利用
スルコトニ對シテ、馬其ノモノ一頭ダ
ケ利用シタノデハ利用價值ハ至ツテ少
イ、隨テソレ等ニ對シテ車、雪崩デ
ハ櫻ヲ之ニ附帶サセナケレバ馬耕能率
ハ上ラン、所ガ其ノ方ノ車ノ關係ハ今
資材ガ困難デ、農家ノ自家用肥料ヲ運
ブノニ非常ニ困難ヲシテ居リマス、今
年ハ櫻ハ間ニ合ハヌデモ、來春早々デ
モ此ノ車ノ資材ヲ獲得セザレバ、非常
ニ困難ヲ來スト思フノデアリマス、幸
ヒ此處ニ山林局長サンガ御見エニナツ
テ居リマスガ、一體農耕ニ對スル農具
ノ最も重要な運搬其ノ他一切ニ關係ノ
アル所ノ車ノ資材等ハ、是ハ今ノ地木
社カラ配給ヲ受ケルト云フ制度ダト本
テ學ゲテ、農家全體ニ配給出來ルヤウ
ナモノヨ各地ニ設ケルト云フコトニナ

レバ食糧増産ニ對シ非常ナ好影響ガ
アルト思フノデアリマス、サウナナイ
ト、是ハ各地デ叫バレテ居ル問題デア
リマスガ、而モ是ガ元來ナレバ櫻ノ木
デナケレバ絶対駄目ダト云フコトデア
ツタノデアリマスガ、今櫻デ上等ダ、
山手櫻デモ之ニ對シテ耐ヘ得ラレルノ
デアリマス、斯ウ云フコトハ何カ特別
ニ方法ヲ講ズルコトガ必要デアルヤウ
ニ思ハレルノデアリマスガ、是ハ馬政
局ニ附帶シタ事業デアリマセウガ、山
林局ノ方ノ御意見モ伺ツテ、一刻モ早
ク此ノ問題ヲ解決シタイト思フノデア
リマスガ、ソレニ對シテ何等カ御所見
ガアレバ伺ヒタイ

ヤウニ手配ヲ致シテ居リマス、地木社ト致シマシテモ歟ニ
ノ點ハ、地木社ト致シマシテモ歟ニ
行キマスヤウニ指令ヲ致シテ居ル譯デ
アリマス
○高橋委員長 山田君
○山田(六)委員 昨年閣議決定ニ依ツ
テ、雑纖維ノ大量生産ヲ御計畫ニナツ
タノデアリマスガ、其ノ御計畫ニナツ
タ結果ハドウデアルカ、御聽ギンタイ
私共ノ方ノ實績カラ言ヒマスルト、非
常ニ澤山雑纖維ニ適當シテ居ル物ガア
リマスガ、割合ニ集マリマセヌデシタ
ソレハ集メマンシテモ輸送ニ非常ニ困難
ナコト、送リ先ノ非常ニ遠イコトナダ
ガ原因シテ集マラナカツタノデアリマス
スガ、是ハ集メヨウトル雑纖維ハ、ソレニ
非常ニ多クノ數量ガアルト思フノデアリマス
リマス、之ニ對シテハ其ノ地方々々ニ
極ク小規模ナ精選工場ヲ作レバ、ソレニ
デヤレルト考ヘテ居リマスガ、ソレニ
對シテ何カ本年御計畫ガオアリニナル
カト云フコトヲ御聽キシタイ

審議デアル譯デアリマス、隨て只今後ニ
尋ねノ今後ノ計畫ト云フコトデアリ
スガ、此ノ點ニ付キマシテハ、我々
致シマシテハ確實ナ農業會系統ノ方
ニ相當今後力ヲ入レテ參りタイ、斯
ニ考ヘテ居ル次第アリマス
○高橋委員長 森川君
○森川委員 私ハ水産局長ニ御尋ね
タノイデアリマス、極メテ要點ノミ
申上げマス、昨年十二月七日ノ地震
伴フ海嘯ガ、各方面ニ非常ナ被害ヲ
ヘタコトハ事實デアリマス、特ニ海嘯ニ
依ツテ水產關係ノ漁船、或ハ漁具甚
ノ他ノ被害モ、相當其大ナモノニア
ト思ヒマス、現ニ其ノ災害地ニ實地
參ツテ見マシタ時ニ、慘憺眼ヲ俺ハ
ムルモノガアツタノデアリマス、是迄
ニ對シテ政府ハ如何ナル對策ヲ執ラ
ツ、アルカト云フコトヲ御伺ヒ致シ
イト思ヒマス
○寺田政府委員 昨年ノ地震ノ被害
付キマシテハ、早速職員ヲ派遣致シ
シテ、實地ノ調査モサセマシテ、ソ
カラ漁具、漁船等ノ被害ニ付キマシ
ハ、此ノ復舊ニ付テ早速計畫ヲ立テ
ノデアリマス、漁具ノ如キハ其ノ後
報告ヲ徵シマシテモ、大部分之ヲ回向
シ得タト云フ、報告モゴザイマス、併
ソレニ満足シマセヌデ、他ノ漁具ヲ
當量保有シテ居ル向キニモ勸誘致シ
シテ、震災地ニ特ニ寄附ヲ申出ル者
アツタト云フヤウナ狀態デ、此ノ復
ニ努メテ居ル次第アリマス
○森川委員 津浪ニ依ル被害モ、何
申シマシテモヤハリ資材ノ點ニ問題
掛ツテ來ルト思フノデアリマス、漁
其ノ他ニ付キマシテハ、或ハ各方面ニ
多少餘ツテ居ル漁船ヲ融通スル方法
付キマス、色々ナ點デ多少ヤリ繰ハ
ス

分流シ方デアリマスガ、是ハ多少從來ノ方法ヲ改メル必要ガアルノデハナ
イカト思ヒマスガ、從來ノ方法ハ結局本省カラ縣ノ方ニ渡り、縣カラ單位業
會ニ渡ツテ居ルヤウナ「ルート」ヲ辿ツテ居ルノデアリマスガ、之ヲ拵ヘマシ
タ基礎ト云フモノハ、結局實績主義ニ依ツテ、石油デ言ヒマスレバ、其ノ當
時ノ石油使用量ニ依ル實績ヲ中心ニシテ勘案サレタモノダト思ヒマスガ、現
在ハ狀態ガ非常ニ變ツテ居リマス、之ヲ一ツ思ヒ切ツテ變ヘテヤル本省カラ
中水ニ廻シテ、ソレガ縣ノ漁業會ニ参リ、サウシテ縣本省ト連絡シナガラ重
點的ニ機動性ヲ持タシムルヤリ方ヲスル、或ル方面デ此ノ月ニハ澤山獲レル
ト云フ場合ニハ、其ノ方面ニ流スト云フヤウナ恰好デ以テ、機動性ヲ持タシ
ムル所ノ資材ノ配給方法が必要デヤナ
イカト考ヘルノデアリマスガ、之ニ對
スル御所見ヲ伺ヒタト思ヒマス
○寺田政府委員 資材ノ配給ニ付キマ
シテハ、御話ノ通り段々窮迫シテ參リ
マスノデハ、最モ有效ナル使用ヲ圖ラナ
ケレバナラナイト云フ意味ニ於キマシ
テ、漁業ノ盛ンナ時期、盛ンナ地
方へ重點的ニ配給スルト云フヤウナ措
置モ譲ジテ參ツテ居リマス、更ニ資材
ノ中代用燃油ノ如キモノニ付キマシテ
ハ、御話ノヤウニ中央水產業會ワシテ
集荷配給セシメルト云フヤウナ措置ニ
付テモ、漁業者究シテ參ツテ居ル次第
デアリマス

方へ廻ツタヤウニモ伺ツテ居リマシ、又配給關係ぞ、生活物資局ノ方カラ水產局ノ關係ニ移管サレタヤウニモ伺ツテ居リマスノデ、資材關係モ漁業資材ニ關スル限り、生產部面ヲ掛ツテ居ル水產局ノ方へ廻スノガ本當デヤナニイカト、特ニ此ノ場合考へラマスノデ、大臣モ本省內ノコトヘ能ク考へテ居ルト云フ御答辯ヲ戴イテ居リマスノデ、ドウゾ政務官、政務次官モ居ラマスノデ、御考へ戴キマシテ、迅速果敢ニ機動性ヲ持タシムル政策ヲ立テ得ルヤウニ、特ニ御希望申上げテ置キマス尙ホアト簡単ニ一、二點御伺ヒシタイト思ヒマス、魚價モ非常ニ飛躍的ニ上ゲア戴イタコトヲ漁民モ非常ニ喜ンデ居ルノデアリマスガ、私ハヤハリ「アンバランス」ガアルヤウニ思フノデアリマス、殊ニ定置漁業デヤル鱸漁業ナシカ、特別ニ獎勵シテヤル必要ガアルノデハナイカ、鰯ハ非常ニ大量ニ獲レマス關係上闇ガ出來マセヌ、鯛ナンカデアリマスト闇ガ出來マスガ、鱸ハ澤山獲レルカラ闇ガ出來ナイ、公定價格デヤラナケレバナラヌノデ、非常ニ苦シイ狀態ニアル、今鱸ノ公定價格ガ十貫十三圓位デアリマス、之ヲモット上ゲテ二十五圓位ニシテ、鱸ヲモット餘計獲ラシ、重點的ニ漁獲物ヲ獲得スルト云フヤウナ方法ヲ御考へ願ヒタイト思フノデアリマス、是ハ希望ヲ申上げマシテ、何トカ御考へテ願ツテ置キマス

ハ少クトモ炭礁夫ト同ジヤウナ六合六
勾位ノ程度マデ上ゲテヤツテ戴カナケ
レバ、本當ノ勵キガ出來ナイノデハナ
ヤウナ事實ガ實際ニ於テアル、之ヲ止
メル爲ニモ、ヤハリ食糧ヲモウ少シ餘
分ニ配給シテ戴カナケレバナラヌノデ
ハナイカト思ヒマスガ、之ニ對スル御
當局ノ御所見ヲ伺ヒタイノデアリマス
田政府委員 機構ノ點ニ付キマシ
アハ、大臣ノ御答辯ニモアツタ通りデ
アリマス、今後モ其ノ漁獲ヲ増大セシメ
マス爲ニ必要ナ措置ニ付テハ、十分注
意シテ參リタイト存ジテ居リマス、漁
大ノ食糧ノ點ニ付キマシテモ御説ノ點
リマス、今後モ其ノ漁獲ヲ増大セシメ
能ク諒解シ得ルノデアリマス、關係當
局トモ相談致シマシテ十分研究ヲ重ネ
タイト思ヒマス

○森川委員 最後ニ一點伺ヒタイノデ
アリマスガ、關係御當局ノ御骨折ニ依
リマシテ、我々が多年叫ンデ居リマシ
タ水產漁業要員ノ制度ガ決マリマシテ、漁
潤ニ慶賀ニ堪ヘナイト思ヒマスガ、モ
ノデアリマス、是ガ徵用サレルコトガ
ワーツ同ヒタイノハ、漁船ノ、殊ニ揚縄
非常ニ漁業ニ影響ガアルダラウト思ヒ
マスノデ、モウ一ツ百尺竿頭一步ヲ進
メテ戴イテ、特ニ必要ナル漁船ダケハ
徵用ヲ免レルヤウニ、特別ノ御配慮ヲ
御願ヒシタйте云フコトヲ御希望申上
ケマシテ、私ノ質問ヲ終リマス

○高橋委員長 村上君

○村上委員 私ハ當局ニ極メテ懇談的

ニ御相談ヲ申上ゲル氣持テ、二、三ノ
點ヲ御尋ネスル積リダツタノデスガ、
大分時刻モ移ツテ居マスシ、マダ質
割當ノ問題、第二ハ農産物ノ價格ヲ改
訂サレル、サウスルトドウシテモ之ノ
價格ナルモノガ其ノ重心ニナラナケレ
バナラヌ、其ノ重心ヲ形成スル所ノ生
産費ノ決メ方ト云フヨトニ付テ御尋ネ
シタカツタノデアリマス、第三ハ農村
勞務ノ確保對策ト云フコトニ付テ、實
ハ懇談ヲ申上ゲタイ、斯ウ云フ積リデ
アツタノデスガ、今申シマシタヤウニ
大分遅クナリマシタ、元々御懇談申上
ゲルト云フ積リデアツタ譯デスシ、又
御懇談申上ゲル機會ハ他日アルダラウ
ト思ヒマスカラ、本日ノ質問ハ致シナ
イコトニ致シマス、ドウゾ左様御説承
ヲ願ヒマス

直前ニ御答辯頃ツテモ宜イト思ヒマス
ノデ、成タケ詳シク知ラシテ貰ヒタイ、
斯ウ云フ風ニ考ヘマス
尙ホ私ノ希望ト致シマシテ、團體合
ノ問題、中央ニ於テ團體統合ヲシテ貰
フト云フ問題ハ、天下ノ輿論論デアル、是
ハ我々ノヤウナ地方ノ農業界ヲ指導ス
ル方面ノ者カラ言ヘバ、モウナスナサ
ヌデナクテナサナケレバナラヌ現實ノ
問題デアツテ、ソヨニハ行政上難シイ
トカ、政治的ニ難シイトカ云フ問題ハ
通り越シテ居リマスノデ、是ハ私ハ希
望的質問ト言ヒマスカ、要求ト言ヅタ
點ニ止メテ置イテ答辯ハ要リマセヌ、
ヤウナ意味デ御願ヒ致シテ置キタイ、
此ノ點ニ付テハ明確ナル答辯ハ出來兼
ネルカモ知レマセヌカラ、要求ト云フ
ハ一應研究シテ貰ヒタイ、此ノ件ハド
尙ホ食糧管理局長官ガ御見エノヤウ
デアリマスカラ、食糧營團ノ財源ニ叱ヲ
充テテオイデニナル、此ノ問題ニ付テ
ヲ財源ニシナケレバ立タナイヤウナ食
糧營團ナラバ、其ノ縣ノ實情ニ依ツテ
ハ潰シテ貰ツテモ農業會デチャント引
受ケル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス
ノデ、ソレモ希望的ニ申上ゲタイト思
ヒマス
尙ホ之ヲ以テ質問打切りノ動議ニ致
シタイト思ヒマス
「〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ」

何レ討論ノ會議等ニ移ルコトニ相成ル
コトト思ヒマスガ、次回ハ公報ヲ以テ
御知ラセヨ致シマス、本日ハ是ニテ散
會致シマス

午後五時二十四分散會

昭和二十年二月七日印刷

昭和二十年二月八日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局